

香川大学における教養教育改革の評価と課題

— 学生へのアンケート調査から —

教養教育調査研究委員会*

はじめに

香川大学では、平成7年度から教養教育の新しいカリキュラムが制定され、実施組織も「一般教育部」から全学協力体制へと変化した。厳密に言えば、教養教育における単位数の削減、主題科目の導入などは平成6年度に始まっている。このような改革がどのような効果を上げているのか、また、どのような課題が古いシステムから新しいシステムへと引き続き残されてきたのか、そして、どのような新しい問題が発生したのか、これらの諸点に理解を寄せておくことは、教養教育の一層の充実を果たしていくための基本になるはずである。

教養教育調査研究委員会では、前年度において、全学協力体制によって担うことになった教養教育に対して、教官サイドがどのような意識を有しているのかを調査検討した。この結果は、『教養教育研究』創刊号に掲載されているので参照願いたい。そこで、今年度は学生たちが、装いも新しくなった教養教育にどのような評価を下し、どのような意見や感想をもっているのかを明らかにしようと試みた。その際、比較の準拠点が必要と思われるので、1992年1月に「一般教育部大学教育研究室」が実施した「一般教育に関する学生の意識調査」の報告書（1993年3月）を参考にした。この調査では、一般教育を受講している学生の意識が反映されているので、カリキュラムが変わって、それがどのように変化したかを見ようという訳である。もちろん学生自体が、この数年間に変化したという要因も考慮に入れる必要があろうが、単位数なども含めてのカリキュラムの変化が与えた要因として理解しても、あながち的外れではないだろう。

さらに、新しいカリキュラムの個々の授業科目（主題科目、教養ゼミナール、共通科目、語学、健康・スポーツ科目）に対しての評価や感想・意見、さらには授業環境に対する学生の評価や感想・意見を求めた。

大学設置基準の大綱化に盛り込まれているように、大学が、教育研究水準の活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくためには、不断に自己点検・評価を行い、改善への努力を行っていくことが必要不可欠であろう。この調査は、かかる観点からもたいへん意義深いものだと思っている。

*本調査研究は加野芳正（教育学部）、片岡弘勝（生涯学習教育研究センター）が執筆した。

1 調査の対象、方法と期日

さて、調査はアンケート調査という形で実施された。対象は、教養教育を受講する学生である。そこで、学生が教養教育の受講で比較的多く集まる金曜日の2校時目を利用した。その時間に開講されている授業を利用して、アンケート用紙を配布し、回収した。

調査の時期は、後期開始直後とした。これだと、1年生も前期の授業や試験を経験しており、教養教育について語る資格があると考えたからである。

2 有効回答者の属性と特徴

☆ 所属学部、学年および性別

本調査の有効回答数は、1259名であった。これを「所属学部と学年」、「所属学部、学年と性別」によりまとめたものが、表1および表2である。なお、以下の図表における今年度調査のデータのうち比率(%)は、すべて小数点以下第2の位を四捨五入した。

表1 回答者の所属学部と学年

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	不 明	計
1 年	273 27.5 81.7	170 17.1 79.1	382 38.5 73.9	167 16.8 87.4	0 0.0 0.0	992 100.0 78.8
2 年	42 28.6 12.6	28 19.0 13.0	71 48.3 13.7	6 4.1 3.1	0 0.0 0.0	147 100.0 11.7
3 年	10 12.2 3.0	12 14.6 5.6	50 61.0 9.7	10 12.2 5.2	0 0.0 0.0	82 100.0 6.5
4 年	9 29.0 2.7	3 9.7 1.4	12 38.7 2.3	7 22.6 3.7	0 0.0 0.0	31 100.0 2.5
その他	0 0.0 0.0	2 40.0 0.9	2 40.0 0.4	1 20.0 0.5	0 0.0 0.0	5 100.0 0.4
不 明	0 0.0 0.0	0 0.0 0.0	0 0.0 0.0	0 0.0 0.0	2 100.0 100.0	2 100.0 0.2
計	334 26.5 100.0	215 17.1 100.0	517 41.1 100.0	191 15.2 100.0	2 0.2 100.0	1259 100.0 100.0

* 「不明」は、学部、学年ともに無回答の者が2名いたことを示す

** 上段は実数、中段は横の計に対する比率(%)、下段は縦の計に対する比率(%)

表2 回答者の所属学部、学年と性別

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全体	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1 年	64 23.6	207 76.4	106 62.4	64 37.6	262 68.6	120 31.4	92 55.1	75 44.9	524 52.9	466 47.1
2 年	11 26.2	31 73.8	21 75.0	7 25.0	57 80.3	14 19.7	4 66.7	2 33.3	93 63.3	54 36.7
3 年	8 80.0	2 20.0	12 100.0	0 0.0	48 98.0	1 2.0	8 80.0	2 20.0	76 93.8	5 6.2
4 年	8 88.9	1 11.1	3 100.0	0 0.0	12 100.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	30 96.8	1 3.2
その他	0	0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
計	91 27.4	241 72.6	144 67.0	71 33.0	381 73.8	135 26.2	112 58.6	79 41.4	728 58.1	526 41.9

*性別無回答の5名（教育学部1年2名、経済学部3年1名、学部・学年ともに無回答2名）を除く

**下段は、同学部・同学年内における各性別の比率（％）

☆ 受講意欲の違いによる区別

本調査のように学生による大学教育評価をとりあげる場合、調査データと学生の受講意欲の違いとの関連をおさえる必要がある。なぜなら、1992年調査において受講意欲の違いにより有意の差が多くみられたからである。本調査では、1992年調査とはやや異なり、後述する問18（「あなたは、主題科目、教養ゼミナールや共通科目を、どのような観点から取りますか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください」）に対する回答のうち、「1.内容に興味のある授業」もしくは「2.多少難しくても将来の学習に必要な授業」と回答した841名（66.8％）を受講意欲が「積極的」な学生とし、「4.単位のとりやすい授業」もしくは「5.出欠をとらない授業」と回答した338名（26.8％）を受講意欲が「消極的」な学生と設定した。外国語等の授業ではクラス指定のものが多いため、設問では「主題科目、教養ゼミナールや共通科目」と限定したたずね方をしたが、他の授業科目の授業選択意識においても大きな差はないと思われるため、他の授業科目についても受講意欲の違いによるクロス集計を行うことにしたい。

この問18に対する回答については後で詳述するが、「積極的」学生と「消極的」学生を所属学部、学年および性別でまとめたものが表3、表4、表5である。なお、「積極的」「消極的」のいずれのカテゴリーにも属さない学生が5％弱いるので、2つのカテゴリーに属する学生を合計しても100％にはならない。

表 3 受講意欲の違いと所属学部

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	不明	計
積極的	236	150	313	141	1	841
	28.1	17.8	37.2	16.8	0.1	100.0
	70.7	69.8	60.5	73.8	50.0	66.8
消極的	80	54	165	38	1	338
	23.7	16.0	48.8	11.2	0.3	100.0
	24.0	25.1	31.9	19.9	50.0	26.8

＊上段は実数、中段は横の計に対する比率（％）、下段は当該学部の有効回答数に対する比率（％）

表 4 受講意欲の違いと学年

	1 年	2 年	3 年	4 年	その他	不明	計
積極的	710	81	34	12	3	1	841
	84.4	9.6	4.0	1.4	0.4	0.1	100.0
	71.6	55.1	41.5	38.7	100.0	50.0	66.8
消極的	226	59	42	9	1	1	338
	66.9	17.5	12.4	2.7	0.3	0.3	100.0
	22.8	40.1	51.2	29.0	20.0	50.0	26.8

＊上段は実数、中段は横の計に対する比率（％）、下段は当該学年の有効回答数に対する比率（％）

表 5 受講意欲の違いと性別

	男性	女性	不明	計
積極的	448	389	4	841
	53.3	46.3	0.5	100.0
	61.5	74.0	80.0	66.8
消極的	224	113	1	338
	66.3	33.4	0.3	100.0
	30.8	21.5	20.0	26.8

＊上段は実数、中段は横の計に対する比率（％）、下段は当該性別の有効回答数に対する比率（％）

3 大学に期待することについて

単数回答で求めた結果、「社会で即役立つ知識」が27%、「専門的知識」が24%、
「広い教養」が20%と多かった
一方、「サークルなど楽しい学生生活」は16%であった
受講意欲の高い学生はそうでない学生に比べて「専門的知識」あるいは「広い教
養」に大きな期待を持っている

まず、学生が現在、大学にどのようなことを期待しているのか、についてたずねた（単数回答）。その結果を比率で示したものが、表6である。

表6 大学に期待すること

	学問への 姿勢	専門的な 基礎知識	将来即役 立つ知識	広い教養	楽しい 生活	その他	期待なし	無回答
全有効回答	2.5	24.1	26.6	20.1	15.9	1.8	8.5	0.5
積極的	2.7	27.0	26.4	22.2	14.1	1.7	5.2	0.6
消極的	2.1	17.2	27.8	16.0	19.2	2.1	15.4	0.3

ほぼ同様の設問でたずねた1992年調査では、「専門的な基礎知識を身につける」および「サークル活動などを通じて楽しい学生生活を送る」の二者が大きな期待となっていたが、今回の調査では大学教育に期待される内容をより詳しく知ろうとしたため単数回答で求めた。その結果、全有効回答では、「社会ですぐに役立つ知識、技術、技能等を身につける」（26.6%）、「専門的な基礎知識を身につける」（24.1%）、「広い教養を身につける」（20.1%）が20%を越えて多い一方、「サークル活動などを通じて楽しい学生生活を送る」は15.9%と第四位になった。本調査結果は、1992年調査が指摘したような、「勉学」と「サークル等の楽しい学生生活」を両立させようとする学生像を否定するデータではないが、より基本的には「勉学」に関する教育を求めている姿が看取される。

とはいえ、受講意欲の違いにより多少の差異がみられた。受講意欲の積極的な学生は消極的な学生に比べて、「専門的な基礎知識」および、「広い教養を身につける」が各々約10ポイント、6ポイント高く、逆に「サークルなどで楽しい生活」が5ポイント低く、「期待することはない」が約10ポイント低かった。「学問に対するとりくみ方を身につける」は受講意欲による差は大きくなく、いずれも2%台であった。受講意欲の消極的な学生の「期待することはない」15.4%はなかでも著しい数字である。受講意欲の高低を規定する要因は、もとより本調査では判明し難いが、意欲の高い学生はそうでない学生に比べて、「専門的な基礎知識」あるいは「広い教養」に大きな期待をいただいているという結果が現れた。

4 本年度前期授業への出席状況および、興味・関心度、満足度

受講意欲の違いにより出席、興味・関心度、満足度について、語学の出席および健康・スポーツ科目を除き概ね10数ポイントの差がみられる。主題科目では約20ポイントの差があった。健康・スポーツ科目と教養ゼミナールに対する評価がたいへん高くなっている

主題科目の評価は満足度、興味・関心度で相対的にやや低く、各々34%、36% 共通科目の評価は主題科目よりも4～6ポイント高く、専門教育科目に比べて約3ポイント低い程度で大差ない

本年度前期授業に限定し、一週間の履修登録授業、「比較的よく出席した授業」、「興味・関心をもって出席した授業」、「受講して満足できた授業」の各授業科目数を各授業科目枠ごとにたずねた。学生が一週間にどのくらいの授業履修登録を行い、その中で比較的よく出席する授業、興味・関心をもった授業、満足できた授業の数ほどの程度あるのか、という点について量的に把握するための設問である。データは、各授業科目の枠（主題科目、教養ゼミナール、共通科目等）毎にのべ数を積算し、履修登録授業科目のべ数に対する比率（％）を出すという全体量データを扱うこととした。こうして集計した数字をまとめ比率（％）で示したものが、表7である。

表7 本年度前期授業への出席状況および、興味・関心度、満足度

		主題 科目	教養 ゼミ	共通 科目	英語	初修 外国語	健康・ スポーツ 科目	専門 教育 科目	総数 (計)
比較的よく出席した授業科目数	全有効回答	68.4	91.8	70.9	94.1	92.5	93.9	79.4	78.5
	積極的	73.8	94.5	75.1	95.3	94.5	95.7	82.8	87.6
	消極的	53.3	84.5	61.2	89.8	87.2	91.4	73.2	69.9
興味・関心をもって出席した授業科目数	全有効回答	36.2	62.3	43.0	39.8	49.4	79.1	47.4	42.5
	積極的	41.8	65.7	48.8	44.5	53.0	81.2	51.4	50.3
	消極的	20.3	52.1	28.4	27.1	38.6	78.9	39.5	31.7
受講して満足できた授業科目数	全有効回答	34.4	61.3	39.0	40.3	45.6	76.6	42.1	40.1
	積極的	39.3	66.5	43.4	43.7	48.6	80.4	46.2	46.8
	消極的	20.1	47.9	27.9	31.8	35.6	73.4	33.7	30.7

表7に示した数字の主な特徴と傾向の第一は、受講意欲の違いにより出席、興味・関心度、満足度のすべて点で、学生による評価と意識が大きく異なるという点である。受講意欲が積極的な学生と消極的な学生とでは、もちろん前者が好評価なのであるが、語学の出席および健康・スポーツ科目2～7ポイントの例外を除いて、概ね10数ポイントの差がある。主題科目ではその差が約20ポイントとなっている。1992年調査報告が指摘するように、受講意欲が消極的な学生による評価には、自らの受講意欲のなさを授業に対する否定的評価に転化する指向が含まれる傾向は、本調査でも明瞭に看取される。とくに本設問のように量的な把握を行う上では、こうした受講意欲による差を前提とする必要がある。

第二に、健康・スポーツ科目と教養ゼミナールに対する評価が、満足度（全有効回答で各々76.6％、61.3％）、興味・関心度（同79.1％、62.3％）の両点において、相対的に高いという点である。

第三は、今回の教養教育改革の主要な軸となった主題科目が、満足度、興味・関心度で相対的に低く（全有効回答で各々34.4％、36.2％）、これと密接な関連のある共通科目がこれよりも4～6ポイント高いという点である。この主な原因には、多人数授業を余儀なくされる等、現行の制度運用上、主題科目が負わされている条件があると推測されるが、この点については後述したい。

第四には、共通科目は、満足度、興味・関心度では専門教育科目に比べて約3ポイント低いだけであり、両者間に大きな差はない模様である。

さらに、教養教育カリキュラム自体ではないが、4年一貫カリキュラム編成における専門教育

科目に関する記入欄も設けてたずねた。その結果を各学部毎にまとめたものが表8である。出席状況、興味・関心度、さらに満足度のすべての項目にわたって教育学部生の比率が高く、逆に経済学部生の比率が低い。

表 8 専門教育科目の学部別集計

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全体
比較的良好出席した授業科目数	95.3	78.4	66.5	87.8	79.4
興味・関心をもって出席した授業科目数	63.2	56.0	34.4	44.2	47.4
受講して満足できた授業科目数	56.6	49.8	30.7	37.1	42.1

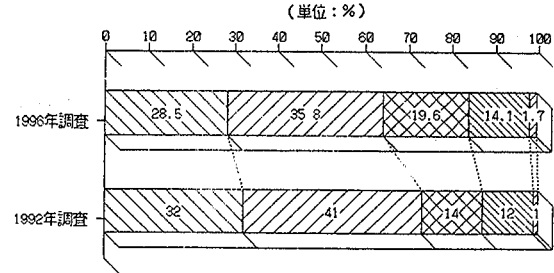
5 教養教育のカリキュラムおよび受講のあり方

受講調整やカリキュラム選択の自由度が少ない点で、64～75%の学生が不満を持っている。しかし、カリキュラム改革によりこの否定的意見は9～17ポイント程度減少
教師によって単位認定に差がありすぎることに不満は76%。しかし、改革により10ポイント程度減少
「ゼミや合宿授業をもっと多く」という要求は、改革により11ポイント減少し35%程度
多人数授業への不満は改革に伴い約11ポイント増、不満とは思わない意見は約10ポイント減で悪化している
「単位認定の差」「ゼミや合宿授業をもっと多く」では受講意欲の違いによる差が大きい

教養教育のカリキュラムおよび受講のあり方に関する学生の意識を把握することを目的に、次のような設問を設けた。回答状況は図1-A・B～図5-A・Bのとおりである。なお、これら五つの設問は1992年調査と重なるものであり、冒頭で既述したような理由から教養教育改革の前後の変化を比較検討する際の参考となる数字である。

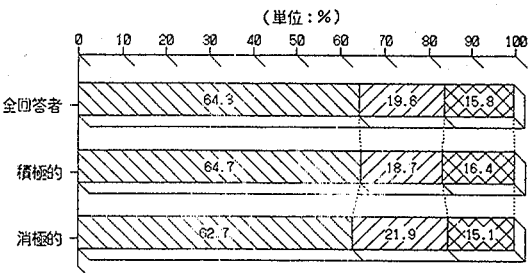
☆ 選択の自由度

(問4-1：自分のカリキュラム選択に自由度が少なく、学びたい授業を選択することが難しい)



大いに思う 思う どちらとも 思わない 全く思わない

図1-A 授業選択の自由度が少ない
1996年と1992年の比較



大いに・思う どちらとも 思わない・全く

図1-B 授業選択の自由度が少ない
1996年受講意欲別

☆ 多人数授業

(問4-2：受講生が多いため、身につけたい学習ができない)

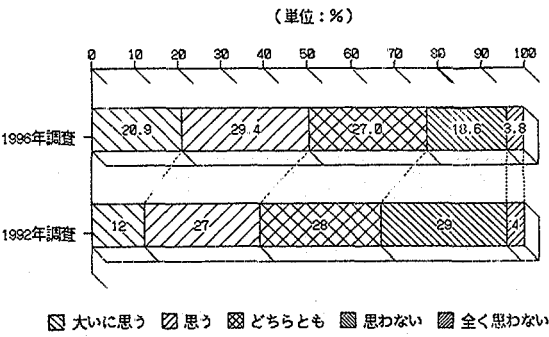


図2-A 多人数授業
1996年と1992年の比較

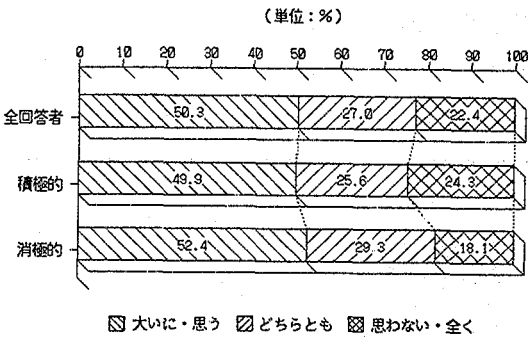


図2-B 多人数授業
1996年受講意欲別

☆ ゼミナールや合宿授業への要求

(問4-3：教師との人間的な触れ合いのあるゼミナールや合宿授業をもっと多く開講してほしい)

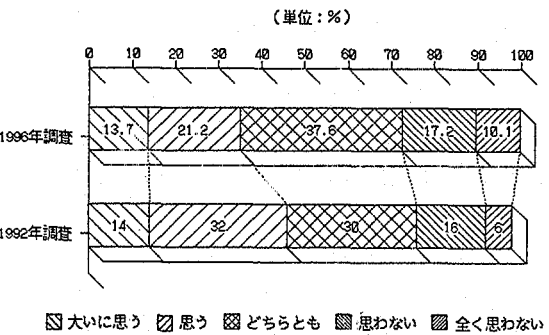


図3-A ゼミや合宿授業をもっと多く
1996年と1992年の比較

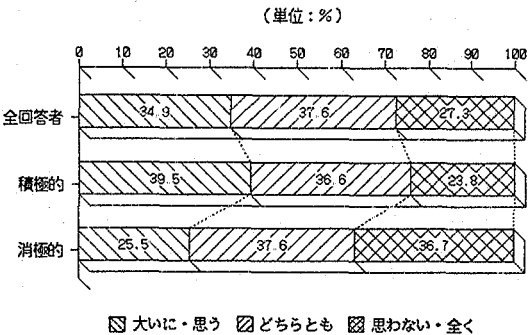


図3-B ゼミや合宿授業をもっと多く
1996年受講意欲別

☆ 単位認定

(問4-4：単位の出やすい授業と出にくい授業の差が、教師によってありすぎる)

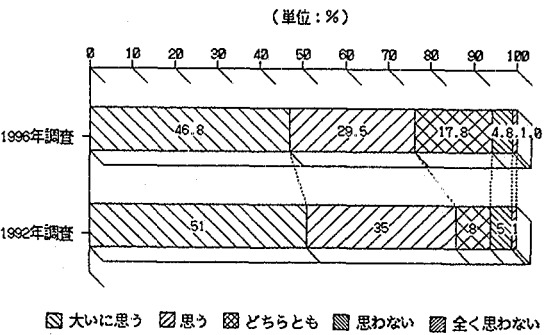


図4-A 単位認定の差
1996年と1992年の比較

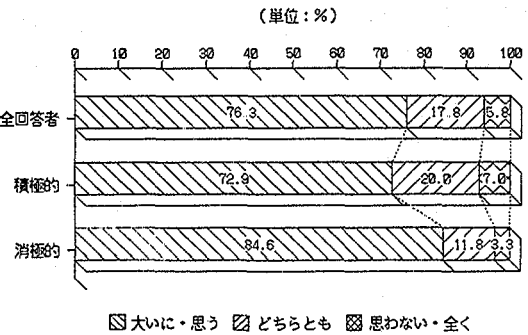
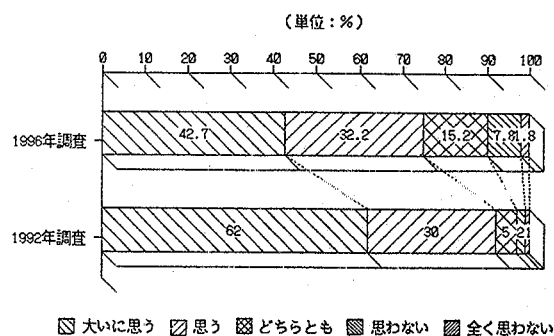
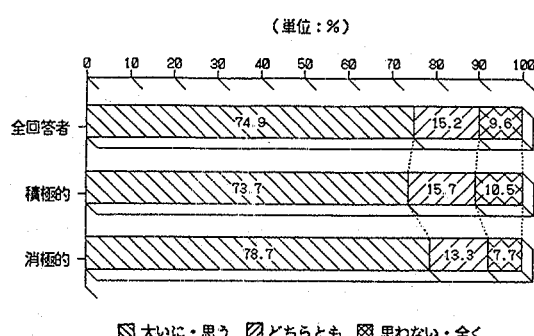


図4-B 単位認定の差
1996年受講意欲別

☆ 受講調整

(問4-5: 多くの授業で抽選が行われ、本当に受講したい授業が受けにくくなっている)

図5-A 受講調整
1996年と1992年の比較図5-B 受講調整
1996年受講意欲別

旧カリキュラムでは、学生にとって受講調整やカリキュラム選択の自由度が少ないこと等から、学生の受講意欲を阻害しない自由度をもったカリキュラム改革および受講システムの改善（設問1および設問5）が検討課題となっていた。図1-A・Bおよび図5-A・Bによれば、新カリキュラムにおいても、この点では64%～75%の不満意見がみられる。とはいえ、旧カリキュラムに比べて新カリキュラムではこうした否定的意見が約9～17ポイント程度低くなっていることに、改革の一定の効果がみられる。

旧カリキュラム時代の学生にとって第二に大きな問題は、教師によって単位認定に差がありすぎることであった。図4-A・Bをみると、この点（設問4）への不満意見は、新カリキュラムでも76.3%あり、依然として高い比率である。しかし、この点も約10ポイント程は減少している。また、この点では、受講意欲の高低により約10ポイントの差がみられる。

第三に、教師との人間的触れ合いのあるゼミナールや合宿授業をもっと多く開講してほしいという要求（設問3）は、34.9%みられたが、図3-A・Bをみると、新カリキュラムにおける1年次からの教養ゼミナールの開講によって11ポイント減少している。ただ、この設問への回答では、受講意欲の違いにより差があり、積極的の学生が消極的の学生よりも「もっと多く開講してほしい」で14ポイント高く、「そう思わない・全く思わない」で約13ポイント低い。

以上は、まだ課題は残されているものの、カリキュラム改革によって若干改善の動きが看取される事柄である。

一方、改革により悪化した点は、多人数授業の問題である。図2-A・Bによれば、設問2への回答では、改革によって不満意見が約11ポイント増加し、不満とは思わない意見が約10ポイント減少した。この場合、「どちらともいえない」は1ポイント減少しているのみであるので、学生による評価が約10ポイント分逆転したことになる。現行の授業実態をみたとき、主題科目と一部の共通科目における多人数授業に対する不満がこうした数字として現れているものと推測される。前述したような主題科目の満足度、興味・関心度の相対的な低さは、現行制度運用上余儀なくされる多人数授業に起因する部分があるように思われる。授業科目数をできる限り増やすことが課題であろう。

6 教養教育の授業のあり方

「人間性を豊かにする」「テーマが高度すぎてついていけない」「教師の都合で選ばれたテーマ」「教師が不熱心」「レポートや発表が厳しすぎる」「単位があまりにでにくい」の授業で、受講意欲の違いによる差が10ポイント以上ある

「うまくテーマが選択」「人間性を豊かにする」「学問的関心と合致した」「教師に熱意があり学問探究に共感」「教材に工夫」「教師の都合で選ばれたテーマ」

「単位があまりにでにくい」授業は、カリキュラム改革に伴い若干改善された
「教師が不熱心」「声が小さい」「レポートや発表が厳しすぎる」授業では、改革に伴い若干悪化している

教養教育の授業のあり方に関する学生の意識を把握することを目的に、次にあげるような授業が多いと思うか、少ないと思うか、についてたずねた。これらの設問に対する回答状況を示したものが、図6-A・B～図20-A・Bである。これら15設問は1992年調査と同一にしたため、これらのデータは、カリキュラム改革による効果を考える上で参考となる数字である。

☆ 「うまく授業のテーマが選択されている授業」(問5-1)について

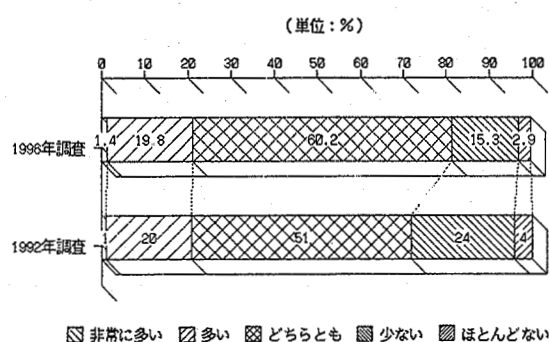


図6-A テーマがうまく選択された授業
1996年と1992年の比較

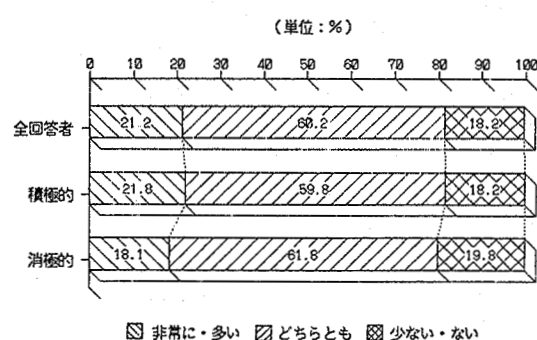


図6-B テーマがうまく選択された授業
1996年受講意欲別

「どちらともいえない」の比率60.2%が最高で、全有効回答では「非常に・多い」が「少ない・ない」より若干高率であるが、受講意欲の違いによりこの若干のポイント差は逆転している。受講意欲が積極的な学生は消極的な学生よりも「非常に・多い」が3.7ポイント高く、「少ない・ない」が1.6ポイント低い。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」が9.8ポイント減り「どちらともいえない」9.2ポイント増えた。若干の数値とはいえ、改革の効果をうかがうことができる。

☆ 「自分の人間性を豊かにするのに役立つ授業」(問5-2)について

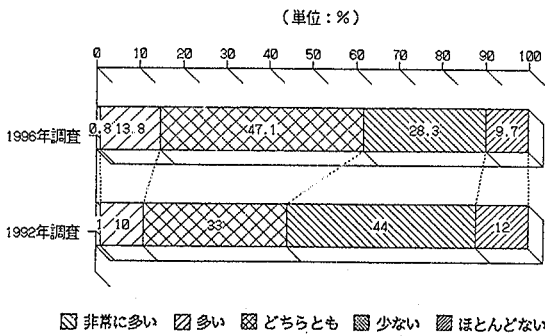


図7-A 人間性を豊かにする授業
1996年と1992年の比較

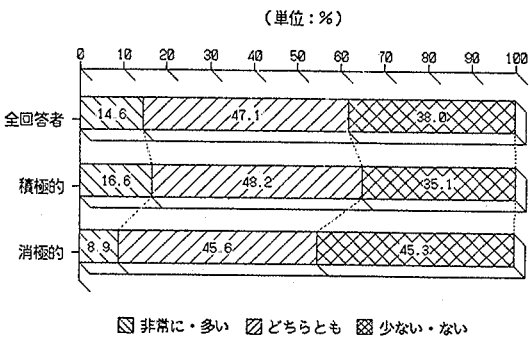


図7-B 人間性を豊かにする授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「どちらともいえない」の比率47.1%が最高であるが、「非常に・多い」よりも「少ない・ない」の比率が高い。受講意欲の積極的學生が消極的學生よりも「非常に・多い」が7.7ポイント高く、「少ない・ない」が10.2ポイント低い。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」が18.0ポイント減り、「非常に・多い」が3.6ポイント、「どちらともいえない」が14.1ポイント増えている。改革による一定の効果がみられる。

☆ 「内容は高度であるが、自分の学問的関心と合致した興味深い授業」(問5-3)について

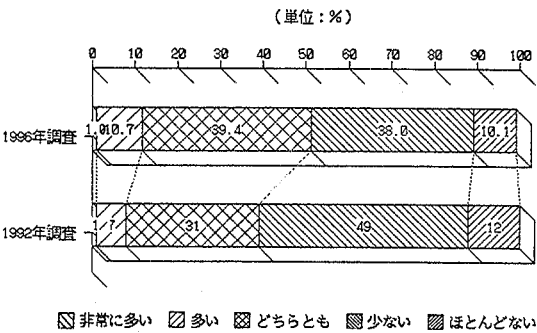


図8-A 興味深い授業
1996年と1992年の比較

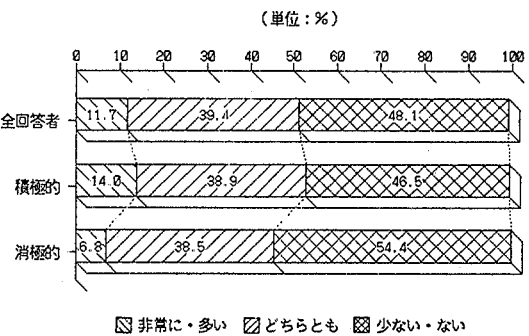


図8-B 興味深い授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「少ない・ない」の比率48.1%が最高である。ただし、受講意欲の積極的學生が消極的學生よりも「非常に・多い」が7.2ポイント高く14.0%であり、「少ない・ない」が7.9ポイント低く、46.5%である。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」が12.9ポイント減り、「非常に・多い」が3.7ポイント、「どちらともいえない」が8.4ポイント増えている。前設問と同様に、改革による一定の効果がみられる。

☆ 「教師の研究態度や授業の教えかたに熱意が感じられ、学問に対する探求のあり方に共感を覚えた授業」(問5-4)について

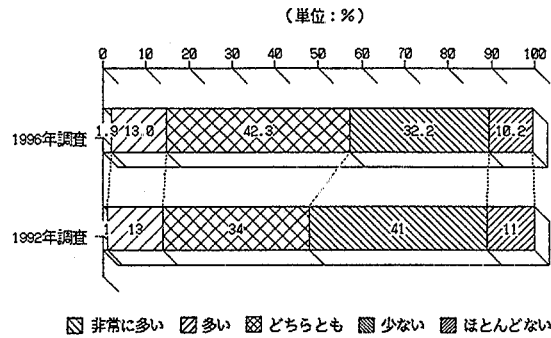


図9-A 教師の熱意が感じられる授業
1996年と1992年の比較

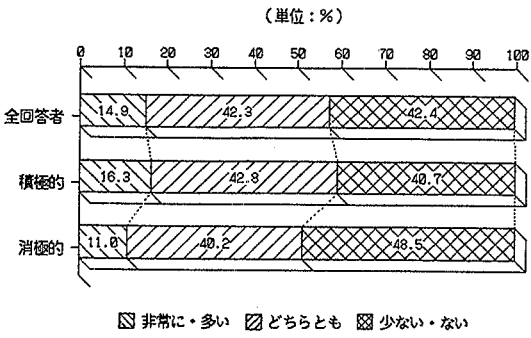


図9-B 教師の熱意が感じられる授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「どちらともいえない」の比率42.3%と「少ない・ない」の比率42.4%が高い。ただし、受講意欲の違いによる差があり、積極的の学生は消極的の学生よりも「非常に・多い」が5.3ポイント高く16.3%であり、「少ない・ない」が7.8ポイント低く、40.7%である。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」が9.6ポイント減り、「非常に・多い」が0.9ポイント、「どちらともいえない」が8.3ポイント増えている。改革により若干の効果がみられる。

☆ 「話術がたくみで、学生の興味をそらさない授業」(問5-5)について

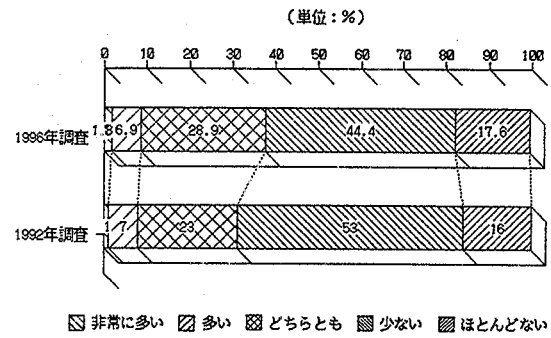


図10-A 話術が巧みな授業
1996年と1992年の比較

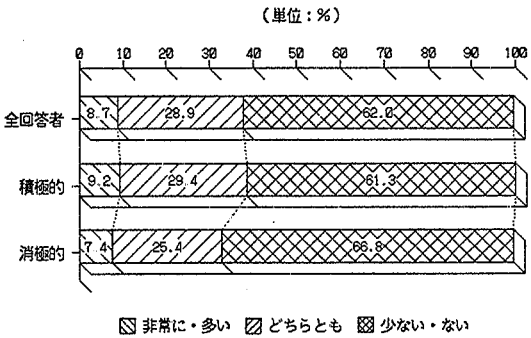


図10-B 話術が巧みな授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「少ない・ない」の比率62.0%が最高である。受講意欲の積極的の学生は消極的の学生よりも「少ない・ない」が5.5ポイント低い。

教師の話術という点は、カリキュラム改革と直接には関係はないが、旧・新カリキュラムの変化に伴い、「少ない・ない」が7.0ポイント減り、「どちらともいえない」が5.9ポイント増えている。

☆ 「プリントや視覚教材などを用意してあり、学生を引きつける工夫をした授業」(問5-6)について

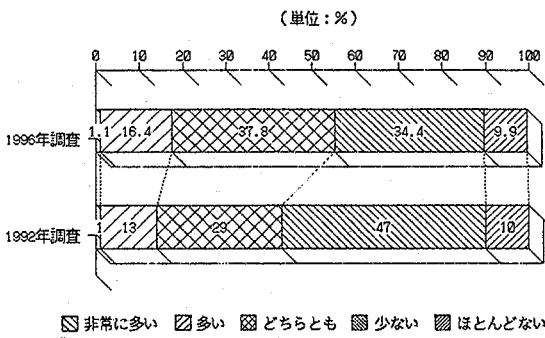


図11-A 教材を工夫した授業
1996年と1992年の比較

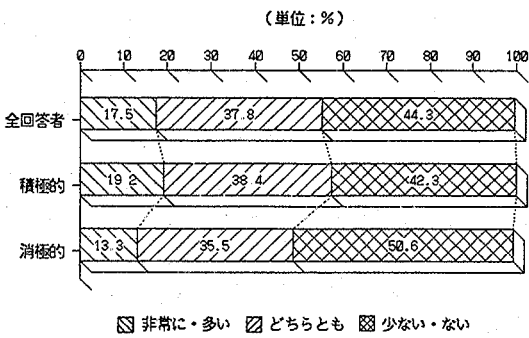


図11-B 教材を工夫した授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「少ない・ない」の比率44.3%が最高である。ただし、受講意欲の違いによるポイント差があり、積極的學生が消極的學生よりも「非常に・多い」が5.9ポイント高く19.2%であり、「少ない・ない」が8.3ポイント低く、42.3%である。

旧・新カリキュラムの変化に伴い、「少ない・ない」が12.7ポイント減り、「非常に・多い」が3.5ポイント、「どちらともいえない」が8.8ポイント増えている。この点にも改革による一定の波及効果をみることができる。

☆ 「質問を聞くための手段が講じてあり、学生の疑問を反映する授業」(問5-7)について

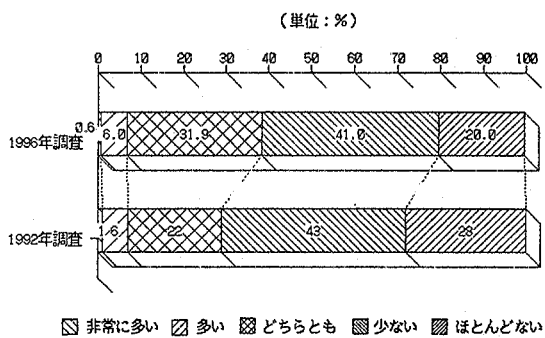


図12-A 学生の疑問を反映する授業
1996年と1992年の比較

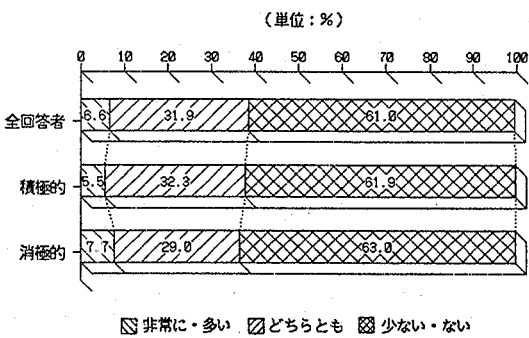


図12-B 学生の疑問を反映する授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「少ない・ない」の比率61.0%が最高である。この設問では、受講意欲の違いによる差は大きいものではなく、6割強程の學生がこうした授業は少ないか、非常に少ないと考えている。

しかし、旧・新カリキュラムの変化に伴い、「少ない・ない」が10.0ポイント減り、「どちらともいえない」が9.9ポイント増えている。

☆ 「テーマが高度すぎて、教養教育の段階の学生にはついていけない授業」(問5-8)について

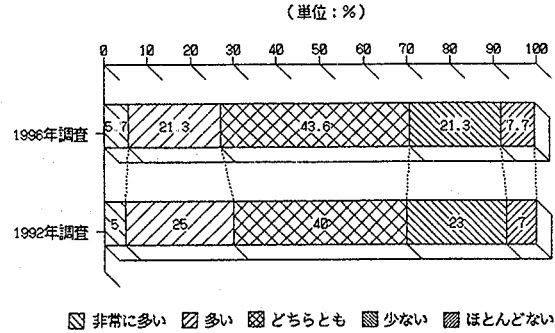


図13-A テーマが高度すぎる授業
1996年と1992年の比較

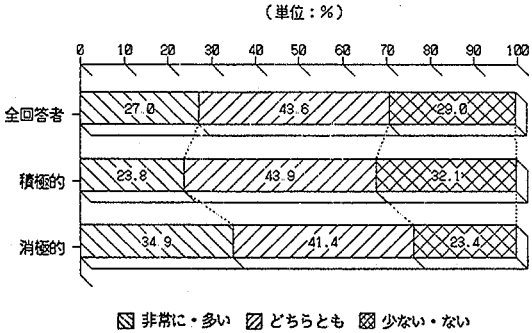


図13-B テーマが高度すぎる授業
1996年受講意欲別

全有効回答では「どちらともいえない」の比率43.6%が最高で、「少ない・ない」が「非常に・多い」より若干高率であるが、受講意欲の違いによりこの若干のポイント差は大きく逆転している。受講意欲が消極的な学生は積極的の学生よりも「非常に・多い」が11.1ポイントも高く34.9%であり、「少ない・ない」が8.7ポイント低く23.4%となっている。1992年調査結果と同様にテーマが高度すぎることへの授業批判に、自らの受講意欲のなさを転化する指向が含まれていると思われる。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」および「非常に・多い」ともに各々1.0ポイント、3.0ポイント減り、「どちらともいえない」が3.6ポイント増えた。この点では、改革による大きな変化はみられない模様である。

☆ 「内容が高校で学んだことばかりなので新鮮味に乏しい授業」(問5-9)について

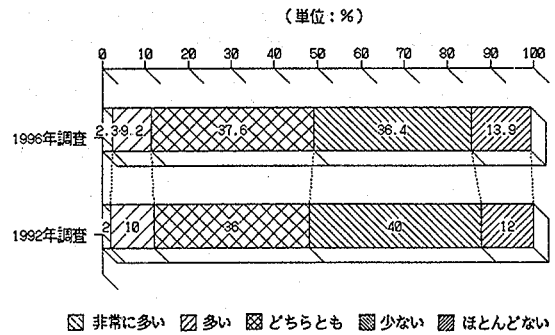


図14-A 新鮮味に乏しい授業
1996年と1992年の比較

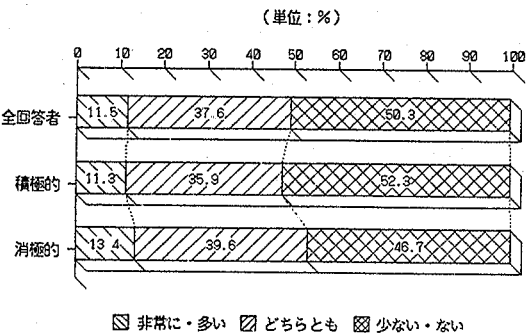


図14-B 新鮮味に乏しい授業
1996年受講意欲別

全有効回答で「少ない・ない」の比率50.3%が最高である。半数強の学生がこうした授業は少ないと考えている。しかも、受講意欲の積極的の学生が消極的の学生よりも「少ない・ない」が5.6ポイント高く52.3%あり、「非常に・多い」が2.1ポイント低く11.3%である。

また、この点では、カリキュラム改革による大きな変化はみられない模様である。

☆ 「学生の関心を全く考慮しない教師の都合で選ばれたテーマの授業」(問5-10) について

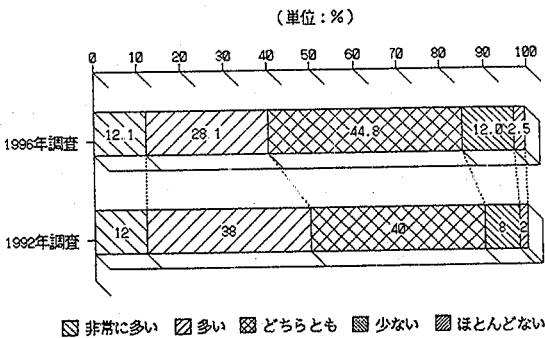


図15-A 教師の都合で選ばれたテーマの授業
1996年と1992年の比較

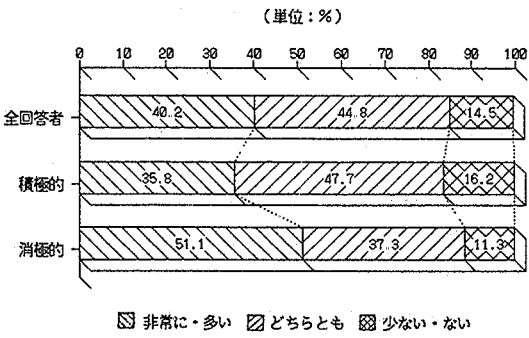


図15-B 教師の都合で選ばれたテーマの授業
1996年受講意欲別

全有効回答では、「どちらともいえない」が「非常に・多い」よりも4.6ポイント高く44.8%で最高である。受講意欲の違いによる差があり、意欲が消極的な学生は積極的な学生よりも「非常に・多い」が15.3ポイントも高く51.1%もあり、「少ない・ない」が4.9ポイント低く11.3%となっている。

旧・新カリキュラムの変化では、「少ない・ない」および「どちらともいえない」が各々4.5ポイント、4.8ポイント増え、「非常に・多い」が9.8ポイント減っている。この点では改革による一定の効果をみることができる。

☆ 「教師の授業態度が不熱心で、やる気がおこらない授業」(問5-11) について

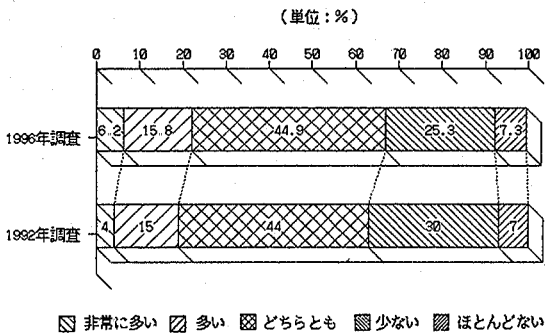


図16-A 教師が不熱心な授業
1996年と1992年の比較

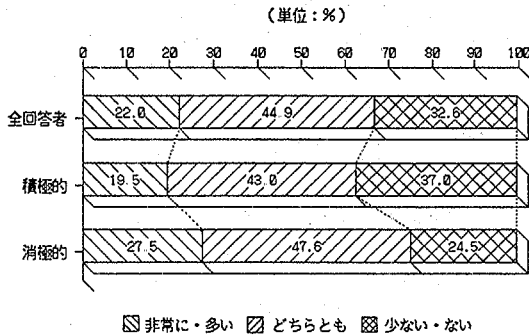


図16-B 教師が不熱心な授業
1996年受講意欲別

全有効回答では「どちらともいえない」の比率44.9%が最高で、「少ない・ない」が「非常に・多い」より若干高率であるが、受講意欲の違いによりこの若干のポイント差は逆転している。受講意欲が消極的な学生は積極的な学生よりも「非常に・多い」が8.0ポイントも高く27.5%であり、「少ない・ない」が12.5ポイントも低く24.5%となっている。1992年調査結果と同様に、教師の不熱心さに対する批判に、自らの受講意欲のなさを転化する指向が含まれていると思われる。

旧・新カリキュラムの変化では、「非常に・多い」が3.0ポイント増え、「少ない・ない」が4.4ポイント減っている。この点では改革に伴い学生による評価は若干悪化していることになる。

☆ 「授業中の声が小さく、何を聞いたのかよく分からない授業」(問5-12)について

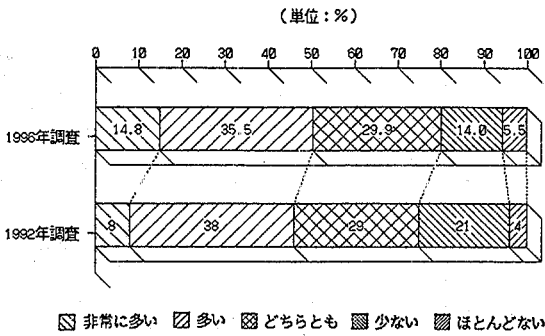


図17-A 声が小さい授業
1996年と1992年の比較

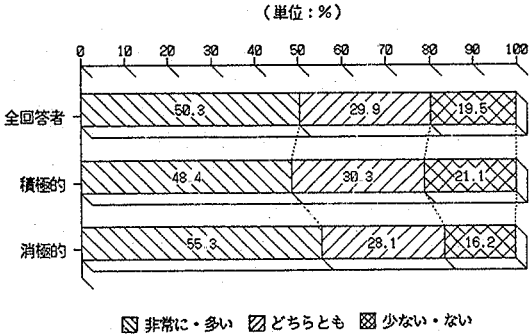


図17-B 声が小さい授業
1996年受講意欲別

全有効回答では「非常に・多い」の比率50.3%が最高で、約半数の学生がこうした授業が多いと考えている。ただし、受講意欲が消極的な学生は積極的學生よりも「非常に・多い」が6.9ポイント高く55.3%であり、「少ない・ない」が4.9ポイント低く16.2%となっている。

旧・新カリキュラムの変化では、「非常に・多い」が4.3ポイント増え、「少ない・ない」が5.5ポイント減っている。この点でも改革に伴い学生による評価は若干悪化している。

☆ 「レポートや発表など、あまりにきびしく要求しすぎる授業」(問5-13)について

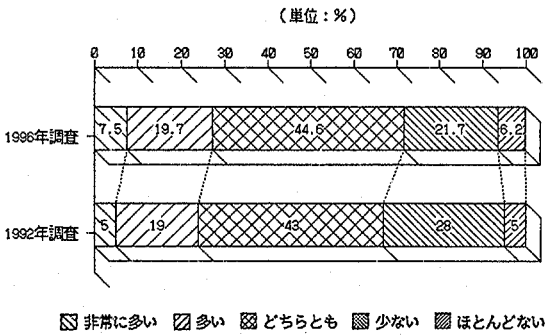


図18-A レポートや発表が厳しい授業
1996年と1992年の比較

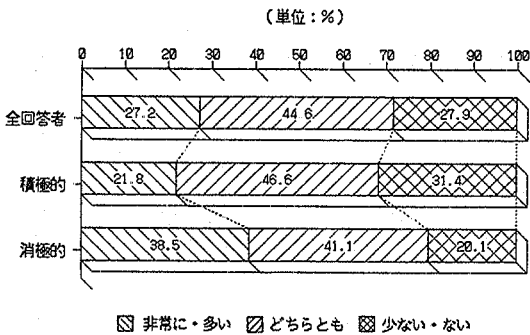
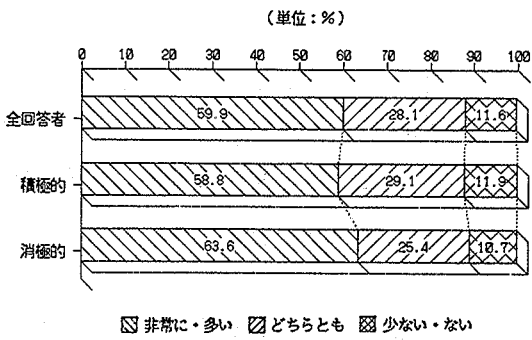
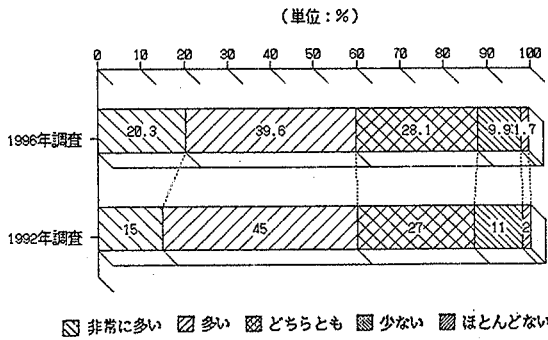


図18-B レポートや発表が厳しい授業
1996年受講意欲別

全有効回答では「どちらともいえない」の比率44.6%が最高で、「非常に・多い」と「少ない・ない」がほぼ同じ比率である。しかし、受講意欲の違いによりこの差が明瞭にあり、受講意欲が消極的な学生は積極的學生よりも「非常に・多い」が16.7ポイントも高く38.5%であり、「少ない・ない」が11.3ポイントも低く20.1%となっている。1992年調査結果と同様に、レポートや発表などが厳しすぎる授業への不満は学生の受講意欲と大きく関連しており、消極的な学生はこうした不満が相対的に強い。

旧・新カリキュラムの変化では、「非常に・多い」が3.2ポイント増え、「少ない・ない」が5.1ポイント減っている。この点でも改革に伴い学生による評価は若干悪化していることになる。

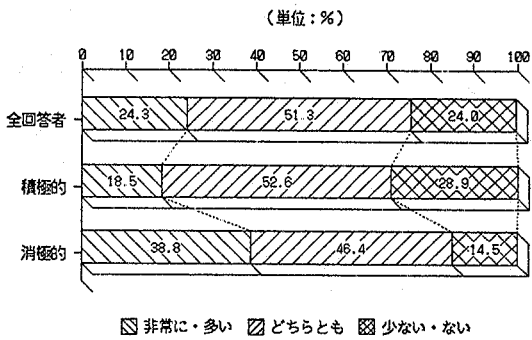
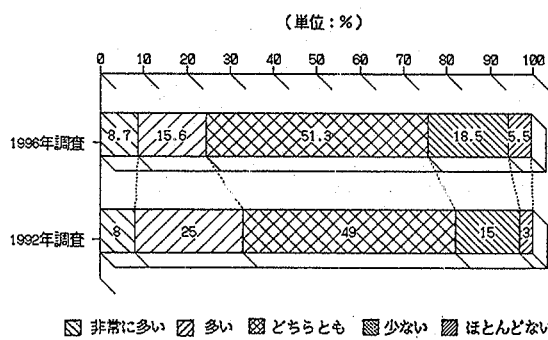
☆ 「板書の仕方がまずくてよくわからない授業」(問5-14)について



有効回答では「非常に・多い」の比率が59.9%で最高である。6割近くの学生がこうした授業が多いととらえている。この点でも受講意欲の消極的な学生は積極的な学生よりも「非常に・多い」が4.8ポイント高い。

旧・新カリキュラムの変化では、「非常に・多い」が約60%で変化がないが、その内訳では「多い」が5.4ポイント減り、「非常に多い」が5.3ポイント増えている。「少ない・ない」は1.4ポイント減っているだけであるため、若干悪化したことになる。

☆ 「単位があまりにもでにくい授業」(問5-15)について



全有効回答では「どちらともいえない」の比率51.3%が最高で、「非常に・多い」と「少ない・ない」がほぼ同率である。しかし、受講意欲の違いによりこの両者の均衡は崩れ、受講意欲が消極的な学生は積極的な学生よりも「非常に・多い」が20.3ポイントも高く38.8%であり、「少ない・ない」が14.4ポイント低く14.5%となっている。1992年調査結果と同様に、受講意欲の違いによる差が明瞭に現れ、意欲が消極的な学生は単位がでにくいことへの不満が強い。こうした批判には、自らの受講意欲のなさを転化する指向が含まれていると思われる。

旧・新カリキュラムの変化では、「非常に・多い」が8.7ポイント減り、「少ない・ない」が6.0ポイント増えている。この点では、改革に伴い学生の評価は若干よくなっている模様である。

7 主題科目について

主題科目全体では肯定的評価は5割強で、否定的評価より35ポイント程高い
主題により差があり、12主題の内7主題で5割以上が「よかった」と回答
自由記述では、多人数授業、受講調整に対する不満および、科目の選択幅の拡大
および科目数の増加を求める意見が多い

主題科目は今回の教養教育カリキュラム改革の第一の眼目として位置づけられている。学生は主題科目に対してどのように評価しているのだろうか。12主題毎に、受講したものについて、五段階評価によりたずねた。その回答結果を比率（％）で示したものが、図21である。

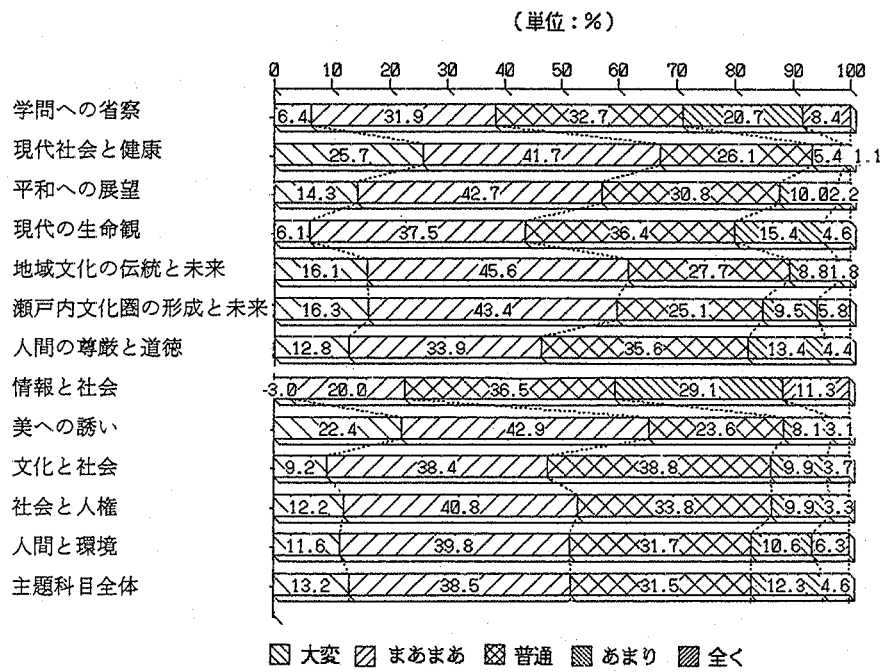


図21 主題科目に対する評価

主題科目全体についての比率は、「たいへんよかった」と「まあまあよかった」とする肯定的評価をあわせた比率が51.7%、「普通」の比率が31.5%、「あまりよくなかった」と「全くよくなかった」という否定的評価をあわせた比率が16.9%であった。総体的には肯定的評価が否定的評価より34.8ポイント高くなっている。

ところが、主題により違いがみられ、「たいへんよかった」と「まあまあよかった」とする肯定的評価をあわせた比率が5割を超えるものは、「現代社会と健康」(67.4%)、「美への誘い」(65.3%)、「地域文化の伝統と未来」(61.7%)、「瀬戸内文化圏の形成と未来」(59.7%)、「平和への展望」(57.0%)、「社会と人権」(53.0%)、「人間と環境」(51.4%)の7主題であった。

一方、「あまりよくなかった」と「全くよくなかった」という否定的評価をあわせた比率が2割以上のものは、「情報と社会」(40.4%)、「学問への省察」(29.1%)、「現代の生命観」(20.0%)

の3主題である。とくに「情報と社会」への評価が厳しくなっている。

また、全般的に「普通」の比率は、23～38%の幅である。

次に示すものは、主題科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望等を自由記述の形でたずねた設問（問7）に対する回答である。

これらの記述には、多人数授業、受講調整に対する不満が少なくない。また、1年入学時に主題科目を選択しその後変更できない制度に対する不満と改善の要求、主題科目の選択幅の拡大および科目数の増加を求める意見等、希望する主題科目を履修できるよう制度の変更を求める立場からの要望も少なくない。

問4への回答で多人数授業に対する不満が旧カリキュラムよりも強くなったことを既述したが、その背景には現行制度運用上、主題科目が多人数授業を余儀なくされる事態があり、また、問3への回答において教養教育授業科目の中で主題科目の満足度や興味・関心度が相対的に低い数字について既述したが、この点の主要な要因も多人数授業にあると推測される。

また、主題科目と共通科目の違いが学生にとって不分明である、という記述もみられた。

とはいえ、現行の主題科目で「なかなかよかった」「受講したいものがとれたし、満足している」「今のままでほぼ良いと思う」という好評価もあった。また、いくつかの主題内容の要望もみられた。

なお、本稿の自由記述文末尾の括弧内は、(所属学部・学年・性別)である。

- ◎人数が多すぎる。科目を増やしてもっと細かいところまで選べるようにしてほしい(経・4・男)
- ◎よく分かりません(法・4・男)
- ◎主題科目の日に限って取りたい授業があったりする(経・1・男)
- ◎主題のテーマが曖昧である(経・3・男)
- ◎入学時に決めた主題の科目しか履修できないという制度を止めてほしい(法・3・男)
- ◎自分の取りたい主題を、取りたくても抽選で取れず、仕方なく他の主題を取らなければならない所が、良くないと思う(経・1・男)
- ◎興味のない授業内容が多い(法・1・男)
- ◎主題名と、内容のギャップが感じられたので、そこところを分かりやすく名付けてくれればと思う(経・1・男)
- ◎平成6年の入学の者にも、主題科目を考慮してほしい(農・3・男)
- ◎世界史に関する授業を増やしてほしい(法・2・男)
- ◎「現代日本の文化と青少年」を要望します(教・4・男)
- ◎主題科目をABCのそれぞれから2つずつ受講するという形式ではなく、自分の好きなものを受講させてほしいと思います(法・1・女) (農・1・男)
- ◎「美への誘い」は、先生の説明が難しすぎてよく分からなかった(法・1・女)
- ◎専門的な言葉は分かりやすく説明してほしい(法・1・女)
- ◎熱意の感じられる分かりやすい授業をしてほしい(法・2・女)
- ◎現在起こっている社会問題に関する講義(法・1・男)
- ◎抽選は良くない(教・1・女)
- ◎授業を受けるまで具体的な内容がよく分からず、いざ受けてみると、先生の考え方だけしか聞けず、後は自分で考えるものが多い。もっと、様々な見解を聞けるようなものがない(教・1・女)
- ◎あまり専門的な内容の授業をしないでほしい(法・1・女)
- ◎福祉に関する主題。共通などと重なって取りたいものが取れなかったりする。(法・1・女)
- ◎主題が全く違うのに授業内容は同じだった。AタイプBタイプCタイプの主題文を共通科目のように分けて欲しい。例えばAは人文科学、Bは社会化学、Cは自然科学のように、せっかく広く教養を付けるために主題を学ぶのに、同じよ

- うなものを選んでしまっは意味がない(法・1・女)
- ◎テーマが広すぎるので、もっと絞ったテーマにして欲しい(法・1・女)
- ◎内容が自分の専門外の話ばかりで、分かりにくいので、専門的な話は避けて欲しい(法・1・女)
- ◎テーマ別を無くして、全講義を自由に選択できるようにする(農・1・男)
- ◎取りたい講義を取れるようにすべきだ(農・1・男)
- ◎もう少し、自分の好きなものが取れるようにして欲しい(経・1・男)
- ◎もっと初歩的な所から始めるべき。教授の考えを押し付けているような気がする時がある(法・1・男)
- ◎主題科目は無くてもよい(教・1・男)
- ◎脳死問題を取り扱った主題。霊長類系を取り扱った主題(経・1・男)
- ◎自由に選ばせて欲しい(経・1・男)
- ◎テーマがおおきすぎる(教・1・女)
- ◎余りおもしろくない(法・2・男)
- ◎大部分の講義は教授側からの一方通行の講義で、抽象的で分かりにくい点が多く余りにも多すぎます(法・1・男)
- ◎教授の趣味の時間であり、知識をふりまくだけの講義をやめ、学生の求めるものを提供していただきたい(法・1・男)
- ◎選択の幅がせまい(経・1・男)
- ◎1主題につき、4単位以上というのを止めて、もっと幅広く取らせて欲しい。農学部者としては1年前・後期ともけっこうあき時間があるので、その中に主題を入れて欲しかった(農・1・男)
- ◎主題科目が多すぎて、共通科目が少なくなっているような気がする(農・3・男)
- ◎授業が組みにくい(農・1・男)
- ◎うるさく、教師の声が聞こえず、字が見えにくい。授業が終わればさっさと帰る。休み時間の十分が無意味(法・3・男)
- ◎主題科目と共通科目に何か違いがあるの？(経・2・男)
- ◎授業がつまらない。単位だけ取ればよい。自分のやりたいものではないが、単位数をそろえるため、仕方なく取っている(教・1・女)
- ◎テストだけではなく、もっと出席を見て欲しい(農・1・男)
- ◎「今」を取り入れたもの。音楽ならオペラとかより、今のはやりの歌の分析など(経・1・男)
- ◎もっとテーマごとの開講数を増やすべき(経・1・男)
- ◎抽選などして希望のものが取れなければ、主題科目の意味が無い(経・2・男)
- ◎現代の宗教。聖書について(経・1・男)
- ◎もっと各論に踏み込んで欲しかった(法・1・男)
- ◎共通みたいな形式を取り、卒業要件単位数だけ決めて、自由に取らせるのが良い(経・2・男)
- ◎A. B. Cの抽選はやめるべき。学ぶことの自由を保障してほしい(法・1・男)
- ◎もっと生活に密着した主題を増やすべきだと思う(法・1・男)
- ◎先生の個人的意見を押し付けるのは止めてほしい(教・1・女)
- ◎1年の入学の時にわけも分からず主題を選ぶのはむちゃなことだ(経・1・男)
- ◎もっと身近で、興味深い主題があった方がいい(法・1・女)
- ◎受講の仕方の説明が不十分なために、後になって困っている学生が何人かいたのは少し問題では。教養を深めるという意味であるのだけれど、実生活とはかけはなれた題材を取り扱っているものもあり、単に教授のほうの専門分野を話しているという印象を受けた(教・1・男)
- ◎自分の取りたい授業が履修できない。自分の興味のもてる主題がない(教・1・男)
- ◎教師の声が小さいことが多い(経・1・女)
- ◎退屈なので、もっと興味のわく講義をしてほしい(経・1・女)
- ◎主題の開講している曜日が、共通科目と重なっているものが多く、共通科目を多く取れなかった(教・1・女)
- ◎単位取得の難易が大きすぎるのは間違いなく“主題”だ。これの改善が求められる(経・1・男)
- ◎黒板にもっと見やすく書いてほしい(経・1・女)
- ◎何をしゃべっているか理解できないから分かりやすくしてほしい(経・1・男)
- ◎現在の国際問題など、時節に密接なもの(経・1・女)
- ◎1つの主題を決めてしまうと、それよりいいのが後から分かっても、変更できない点がきびしい(法・1・女)

香川大学における教養教育改革の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

53

- ◎どの講師も、教育者としての熱意が感じられない（法・1・男）
- ◎主題科目と共通科目がかぶってしまって取れない（経・1・男）
- ◎もっと狭い範囲で題材を扱ってもよかったのではないだろうか。範囲が広すぎて、よく分からない授業があった（教・1・男）
- ◎授業をもっと自由に選べるようにしてほしい（経・1・男）
- ◎主題科目数をもっと増やして少人数で授業をしたい。授業の中には、理数系でなければ、全く理解できないものもあり、もっとバラエティーに富んだ授業を多く作ってほしい（教・1・女）
- ◎自分の希望する授業をもっと自由に受講できるように選択の幅を広げてほしい（経・1・女）（農・1・男）
- ◎統一した主題で選んでも授業毎の一貫性がなく、主題のテーマを見失ってしまう事が多い（教・1・男）
- ◎ただでさえ興味のわかない講義名だから、せめて、内容で引き付けてほしい（経・1・男）
- ◎自分の希望している主題が取れないのが残念（法・1・女）
- ◎特にないが、私語をするならば筆記にすべきだと思う
- ◎栄養摂取の効果について（教・1・女）
- ◎A、B、Cの中で色々なものを受講したい（教・1・男）
- ◎教授はもっと熱意をもって授業をしてほしい。一般教養だから気を抜いているのでは。自分の世界に入りすぎ（法・1・女）
- ◎瀬戸内文化圏の形成と未来だが、瀬戸内文化の形成に瀬戸内の海運業や水軍の存在は重要だと思うので、この辺りを取り上げてほしい（経・1・男）
- ◎科目が少ない（経・1・男）
- ◎主題はなく、自分の専門分野を1年次から学ぶべきだ（農・1・男）
- ◎色々取りたい（法・1・男）
- ◎先生の興味の押し付け的なものがあまりにも多い（経・1・男）
- ◎人がたくさんいて、教室が広いために声が聞こえにくい（法・1・女）
- ◎もう少し、内容を充実させて欲しい（経・1・女）
- ◎内容が高度過ぎて、ついていけない部分もある（農・1・女）
- ◎世界地理、世界文化に関する授業があってもよい。抽選ではなく学びたいものを学べるようにすべき（農・1・女）
- ◎もっと現代の問題に密着したものを取り上げてもらいたい（農・1・男）
- ◎法学部やって楽器を演奏したいんじゃ。自由科目でもいいから、楽器を演奏できる授業を取り入れてくれ（法・2・男）
- ◎教授が一人でしている感じでつまらない（法・1・女）
- ◎開講されている12主題すべての中から好きなものを選ぶようにして欲しい（教・1・女）（法・1・男）
- ◎調整の必要は認めるけど、何らかの処置が欲しいと思う（教・1・男）
- ◎教養の科目の中に組み込まれている主題科目なのに、選択の自由が大幅に失われている。おかしいと思う。教室などの設備の面で学生の学習する権利を侵す大学は大学でありえない。改善の必要大（教・1・男）
- ◎「瀬戸内文化圏の形成と未来」は授業中の先生の進め方についていけなかった。分かり易く話して欲しかった。しかし、単位は取り易かった（農・1・女）
- ◎主題科目と共通科目をわけている意味が分からない。しかも、主題も共通も面白くない（教・1・女）
- ◎学校側の問題点もいくつかあると思うが、受講生側の態度や取り組み方にも、大いに問題があると思う（農・1・男）
- ◎どうしてもよい内容が多い。もっと役に立つ主題科目が欲しい（農・1・女）
- ◎主題Bに興味のある科目がなく、選択するのに困った。できれば、環境関係があるといい（農・1・女）
- ◎希望する科目を選べないことがあるのは、学習意欲をくじくことに少なからずつながってしまうと思う（農・1・男）
- ◎より多くのタイプの選択枝が欲しい。火曜日は農学部で授業があるため、取りたかった主題も取れなかった（農・1・男）（農・1・女）……その他3名
- ◎日本の歴史の授業を作って欲しい（農・1・男）
- ◎ビデオなどを使った授業をして欲しい。ノートの取りにくい授業がいくつかあった（農・1・男）
- ◎はじめに主題を決めて、その中で授業を組むと、興味が無い授業も取らなくてはならなくなるのがいやだ（農・1・女）
- ◎学問への省察は見直した方がよい（経・1・女）
- ◎教授が自分の趣味・興味について好きにしゃべっている授業はとても面白くない（教・1・女）

- ◎広く、浅くの語学など、何の役に立つのかも分からない講義はやめてほしい(教・1・女)
- ◎余り興味のない授業にまわされる(教・2・女)
- ◎専門授業でないためか、いいかげんな教授が多かった。教授側もう少しやる気を見せて欲しい(経・2・男)
- ◎出席とレポートをやれば、最低でも単位をあげるものにして欲しい(法・1・男)
- ◎板書がよく見えない(法・1・男)(教・1・女)
- ◎ちょっと一方的(法・1・女)
- ◎自分の好きな科目が取れるようにもっと授業の数を増やして欲しい(法・2・女)(教・1・男)(経・1・男)(経・1・男)
- ◎A. B. Cに分けずに自由に3つ選びたかった。共通科目と重なるのが難(経・1・男)
- ◎主題であるからといって何がどう違うのか、扱う範囲にしても他との差異はあまり感じない(法・3・男)
- ◎最初に人数で分ける分け方は、受講したいと思うのを受けられなくなるので、良くない(法・1・男)
- ◎なかなか良かった(経・2・男)
- ◎音楽(経・1・男)
- ◎先生がぼそぼそしゃべっているだけで面白くないものがあった(経・1・男)
- ◎面白くない(法・1・男)
- ◎3年なのですが、「文化と社会」しか受けられないので選択の余地がない(法・3・男)
- ◎無くせば良い(経・3・男)
- ◎抽選で変な主題にいてしまい、単位が取れそうにない(農・1・男)
- ◎日本のアニメ文化について(法・2・男)
- ◎自分の専門に走る先生が多い。もっと、一般的なものを(法・1・男)
- ◎実地調査などが課題に出るが、暇が無くて、行けずに単位が取れなかった。もう少し、忙しい人のことを考えて欲しい(経・2・男)
- ◎だらだらした授業展開で面白くない(教・2・女)
- ◎単位がでにくい授業がある(経・1・男)
- ◎なぜ、入学年度で区切るのか(経・4・男)
- ◎教師により、熱意度に差がある。学校外の先生の方が興味深く面白かった(教・2・女)
- ◎もう少し科目を増やすなり、教室を考えるなどしてせめて座れるようにしたほうがいい(経・2・女)
- ◎どれも似たような題名で、内容ではなく先生で選んでしまっている。もっと多くの種類を増やすほうが良いと思う。
「スポーツと人間」
- ◎もう少し学生のやりたいことを反映して欲しい(教・3・男)
- ◎受講していないので分からないが、教養が広がるようなものを期待する(教・4・男)
- ◎人数が多すぎる(経・1・男)
- ◎取りたい主題が取れないのはおかしい(教・2・女)(教・1・女)
- ◎もう少し、ビジュアルを利用した授業を展開して欲しい(法・1・男)
- ◎学生のことを考えよう。＝教授本位の授業をするな(経・1・男)
- ◎「食事の歴史や究極のメニュー」(経・1・男)
- ◎教養教育で試験を設けるのは変だ。レポート提出であるべきだ(法・1・男)
- ◎選択ではなく、すべての授業が受けられればと思う(経・1・男)
- ◎「人としての生き方・良い生き方」(経・3・男)
- ◎一般教育などしたくないと言っている教師に講義させるべきではない(法・1・男)
- ◎もっと学生が興味あるもの(農・1・男)(教・1・男)
- ◎主題は自分の意見の反映も大切なので持ち込み可にするべきだ(農・1・男)
- ◎抽選ではなく、行きたい授業があれば、そこに必ず行けるようにして欲しい(法・1・男)
- ◎一方的にしゃべるのは良くない。お互いにやる気がなければ、止めたほうが良い(経・1・女)
- ◎「日本の漫画文化について」(法・2・男)
- ◎授業人数が多くて、教授の言っていることや、黒板が全然見えない(経・1・女)
- ◎もっと分かりやすい解説を。いきなり専門用語を使うのは絶対に禁止(農・1・男)
- ◎食文化や伝統工芸などの主題があればいいと思う(経・1・女)
- ◎取りたい主題が分類されていて取れなかったの、自由に選択させてほしい。共通科目との重なりを避けてほしい(農

・1・男)

- ◎受講したいと思う授業が少なかった (教・1・女)
- ◎人数が多い (農・1・男)
- ◎かったるい (農・1・女)
- ◎内容が1つに偏っている (教・1・女)
- ◎あくまで「主題」だが、もっと専門的なことを深く教えてほしい (教・1・女)
- ◎希望のものを選択したい (農・1・女)
- ◎高校の延長の授業が多い (経・1・男)
- ◎もう少し踏み込んだ事をやった方が興味がわくのでは (農・1・男)
- ◎「省察」とか「生命観」など難解な言葉が多く、とっつきにくい (経・3・男)
- ◎科目によっては単位のつけ方がいいかげんで、多少納得のいかないものがあった (法・1・男) (経・1・女)
- ◎もっと視聴覚教材を増やしてほしい (経・1・女)
- ◎火曜日、水曜日は開講しないでほしい。農学部生には取れない (農・1・女) -----その他3名
- ◎瀬戸内は何のために学ぶのか疑問 (教・1・女)
- ◎ある1カ国についての歴史・言語・文化を学びたい (教・1・女)
- ◎何をしているか明確でない授業が多いので、つまらないものが多い。教える側も熱意をもって楽しい授業をしてほしい (教・1・女)
- ◎理系なのに文系のものを取りたくない (教・1・男)
- ◎一度選択した主題を変えられないのが困る。1科目ずつの選択にしてほしい (教・1・男)
- ◎法律関係の主題がないので作ってほしい。例えば「現代社会と法」など (経・1・男)
- ◎主題の抽選を無くしてほしい (農・1・男) -----その他3名、(経・1・男) -----その他5名、(教・1・女) -----その他2名
- ◎シラバスに書いている内容と少し異なる事があるので、それをなくしてほしい (農・1・女)
- ◎「情報とメカトロニクス」で授業中につまらない説教で時間をつぶさないでほしい (教・1・女)
- ◎もっと主題科目数を増やしてほしい (経・1・男)
- ◎「情報と社会」のように全く興味・関心のない授業は聞いていてもつまらないし、時間ももったいないように感じられた (教・1・女)
- ◎生活に役立ちそうなものが良い (教・1・女)
- ◎教授がべらべら話すだけというのはおもしろくない。ビジュアルにもっと重点を置くべき (教・1・女)
- ◎授業日をもう少し、散らしてほしい (農・1・男)
- ◎単位をどういう基準でつけたのか明確にしてほしい (教・1・男)
- ◎経済の専門科目と違いの殆ど無い授業を何とかしてほしい (経・1・男)
- ◎種類をもっと多く、抽選の仕方の変更 (法・1・男)
- ◎科学的なものをもっと増やしてほしい (教・1・女)
- ◎必要ない (法・1・男)
- ◎教授をもっと質の高い人にしてほしい (教・1・女)
- ◎主題だから単位を出やすくすべき (経・1・男)
- ◎社会に出て役立つものを学びたい (経・1・男)
- ◎教師のひとりよがりな授業が多い (農・1・男) (経・1・男)
- ◎主題Bに興味を持てるものがなかった (農・1・女)
- ◎芸術関係の主題が専門の教授でなかったため、その授業の興味のおしつけになっていたと思う。学生の感性を高められる授業にしてほしい (教・1・女)
- ◎情報と社会は難しすぎて、授業に出ようという気力までも奪ってしまう (農・1・女)
- ◎出席を取らない授業で、毎回出席しても、テストで文章を書けなかったため、落とされた (農・1・男)
- ◎試験をするようなものではないので、レポートで良いと思う。なぜ、点数に差が出るのか説明しろ (経・1・男)
- ◎受講調整により全く興味のない科目を学ばなければならない点が大いに不満です (法・1・男)
- ◎法学部に「メカトロニクス」を学ばせるのは余りにも無理がある (法・1・男)
- ◎主題科目の中の4つの講義の内容がすでに専門的だったり、題名と違うことをやったりして、楽しくないものが多かった (教・1・女)

- ◎先生が嫌なときがある(経・1・男)
- ◎意味がない(経・1・男)(経・2・男)
- ◎「法律と経済」(教・1・男)
- ◎主題Aはとくに希望者が多いのと少ないのが差がはげしすぎる。落とされて受講しても興味がないので、たくさん授業をとりようがないし、おもしろくない(教・1・女)
- ◎主題科目の存在意義が分からない(法・3・男)
- ◎本当にやりたい主題を受けたい(教・1・女) ----- その他3名、(経・1・女)(農・1・女)
- ◎もっとバラエティーに富んだものにしてほしい(法・1・女)
- ◎「今日の自分と明日の自分」(農・その他・男)
- ◎もう少し出席の取り方とか、レポートとかプリント配布をしてほしいと思った。単位取得がテストだけでは楽だが、不安である。遅刻者や私語をもっと取り締まるべきだ。甘い環境では人間性が墮落する(法・1・男)
- ◎期末試験がレポートのみの授業は、レポートを出したら可は出すようにしてほしい(経・2・男)
- ◎「宇宙について」(経・1・男)
- ◎みんな声が小さい。マイクの感度を良くするとかしてほしい(経・1・男) ----- その他2名、(教・1・女)
- ◎「宇宙の神秘」「古代の遺跡」(経・1・男)
- ◎他の主題も選択できるようにしてほしい(農・1・男)
- ◎取らなくてはならない数を減らす(教・1・男)
- ◎テスト勉強がしにくい。強調する所は強調して、どうでもいいところはとばす等の配慮がほしい(経・1・男)
- ◎どの学部の子でもすぐに理解できる授業にしてほしい(経・1・男)
- ◎教官方の遅刻があまりにも目立った(経・1・男)
- ◎「国際協力」に関連したもの(農・1・男)
- ◎もっとおもしろいもの(教・1・女)
- ◎専門と重なる(経・1・男)
- ◎複雑で分かりにくい主題を減らしてほしい。興味を引くものが少ない(教・1・女)
- ◎つまらないものが多すぎる。主題自体を全廃してほしいくらいだ(経・1・男)
- ◎「美への誘い」のような科目を増やしてほしい(法・1・男)
- ◎「瀬戸内文化圏の形成と未来」がとてもよかったです(農・1・女)
- ◎高校から大学に上がって、いきなり高度で内容が複雑すぎ、かつ難しいものになっているように思う(農・1・女)(農・1・男)(教・1・女)
- ◎主題科目におけるレポートで個人の意見が例えば講師と違った場合、反映されなかったと思われる(経・1・男)
- ◎最初に取りなければならない主題を決めなくてはならず、抽選に落ちたとき、不本意な授業を聞かなくてはならず、さっぱり授業が分からなくなる事がある(農・1・男)(教・1・女)
- ◎テキストなどを使えば良い(経・1・男)
- ◎「世界全体における日本の総合的な立場」「日本の子供と世界各地の子供(比較・問題など)」(経・1・男)
- ◎主題科目を開講している意味がつかみにくい。人間性を豊かにすると言われていたが。納得がいかない(農・1・男)
- ◎多くの人が受けるのもっと生徒を引き付けるような授業の方法を見せてほしかった(教・1・女)
- ◎自分の要望する主題科目が調整で取れなくなるのは良いが、全然したくない主題を強制的にとられるのはだめだ(法・1・男)
- ◎「人間心理・社会心理」(経・1・男)
- ◎農学部での主題講義や、午後の授業をしてほしい。人気の有る主題科目を増やして、興味のある科目で単位を出してほしい(農・2・女)
- ◎「現在の政治の仕組み」(経・1・男)
- ◎1コマからは、止めてほしい(経・1・男)
- ◎取りたい授業が取れるように、主題の枠決めはしないほうが良いと思います。A・B・Cのなかから好きなものをそれぞれ2つずつが良いのではないのでしょうか(経・2・女)
- ◎最初の抽選が良くないと思う。1回それに決まったら興味があっても2つも受講しないとならないから(教・2・女)
- ◎12主題もあるのに3主題しかとれなかった。もっと幅広く取りたかった(教・2・女)
- ◎視聴覚をもっと用いて知識を広く受け入れていけるように希望する(経・1・女)

- ◎抽選を無くしてほしい。抽選もれし、自分の興味がない授業を強制的に受けないといけなくなったため、苦勞した（教・2・女）（法・1・女）
- ◎内容が全体的におもしろくない（教・2・女）
- ◎楽しく学べるような授業内容が良い。あまりにかたくるしい内容だと飽きてしまう（経・2・女）
- ◎人気のある科目は人数がすごく、人気のない授業はないので、人気のないものは改善すべきだと思う（教・2・女）
- ◎受講したいものがとれたし、満足している（教・2・女）
- ◎楽しいものにして（経・1・男）-----その他2名
- ◎主題を選択制にしてしているので、他の取りたい科目が取れないのはたいへん遺憾に思う（経・2・男）
- ◎主題名と、授業内容が合致していなかったり、講師が思想をおしつけ意見を許さないようなものが多かった。考え方は1つではないと思う（農・2・男）
- ◎もっと細かくテーマを分けても良いのではないか（教・2・男）
- ◎主題科目の特性があまりはっきりせず、共通科目との違いがないように思う（経・3・男）
- ◎もっと幅広い内容（法・1・男）
- ◎たった1回のテストで決めてしまうのはあまりいい方法とは思えない（経・1・男）
- ◎抽選が多いことが残念です（教・2・女）-----その他3名、（教・2・男）-----その他2名、（経・1・男）
- ◎主題科目も普通の教養教育科目と同じように感じた（経・3・男）
- ◎抽選によって、強制的に「授業を受けさせている」感じが強い（法・1・女）
- ◎323のマイクを直してほしい。これが直れば主題Bの授業は聞きやすかった（法・1・女）
- ◎もう少し主題を増やして、出席をすべて取るべきだ（経・1・男）
- ◎専門と重なって、取りたい授業が受けられない（経・1・男）
- ◎時間のゆとりが欲しい。詰め込みすぎ（教・1・女）
- ◎「美への誘い」はビデオを見るばかりでつまらない。私達が何を見たがっているのか知らずに、勝手にやっている。自分の興味・関心を押しかけていような気がした（教・1・女）-----その他2名
- ◎教授の趣味に走っている授業ばかりだったように思う（経・1・女）
- ◎主題を決める際の資料が少ないし、余りに急である（教・1・女）
- ◎大学の学問について、あまり、知らない段階でどの主題を受けるかを決めたので後々困ることがあった（経・1・男）
- ◎グループ討論させて欲しい（法・1・男）
- ◎できるだけ学生の要望に応えられるように、多くの主題科目を作って欲しい（経・1・男）（教・1・男）
- ◎共通などの組み合わせ等によって主題で好きなものを取りにくい（経・1・女）
- ◎「人とは何か」（教・3・男）
- ◎主題科目をなくしてどれでも授業が受けることができるようにして欲しい。「天体等」（経・1・男）
- ◎総合的とは思えない。専門的（哲学・化学）なものが多い（教・1・男）
- ◎抜打ちで出席を取るのは卑劣だ（法・2・男）
- ◎一般教養であっても、専門的な話をもっと多く導入して良いと思う。「心理学の分野」（教・2・女）
- ◎「福祉とかそういう分野」（教・1・女）
- ◎国際感覚がない（経・2・男）
- ◎何のために学ぶのか理由が分からない（経・3・男）
- ◎2年のときに主題科目を自由科目として取ろうと思ったのに、登録できていないから、とか、2単位では単位を認められないと言われた（経・3・男）
- ◎「美への誘い」はマニアックすぎて、良く理解できなかった（教・1・男）
- ◎だれでも単位が取れる科目（経・3・男）
- ◎シラバスを読んだだけで、とても興味の持てるものと、全然持てないものの差がありすぎる（教・1・女）
- ◎あまり授業に興味・関心がないのもっと学習意欲がわくようなものにして欲しい（経・1・女）
- ◎特に環境の主題で、単位が取りにくいものがあった（経・2・男）
- ◎どういう意味で「主題科目」と名うたれているのか分からない（経・3・女）
- ◎「現代社会の矛盾」（教・1・男）
- ◎なるべく自分の取りたい授業を受けれるようにして欲しい（教・1・女）（経・1・男）
- ◎主題科目は雑学だと思っているし、自分の関心のあることを伸ばして行けば良いと思っているので、わざわざテストがあるから勉強するという形は間違っていると思う。レポートにして、自分で調べたいことを調べる方が自分のためにな

- と思う（農・１・女）
- ◎あまり興味のもてるものがなかったので、もっとおもしろくて、興味深い題材にして欲しいです（農・１・女）
 - ◎板書をきちんと書こう。汚い（教・１・女）
 - ◎シラバスに書いてあることと、実際の講義が同じものとは思えないことがある。もっと自由に主題を取りたい。取りたくない主題ばかり取ることになり、あまり興味がわかないことがある（経・１・女）
 - ◎今のままではぼ良いと思う（教・１・女）
 - ◎人数がかたよっても、自分の受けたいところを選ばせてほしい（教・１・女）
 - ◎資料を大きく、大きな声ではっきりと話して欲しい（経・１・男）
 - ◎取りたいものが同じ時間にある（経・１・男）
 - ◎人数が全ての授業において多すぎる（農・１・男）
 - ◎経済学部や法学部にいるのに、なぜ関係のない事を学ぶのか分からない。英語などはまだいいが、他はただの足枷になっているとしか思えない（経・１・男）
 - ◎専門と同じ時間が多すぎる（農・１・男）
 - ◎授業日を増やして欲しい（農・２・女）
 - ◎ちゃんと出席している人がばかを見るような評価はさけて欲しい（経・１・男）
 - ◎先生があまりに専門的なことを言われても、分からない。現在の社会の動向を分かりやすく教えてくれる身近なテーマがあればいいのでは（教・１・女）
 - ◎マイクとスピーカーの設備や定員について改善して欲しい（経・１・男）
 - ◎主題には何も求めない（法・１・女）
 - ◎主題科目のなかで特色を出し、選択をできるようにして欲しい（経・１・男）
 - ◎教官の興味のあることばかり話されるので、退屈なときがあった（教・１・女）
 - ◎出席点のない授業は、少しつらい（経・１・女）
 - ◎自分の関心のうすい授業を選択しなければならないのが、必要なことかもしれないが、意欲がわからない（農・１・女）
 - ◎情報とメカトロニクスは専門的すぎて、おもしろくない。分からないので、もっと初歩をやって欲しかった（教・１・女）
 - ◎テーマと全然関係ない話を毎回繰り返すのはやめて欲しい（教・１・女）
 - ◎「音楽関係」の主題（経・１・女）
 - ◎人が多いので前期・後期と分けずに、主題の中の４つが前期・後期のどちらでも取れるようにして欲しい（農・１・男）
 - ◎自分の興味のあるものを内容とした授業を取りたくても、主題が２つのものにわたってしまい、片方を諦めなくてはならないので、本当に勉強したいものが選択できなかった（教・１・女）
 - ◎人数が多く、座れない授業があったので、教室を広いところにして欲しい（農・１・男）
 - ◎将来何の意味もないしつまらない。もっと専門的な事がしたい（教・１・女）
 - ◎人数が多すぎて、教授の話していることが聞き取れない（教・１・男）
 - ◎共通と同じ時間にばかりしないで欲しい（教・１・女）
 - ◎レポートや出席をもっと重視したほうがいい。期末テストだけではよく分かっていない人も多く、曖昧な勉強しか残らず、自分で考えるという力が養われないから、もっと考えさせたほうがいい（農・１・男）
 - ◎語が難しすぎる（教・１・男）
 - ◎追試をしてほしい。試験の解答用紙を返却してほしい（経・１・男）

8 教養ゼミナールについて

教養ゼミナールを好意的に評価する学生が多い。特に教育学部と法学部の学生は、教養ゼミナールを高く評価している。農学部学生の評価は低い

教養ゼミナールは、教育学部が必修、法学部は準必修、経済学部と農学部が選択になっている。調査時点での受講経験者は417人、全体の33.1%であった。この教養ゼミナールを受講してどのような点が有益だったのだろうか。4つの視点からたずねた。それが図22である。

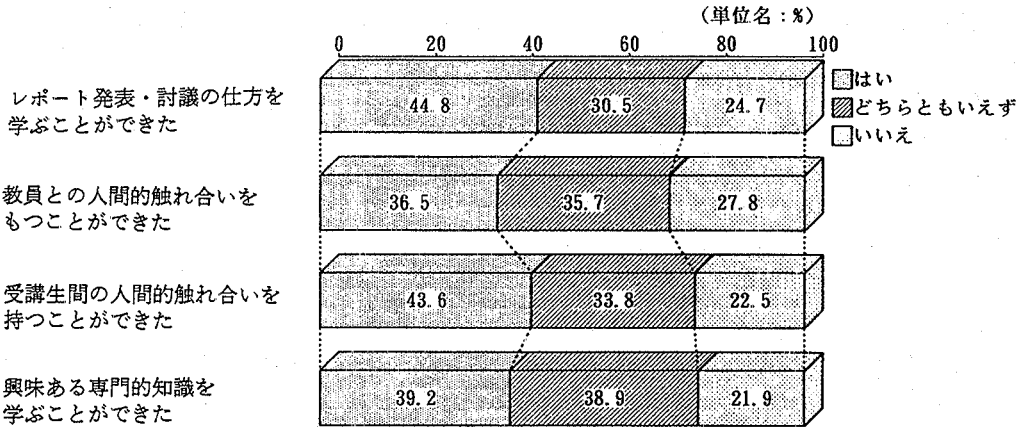


図22 教養ゼミナールの利点

「レポート発表・討議の仕方を学ぶことができた」では、44.8%までが「はい」と答えており、「どちらともいえない」30.5%、「いいえ」24.7%となっている。「はい」と回答した学生の割合は、この項目がもっとも多く、次いで「同じゼミナール受講生間の人間的触れ合いをもつことができた」43.6%、「興味ある専門的知識を学ぶことができた」39.2%、「教員との人間的触れ合いをもつことができた」36.5%となっている。いずれの項目においても「はい」と回答した学生が、「いいえ」と回答した学生を上回っている。これを学部別にみると、教育学部と法学部では教養ゼミナールの評価が高くなっている。例えば、有益だったと回答した学生の割合は、「ゼミナールでのレポート発表・討議の仕方を学ぶことができた」をみると、教育学部53.1%、法学部53.7%に達するのに対して、経済学部42.0%、農学部23.1%、また「教員との人間的触れ合いをもつことができた」は、教育学部42.9%、法学部42.0%なのに対して、経済学部30.0%、農学部24.2%となっている。制度の上で教養ゼミナールを重視している学部ほど、学生の満足度が高くなっている。

以下は、教養ゼミナールの改善点についての意見や考え、あるいは要望等を自由記述の形でたずねたものである。希望するゼミが受講できなかったという不満や、授業のやり方について工夫を望む声も少なからずあったが、それと同時に、もっと受講したい、単位数を増やしてほしいという積極的な要望も少なからずあったことを付け加えておきたい。

- ◎希望が通りにくい(法・1・男)
- ◎教授は学生の考えをあたたく見守り、発展させていくことのできる力量をさらにつけてほしい(教・4・男)
- ◎討議が盛り上がらなくて、自分の言いたいことを思いきり言えなかった。もっと討議したかった(法・1・女)
- ◎上田先生のゼミ(ディベートを学ぶ)はとってもよかった。やる気が起きるものだった(法・1・女)
- ◎もっと増やしてほしい。討論方法の授業は高校の時やらなかったので今回受けてみて失敗したという点が自分なりにあり、最後の授業の時の反省でみんないいことを言っていたのでそれを生かせる場がもっと欲しい(農・1・男)
- ◎教官によって討議形式をとらない場合があるけれど、それはやめたほうがいいのかゼミの主旨がわかっていない(法・1・男)
- ◎もっとたくさん受講したい(経・1・男)
- ◎シラバスにもっと詳細な説明をすべき(経・2・男)
- ◎このままでよい(経・1・男)
- ◎友達がいっぱいできて良かった。先生とも仲良くなった(教・1・女)
- ◎自分の希望したのとれず、嫌々いくはめになった。でも、必修だからとらねば、という感じでとった(教・1・女)
- ◎時間的にもっとじっくりしたい(教・1・女)
- ◎自分は第一希望の所に入ったのではなく、第六か第七希望の所だったけど、楽しく受講することができた。どこに入っても楽しく受講できたらそれで学生は満足すると思う。(教・1・男)
- ◎ゼミの科目を増やすべき(教・1・女)
- ◎合宿が一つしかないのもっと増やしてほしい(教・1・女)
- ◎好きなものをとれないことが多い(教・1・女)
- ◎希望通りにいかず、興味がほとんどないゼミに登録されることが多い(経・1・女)
- ◎もう少し一人一人の意見の発言を先生が助けてほしい(法・1・女)
- ◎夏休みの中四国合同合宿に参加しましたが、あれは大変良かったです。あんな形式のものをもっと増やしていただければ、と感じます(法・1・女)
- ◎一つのゼミの人数をもう少し少なくして、ゼミの数を増やしてほしい。抽選のため、自分が受けたと思うものが受けられない。抽選のため、ゼミ自体に出られない(農・1・女)
- ◎問題点をもっと絞り、それについて深く討論すればいいと思う(農・1・男)
- ◎もっとふやしてほしい(経・1・男)
- ◎テーマによっては通年というのもあってほしい。専門的に入っていこうにも時間的に問題がある(教・1・男)
- ◎発表を多くする(法・1・男)
- ◎できるだけ希望通りにしてほしい(教・1・男)
- ◎選択する前に、もっと詳しい授業内容を知りたかった(法・1・女)
- ◎もう少しグループ学習という形をとってでもいいから、学生による授業にしていってほしいと思う(教・1・男)
- ◎討論と書いてあったが、全くなかった(農・1・女)
- ◎もっと幅広く(農・1・男)
- ◎きついディベートはシラバスに傍聴記のことをちゃんと書いておこう(法・1・男)
- ◎もっと単位数を増やしてほしい(苦勞したわりに2単位しか出ないのはつらい)(経・1・男)
- ◎第1～第5志望すべておとされてしまった(教・2・女)
- ◎あまりレポートや宿題等を重視せず、出席態度等の方に重点をおいてほしい(選択なのだから)(経・2・男)
- ◎私は教養ゼミナールが取れなかった。もっと人数の枠を増やしてほしい(法・1・男)
- ◎少人数制というのは良いことだが、失敗すると授業が台無しになってしまう。人数が少なすぎる(法・1・男)
- ◎先生が一方向的に話した(法・1・男)
- ◎工夫してほしい(法・1・男)
- ◎教授の積極的な働きかけが欲しい(経・1・男)
- ◎よく分からない(経・3・男)
- ◎受講できる数を増やしてほしい。ゼミナール旅行などがしたい(経・2・男)
- ◎抽選はやめよう(法・2・男)
- ◎発表しにくい雰囲気があった(農・1・男)
- ◎教官が一人で話し続けるのはやめてほしかった(法・1・男)
- ◎先生によって差がありすぎる。ゼミの形式をとっていない人もいようだ(教・2・女)

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

61

- ◎もっと数を増やして多く受講できるようにしてほしい(農・1・男)
- ◎もう少し討議が活発になればよかったと思う(法・1・男)
- ◎もっと農学部ゼミを長い期間受講したい。半期は短かすぎたのでは。農学のゼミがとてもよかった(教・1・女)
- ◎素晴らしかった(農・1・男)
- ◎抽選になっていて、必ずしも自分の受けたゼミナールが受けられなかったのが嫌だった(教・1・女)
- ◎教師がわがまますぎる(農・1・男)
- ◎自分のやりたいものができればよい(教・1・男)
- ◎簡単な実験がしたい(農・1・女)
- ◎学生同士や教員とのコミュニケーションはもっとあるべき(農・1・女)
- ◎テーマが難しいものと簡単なものの差がある。高校である程度学んでいないとできないテーマもあり、高校の時に選択していなかったりしていると全く分からない(教・1・女)
- ◎歴史的分野を増やしてほしい(教・1・女)
- ◎本当に自分の受講したいものに当たりたい(教・1・女)
- ◎討論形式の授業は慣れていないのでやり方がよく分からない(法・1・男)
- ◎希望通りのゼミを受けられるようにしてほしい(教・1・男)
- ◎もっともっとおもしろくしてほしい(教・1・男)
- ◎教師の独断な考えをおしつけないでほしい(教・1・女)
- ◎より多くの人が自分の希望にあったものを受講できるようにしてほしい(法・1・女)
- ◎難しすぎて全く理解できなかったのもそれは改善してほしい(教・1・女)
- ◎自分の希望通りにいかなかったのも、あまり関心がなかった(教・1・女)
- ◎雰囲気暗い。先生にももっとダンディーになってほしい(経・2・男)
- ◎私のとった教ゼミは将来、現在ともに役立つことで、関心度も高くとても良かったです(教・1・女)
- ◎もっと授業数を増やすべきである(法・1・男)
- ◎今のままでよいと思う(教・2・男)
- ◎もっと時代にというか学生の興味にあわせた題材を扱ってほしい(教・1・女)
- ◎抽選になってはじめても他の科目がとれるようにもっと科目数を増やしてほしい(農・1・女)
- ◎自分が受けた授業が受けられない(教・1・女)
- ◎前期にもやってほしい(経・1・男)
- ◎もう少し少人数制にした方がいい(教・1・男)
- ◎なるべく受講したい授業が受けれるようにする(教・2・男)
- ◎少しむずかしすぎた(経・1・男)
- ◎単位をもっとくれ(経・1・男)
- ◎もっとテーマをふやしてほしい(教・1・女)
- ◎どこかへ行って感じたことの話などをしたかった(農・1・男)
- ◎教養ゼミはみんな取ったほうが良いと思う(経・1・男)
- ◎テストなし(経・1・男)
- ◎もっといろんな研究室の人とやりたかった(私のゼミは数研ばかりでした)(教・2・女)
- ◎抽選にもれたため、全く興味のない授業があつたのもっと考えてほしい(教・2・女)
- ◎自分の入りたいゼミに入りにくい(教・2・女)
- ◎人数調整で全く興味のないところに決まるのは、仕方のないことなのでしょうか？(教・2・女)
- ◎もっと身近なテーマをあげてほしい(教・2・女)
- ◎私のとった教養ゼミナールはほとんど教授の一方的な講義だったように思うのですべてのゼミがゼミらしくなっ
てほしい(教・2・女)
- ◎発表ばかり取り入れず、学生とおしの会話を重視してほしい(教・2・女)
- ◎なぜ二単位までしか、卒業単位として認められないのか？(経・2・女)
- ◎抽選でおちまくり、全くおもしろくないところへ行かされて嫌だった(教・2・女)
- ◎もっと盛り上がるかと思ったが、意外と淡々としてあまりおもしろくなかった(経・2・女)
- ◎授業に関する話し合いなどのために使われる時間が多すぎる(教・1・女)
- ◎もっと少人数にしたほうがよいと思う。また、自分たちで講義したいことを決めたい(教・1・女)

- ◎もっと活発に楽しく熱中できるようなテーマを与えてほしい。また、ゼミははじめてなので進め方がよく分からなかった。進め方についての指導も必要だと思う(教・1・女)
- ◎興味の少ないのが多すぎる。テーマがよくない。テーマ選択が抽選で希望通りにいかない(教・1・女)
- ◎教員は忘れずにきてほしい(農・1・女)
- ◎希望の全部がはずれたのでそういうことのないようにしてほしい(教・1・女)
- ◎抽選もれでやりたいことができなかった(教・1・女)
- ◎もう少し明るい感じがいい(教・1・女)
- ◎ひますぎる。もっとおもしろくするか、短くしてほしい(経・1・男)
- ◎ゼミナールでも受講証を出すだけで受けられるのをやめ、ゼミナールを受けられる程度の知識のある人だけで受けられるように、ゼミナールを始める前に少しでも選択するべきだと思います(経・1・男)
- ◎時間数が少ないので少しのテーマしかできなかった(教・1・女)
- ◎抽選ではなく、興味のあるクラスに入りたい。人気で人数が多い時はクラスを2～3に増やしてほしい(教・1・女)
- ◎私が受講したものには改善点がない(教・1・女)
- ◎発表など全くなく、講義のみだったのでつまらなかった(農・1・女)
- ◎二単位(一つ)だけでなく、もっと取れるようにしてほしい。教養ゼミの内容はおもしろそうだから(教・1・女)
- ◎なるべく希望通りの所に入れるようにしてほしい(教・1・女)
- ◎もっと討論があればいいと思う。ほとんど本読みでおわったので(教・1・女)
- ◎抽選で興味の無い授業にまわされるのは嫌だった(教・1・女)
- ◎みんなと発表したりするのがよかった(教・1・男)
- ◎少し受講者が少なかった。もっと配慮してほしい(教・1・女)
- ◎年間に一つだけではなく、いくつもみるようにした方がいい。多かったら共通科目みたいに抽選したらいいだけだから(農・1・男)
- ◎レポートの書き方についてもう少し詳しく分かりやすく学びたかった(教・1)
- ◎抽選ではずれると関心のない授業に出なければならなくて、あまりおもしろく授業を受けられないので少し工夫してほしい(教・1・女)
- ◎人数が多すぎる(教・1・女)
- ◎抽選で選ぶのではなく、希望したゼミは必ず取れるようにしてもらいたい(教・1・男)

9 共通科目について

共通科目の評価は比較的高い。特に農学部と教育学部で評価が高くなっている
高等学校で学習したことの繰り返しではなく、独自の存在感があると評価
自由記述では時間割上の不満が多く見られる

従来的一般教育の時代には中心の座にあった、ディシプリンに沿った科目が共通科目である。この共通科目に対して、学生たちはどのような意見をもっているのだろうか。「主題科目とは異なり、基礎的な考え方や概念を体系的に学ぶことができる授業が多いと思う」という意見に対しては、37.6%が「はい」と回答している。「いいえ」は10.9%であった。高校教育とのアーティキュレーションでいえば、「高校で十分に学ぶことができなかった分野・領域の学力を補う上で意義がある授業が多いと思う」では、42.7%までが「はい」と回答し、また「内容が高校ですすでに学んだことばかりなので、新鮮味に乏しい授業が多いと思う」では、わずか7.4%が「はい」と回答したのみであった(図23参照のこと)。主題科目は、その存在理由に照らし合わせてみると

き、充分とはいえないまでも、まあまあの成果を取めているのではないだろうか。

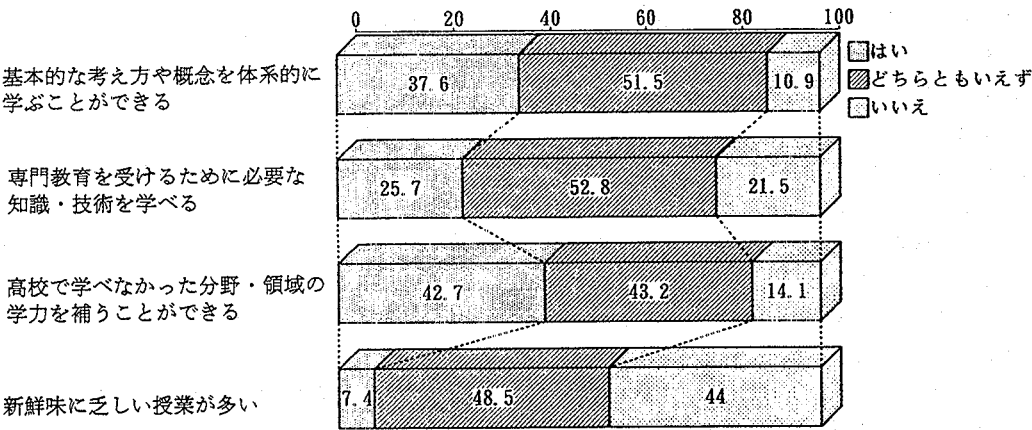


図23 共通科目への評価

これを学部別にみると、農学部と教育学部の評価と、経済学部・法学部の評価が異なっている。「主題科目とは異なり、基礎的な考え方や概念を体系的に学ぶことができる授業が多いと思う」についてみると、「はい」と回答した割合は、教育学部46.4%、法学部33.0%、経済学部31.8%、農学部43.1%であった。また、「専門教育を受けるために必要な知識・技術を体系的に学ぶことができる授業が多いと思う」については、教育学部30.9%、法学部19.0%、経済学部17.8%であるのに対して農学部では43.6%であった。残りの二つの項目では、学部による差異はほとんど見いだすことができなかった。共通科目の位置づけが、各学部で異なっていることがこのような結果をもたらしているのであろう。

以下は、共通科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望を自由記述のかたちでたずねた結果である。開講されている授業科目数が少ない、時間割の工夫がほしいなどの意見が多かったように思われる。学生のニーズの多様性に関連して、学生の意見や要望も多様なものが見られる。

- ◎もっと増やしてほしい（経・1・男）
- ◎抽選で落とさないで欲しい。勉強したかったのに（法・1・女）
- ◎ちょっと教官、好きかってしすぎとるのがう？（法・2・男）
- ◎高校で学んだものとそうでないものをはっきりと分けてほしい（農・1・男）
- ◎化学K2をとりたかったが専門とだぶってしまう（農・1・女）
- ◎先生はわかっているつもりで話しているのだろうけど、こっちは専門的なことを知らないから困る（法・1・女）
- ◎人数制限によって自分が学びたいことができない（法・1・女）
- ◎専門と重なる（経・1・男）
- ◎要点が分かりにくく、ムダな発言が多い（経・1・男）
- ◎明確な授業（法・1・女）
- ◎先生の趣味の押しつけの度合いが非常に濃い（経・1・男）
- ◎このままでよい（法・1・男）
- ◎高度な学問を要求されるので、一般教養ではないのでは？（経・1・男）
- ◎授業科目の種類が他の大学に比べて少ないのではないか。芸術面が特に少なく思う（経・1・男）
- ◎専門的すぎてよく分からない授業がある。単位がとりにくい（法・1・女）

- ◎内容が詳しくすぎてちょっと分かりにくい授業があった(経・1・女)
- ◎学部や専攻科目によって取れない授業があるのはおかしいと思う(教・1・女)
- ◎主題科目と共通科目とが同じ教員である場合、授業内容が似ていて新鮮さが足りない。また、共通科目は取れる曜日が主題と重なることが多いので改善してほしい(法・1・女)
- ◎科目によって難度に差がありすぎる(経・1・男)
- ◎本当に受講したいことが調整などで取れなかったり、人数が多すぎて実がなく終わる授業が多い(教・1・男)
- ◎教科書や参考書をせっかく買ったのに、一回くらいしか使用しなかったのは、もったいないと思ったので、これからは少なくとも利用できるようなしてもらいたい(経・1・女)
- ◎文系の子でも理数系の授業が学べるような配慮をしてほしい(教・1・女)
- ◎よかった(経・1・男)
- ◎もっと専門的な事にも触れてほしかった。これから専門で学ぶことの導入部となってほしかった(教・1・男)
- ◎経済学Eは高度で難しい(法・1・男)
- ◎歴史学Aの授業は高校で習ったことを、さらに詳しくだらだらだったので授業で何を言いたいのか分からず、気が遠くなったので、途中で授業を変更したくなった(法・1・女)
- ◎まだよく分からない(経・1・女)
- ◎文系でも分かる自然科学を希望(経・1・男)
- ◎もっと詳しい解説をしてほしい(経・1・女)
- ◎現在の科目のさらなる発展を求む(経・1・男)
- ◎共通科目の開講されている曜日が全体的に重なりすぎていて、取りたい講義が少なくなる(教・1・女)
- ◎難しすぎる(経・1・男)
- ◎夏期集中の種類が乏しい(経・1・男)
- ◎なるべく抽選は避けるようにしてほしい(法・1・男)
- ◎もう少し文系と理系が同じに学べる科目を増やしたほうがよいと思う(法・1・男)
- ◎やりたい授業も抽選で落とされることがかなり多く、受講できないのが困る。人によっては5、6個共通を取っている人もいるのに…(教・1・女)
- ◎種類を増やしてほしい(経・1・男)
- ◎同じ時間帯に取りたい授業が重なっていたり、また全く興味のない科目ばかりあったりするので不便(経・1・男)
- ◎もっと科目を増やしてほしい(法・1・女)
- ◎主題科目をやめて、共通ばかりにしてほしい(教・1・男)
- ◎単位の出し方を統一して、人数のかたよりをなくしてほしい(経・1・男)
- ◎いろいろ不満はありますが、平成6年以後の入学者たちのカリキュラムを見る限り、特にありません。ああ、3年生以下がうらやましい…(法・4・男)
- ◎専門的すぎるものもある(経・1・男)
- ◎基礎知識のない者に、いきなり専門的な話が多すぎると思う(経・2・男)
- ◎数学などは少し高度すぎた(経・2・男)
- ◎受講調整で受けられないことがあるので、自分の思い通りに受講できない点が不満です(法・2・女)
- ◎単位が欲しい(経・2・男)
- ◎もう少し少人数制にして、生徒と教師の対話の持てる授業だけにしてほしい(教・3・女)
- ◎分野をもっと広げたらどうか(経・2・男)
- ◎もっと授業数を増やしてほしい(経・3・男)
- ◎受講者数の調整(法・1・男)
- ◎学部による制限を無くしてほしい(法・1・男)
- ◎授業の数を増やしてほしい(経・4・男)
- ◎人数が多いせいか、自分自身にそれほど受講しているという実感がなく、受け身になりがちだった(経・1・男)
- ◎科目数をもっと増やすべきだ(農・3・男)
- ◎教育学部小学校課程の卒業単位を越えて、6単位取得せよとは納得いかないし、理解しがたい(教養教育講義より)(教・2・男)
- ◎世界史に関係する授業を増やしてほしい(日本史にかたよりすぎ)(法・2・男)
- ◎もうちょっと基礎的なことを教えてほしい。資料が欲しい(法・1・女)

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

65

- ◎法学部は法学が、経済学部は経済が受講できないので、あまり専門教育を受けるための知識、技術を学ぶことができないと思う（法・１・女）
- ◎選択できる科目、分野領域の拡大（法・１・男）
- ◎主題も共通も何ら関わりがない（教・１・女）
- ◎法学部が共通科目を取るときに、選択科目の中から取らないといけないというのはおかしいと思う（法・１・男）
- ◎抽選によって、「シラバス」等を見て本当に学びたいのにその授業が取れなかったりする（法・１・女）
- ◎高校でやらない人のための対策を本当に考えた授業とは考えにくい（農・１・男）
- ◎単位が取りづらかったのもうちょっと考えてほしい（経・１・男）
- ◎もう少し、取りやすくしてほしい（経・１・男）
- ◎このままでもいいと思う（法・１・男）
- ◎現代哲学史（ヴィトゲンシュタイン、カント、ハイデガー）を扱ったものがあってほしい（経・１・男）
- ◎もう少し様々な内容でやったらどうか（経・１・男）
- ◎主題科目と専門科目の中間的な科目としてとてもいいと思う（教・１・女）
- ◎ある程度教授と接触があればよりよくなったので、接触困難なものに対しては、積極的になれるような雰囲気にしていただきたい（法・１・男）
- ◎同じ時間にある他の授業の説明も聞いてから受講を決定できるようにしてほしい（経・１・男）
- ◎今のままでもいいと思う。専門授業をする前にその基礎をしっかりとさせるのに必要だし、専門外のことでも高校の時興味はあったけど、受験のために捨てるを得なかったことを学ぶのにもいいと思う（農・１・男）
- ◎科目数を増やしてほしい（農・３・男）
- ◎共通科目はいらない。実用性がないから。人の命は有限だからあまりにも役に立たないものをやる必要性が感じられない。その間にもっと有効に時間を使いたい（経・２・男）
- ◎出席を取ってほしい。授業に出ていても一発試験型で、落ちればむなしい。また、法学部が取れる選択科目が少ないので必ず抽選になる（法・３・男）
- ◎他の授業と重なっていて本当に取りたい授業が取れない場合があるので、時間割りをもう少し考えてほしい（法・１・女）
- ◎授業が組みにくい（農・１・男）
- ◎まだ一つしか取っていないので分からない（教・１・女）
- ◎受講人数をもっと増やしてほしい（経・２・男）
- ◎共通はとても充実した授業が受けられたと思います（教・１・女）
- ◎共通科目は他の一般教養に比べて厳しい授業が多いのはなぜ（法・１・女）
- ◎もっと増やすべきだ（法・１・男）
- ◎話をしたりする学生に対して、教養の先生方はあまりにも寛容すぎると思う。もっと厳しくしないとけないし、何かやる気がなさそうだ（法・３・男）
- ◎主題科目と重なって自由に選びにくい（経・１・男）
- ◎どうもバラバラでまとまりに欠けている（法・１・女）
- ◎週二回にしてほしい（経・３・男）
- ◎非常によいと思う（法・１・男）
- ◎各学部ごとの推薦する科目を提示してほしい（法・１・男）
- ◎自分の意見、反論ばかりする教授が多い（経・２・男）
- ◎難しく専門すぎるものがある（法・１・男）
- ◎取りたい授業は人が多すぎて抽選になるので、工夫してほしい（農・１・女）
- ◎日本の歴史の授業を増やしてほしい（農・１・男）
- ◎本当にやりたい授業が取れなかったら、とても嫌や！（農・１・男）
- ◎コンピューター実習（情報科学）をもっと増やしてほしい。定員も授業数も（農・１・男）
- ◎抽選が嫌だ（農・１・男）
- ◎抽選が多い。人数が多いなら部屋と先生を増やしてみても？（農・１・男）
- ◎理科の実験の定員を増やしてほしい（農・１・女）
- ◎化学K１、K２と取りたかったのに、農学の専門と重なるため、K２の方が取れない。高校で化学を取っていないので不安だ（農・１・女）

- ◎単位がどうこうの問題でなく、興味を持ったので、ぜひたくさん受けてみたい（農・１・女）
- ◎高校の授業と重なることが多い（経・１・男）
- ◎科目数が減りすぎだ（経・３・男）
- ◎主題科目と時間が重なりすぎる（経・１・男）
- ◎つまらない授業が多い（経・２・男）
- ◎テキスト代が高い（経・１・男）
- ◎科目数を増やしてほしい（経・４・男）
- ◎抽選はやめてほしい（法・４・男）
- ◎おもしろくない（法・１・男）
- ◎１、２年のみならず、広く３、４年でも受講できる雰囲気（経・３・男）
- ◎主題と時間が重なって取りにくい（農・１・男）
- ◎早い授業が多い。もう少しゆっくりのペースで丁寧に教えてほしい（法・１・男）
- ◎専門的である（法・１・男）
- ◎もっと基礎からやってほしい（経・２・男）
- ◎あまり高い本は使わないで欲しい（経・１・男）
- ◎３年ぐらい前と比べて異常に科目数が減った。これでは興味の持てるものを選択しようとしても無理が生じる。まして単位習得上の決まりもあるし。最低（経・４・男）
- ◎共通科目は充実していると思う（教・２・女）
- ◎内容が高度すぎるくらいがある。だからもう少し平易に・・・（経・２・女）
- ◎もっと共通科目を増やし、４年制大学としての幅広い人材を育成することが望ましいと思う（教・４・男）
- ◎決まった曜日ではなく、一週間のいつでも取れたらよい。農学部でもやってほしい（農・４・男）
- ◎出席重視（法・４・男）
- ◎少し専門的すぎて理解が困難である（教・３・男）
- ◎抽選はやめたほうがよい（経・１・女）
- ◎抽選はできるだけ避けてほしい（経・１・女）
- ◎もっと増やしてほしいです（教・４・男）
- ◎概論が多すぎるのでもう少しふみこんでほしい（法・１・男）
- ◎午後からの授業が少ないので取るのが難しい（法・１・男）
- ◎もっと違う分野もやりたい（経・３・男）
- ◎もっと実用性のあるものを学びたい（法・１・男）
- ◎授業内容を容易にしてほしい（法・１・男）
- ◎主題科目と重なるものが多くて取りたいものが取れないので困る（法・２・男）
- ◎もっと科目を広げる（農・４・男）
- ◎高校でやったことの繰り返しでは大学にきた意味がない（法・１・男）
- ◎先生の自慢話はやめてほしい（経・３・男）
- ◎抽選はなしにしてほしい（法・１・男）
- ◎少し難しい（農・１・男）
- ◎指定科目はやめてほしい（法・２・男）
- ◎主題の時間帯と重なって取れないものが多いのでなんとかしてほしい（経・１・女）
- ◎もっとグローバルな視野で（農・１・男）
- ◎少し難しすぎる分野のものがある（経・１・男）
- ◎主題科目との時間割り上の重なりが多いため、受講しにくいところを改善してほしい（経・１・男）
- ◎生物や化学の（農学に関係のある科目）を充実させてほしい（農・１・男）
- ◎内容が貧困（経・３・男）
- ◎農学部の人を考慮に入れてほしい（農・１・女）
- ◎授業内容をもっと変わったものにしてほしい。高校の授業と変わりが無い（教・１・女）
- ◎農学部のある日に取りたい授業が重なるため、受講が不可能（農・１・女）
- ◎高校でやっていないものを取ったにもかかわらず、内容が難しいものがあった（教・１・男）
- ◎詳しい資料を配布して授業をしてほしい。教科書を買わせておいて適当に終わる先生がいる。これはやめてほしい。お

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

67

- 金のムダになるし、何のために買わせるのかよく分からなくなる（経・1・男）
- ◎先生の専門分野ばかりを教えず、幅広く教えてほしい（教・1・男）
- ◎高校では習わなかったような話を聞かせてほしい。同じ話では受講していてもおもしろみがない（経・1・女）
- ◎主題よりも、教授が熱心であり、内容・授業共におもしろかった（教・1・女）
- ◎少ない（経・1・男）
- ◎高校で授業を受けていない人、対象のものが難しすぎる。授業日をもう少しばらばらにしてほしい（農・1・男）
- ◎人数制限をされると受けたい授業が受けられない（経・1・女）
- ◎内容は高校レベルでも教授が教えるので理解しにくい。社会学系も取りやすくしてほしい。（不明）
- ◎つまらない授業だった。ex.無駄話ばかりだった。「法学F」（経・1・男）
- ◎人文系の科目を増やしてほしい（経・1・女）
- ◎もう少し主題と時間をずらして履修しやすくしてほしい（農・1・男）
- ◎受講希望者が多いと調整のためおとされることがあるので、本当に取りたいと思っていても取れないことがある（教・1・女）
- ◎授業がたくさんとんでしまっただけ残念だった（教・1・女）
- ◎教師の声が小さい（心理学A）（経・1・男）
- ◎少なすぎるので、取った科目があり、ダブることがある。また、抽選などで落ちてしまうと取れないときがある。今の3年が卒業するまでもう少し増やしてほしい（経・3・男）
- ◎抽選はできるだけやめてほしい（経・1・男）
- ◎歴史学で世界史の分野を学びたい（法・1・男）
- ◎人数の調整の仕方、抽選だと本当に学びたい人が落ちて、楽だから来たという人が受かる可能性が大いにある（教・1・女）
- ◎芸術系の科目がない（経・2・男）
- ◎専門と重なり、取りたくないものを取らなければならないことが多い。開講授業が少なすぎる（教・3・男）
- ◎授業数が少ないので選択の幅が狭い。受講できなかったときでも他の授業を取りたくないときは困る（教・1・女）
- ◎主題、教養ゼミナールなどの授業が増えたかわりに、共通科目が減ったのは納得いかない。上級学年まで教養を残しているのが悪いのだが、それに対する配慮が全く感じられない（経・5・男）
- ◎まだ分からない（教・1・女）
- ◎もっと自分の好きなものを取りたい。抽選なんかは嫌。外国語も共通科目にするべき（教・2・男）
- ◎文系の講義は基本的であり役に立たない。反面、理系の場合は講義内容が高度なのに問題を考える時間すらも与えられず、その授業内容を把握するには個人で本一冊勉強しなければならない点。数学などは高校の時、理系の数学を学んだものでなければ講義だけでは一つの問題も解けないような授業をしている（農・2・男）
- ◎もっと種類を増やしてもよいのではないかと（教・2・男）
- ◎共通科目を卒業単位に入れなくてもよいと思う。または卒業単位に入れるとしても減らすべきだと思う（経・3・男）
- ◎単位の出にくい授業がある（法・1・男）
- ◎抽選をやめてほしい（経・1・男）
- ◎人が多い（法・2・男）
- ◎ちょっと専門的すぎる（経・3・男）
- ◎法学部の学生は共通科目について制限がありすぎるような気がする（法・1・女）
- ◎単位が取りにくいと思う。それは内容が専門すぎる場所にあるのではないかと（法・1・女）
- ◎もう少し共通科目を増やすべきだ（経・1・男）
- ◎4年生にとっては選択の範囲が狭すぎた（教・4・男）
- ◎これも教授の趣味にはしりすぎていて、私たちには興味が薄かった（経・1・女）
- ◎やりたい科目をとっても、単位につながらないものがある。せっかく学んだのだから、単位に入れてほしい（限りなく）（法・1・女）
- ◎もっと数を増やして、少人数でやってほしい（経・1・男）
- ◎生物学Kはきちんと生物の講義を、化学K2は農学部生が三木町キャンパスにいかない日にしてほしい（農・1・男）
- ◎もう少し幅広い分野に及んでほしい（法・1・男）
- ◎農学では前期だけしか取れず、中途半端に終わる科目がある。例えば、化学Kや生物学など（農・1・男）
- ◎心理学は難しい（経・1・男）

- ◎受講したくても、他の講義と重なったり、抽選もれをしたりして取れないものが多いので、それをなんとかしてほしい
(教・1・女)
- ◎共通科目も人気の高いところは抽選なので、困る(教・1・女)
- ◎1年後期で取れないものが、2年前期で取れるようにしてほしい(農・1・男)
- ◎高校でやるよりも短期間で習得しないといけないのがつらい(農・1・男)
- ◎今の現状でよい(経・1・男)
- ◎学部によって認められない単位があるが、何単位かは認めてほしい(経・3・男)
- ◎テストなし。専門になればなるほど、授業数の少なさと進度の速さのギャップが多いので、週2回、30講義とし、単位を4にしてほしい(経・2・男)
- ◎抽選のため、取りたい授業が取れず、全く関心のない授業を取るようになった。2年次以降で専門と重なることも多い
(教・2・女)
- ◎心理学をたくさん取ったのだが同じことばかりやっている気がした(教・2・女)
- ◎共通科目と主題科目の違いはあまり分からない(教・2・女)
- ◎心理学の授業はかなり楽しかったし、内容も難しくない程度で、かつ深いのでとてもよかった(経・2・女)
- ◎高校時に習っていないと受けられないものがあるので選択しづらい(教・2・女)
- ◎専門的なことをたくさん言う人がいるが、場合によっては、何を言っているのかさっぱり分からないこともあるので、そういう人には分かりやすい授業をしていただきたい(教・2・女)
- ◎抽選などで自分が学びたい分野の授業が取れなかったり、自分の学びたい分野の授業が少ない(経・2・女)
- ◎もっと選択を広くできるよう今以上の分野の科目を望む(経・2・女)
- ◎取りたい授業で抽選があって取れなくなることがある。人数の多い授業は教室を広くしたりしてもっと受講者を多くするべきだ(教・2・女)
- ◎抽選が多すぎるので、取りたくても取れない。何とかしてほしい(教・2・女)
- ◎特にないが、専門性の高い授業はおもしろくなかったので、もっと内容を分かりやすくしてほしい(経・2・女)
- ◎教える気があるのか、理解させようとする気があるのか、もうちょっと考えろ!(法・1・男)
- ◎もう少し授業の種類を増やしてほしい(教・1・男)
- ◎受講したくてもできないことが多いのを直してほしい(農・4・男)
- ◎抽選が多すぎる(経・2・男)
- ◎高校で習った授業の延長のような学問と、あまりにかけ離れた学問に分かれていて極端(経・1・女)
- ◎出席を取らないで欲しい(経・1・男)
- ◎科目を増やしてほしい(経・3・男)
- ◎政治、経済関係、世界情勢関係の授業をもっと増やしてほしい(経・1・女)
- ◎取りたければ取る。取りたくなければ取らなくてもいい方式にしてほしい(教・3・男)
- ◎教室をはじめできるだけ大きくしておいて、少なかったら移動してほしい(経・1・男)
- ◎もっと演習を増やしてほしい(農・2・男)
- ◎授業時間をもっとばらばらにしてほしい(経・1・男)
- ◎もう少し科目を増やしてほしい(教・1・女)
- ◎なるべく主題と異なったものにしてほしい(教・1・女)
- ◎もっと種類を増やしてほしい(農・1・女)
- ◎もっと日常生活に関連づけて説明などをしてほしい。今のところ日常生活と全くきりはなされているので、その講義が終われば、それで終わりにになってしまうと思う(農・1・女)
- ◎たまに説明が難しすぎて何をやっているのか分からなくなるので、今日何をするのかの目的をはっきりさせてほしい
(教・1・女)
- ◎共通科目には何も求めている(法・1・女)
- ◎時間が主題と重なりすぎている(教・1・女)
- ◎受講したいのに受講調整のため、受講できないなどをなくしてほしい(経・1・男)
- ◎心理学なら心理学で、いくつかあるものを全部取ることが可能のようにカリキュラムを考えてほしい。教科書なども途中で終わってしまい、中途半端で終わってしまうのは嫌だ(法・1・女)
- ◎質問をしにくい(教・1・女)
- ◎内容的にみると、高校の時にやってない分野の学力はあまり増えない。もう少し学力がつくよう考えてほしい(農・1

・男)

- ◎もっとおもしろくしてほしい。かたすぎる(教・1・女)
- ◎高校で学ばなかったので、取った授業なのに高校で学ぶべきことは全くなくて困った。ちゃんと教えてほしかった(農・1・女)
- ◎学びたいことを選んでやっている上、自分の専門とは関係ないのだから単位を取りやすくしてほしい(経・1・男)
- ◎難しいものが多い(経・1・女)
- ◎好きな共通科目が取れないのがいけないと思う(経・1・男)
- ◎もっと興味深い内容の授業をしてほしい(教・1・女)
- ◎抽選をやめてほしい(法・1・男)
- ◎数学や化学などは、文系の人でもわかるような授業も用意してほしい(教・1・女)
- ◎人数が多すぎ(経・1・男)
- ◎抽選が多いので教室を広くしてほしい(経・1・男)
- ◎高校で習っていない人向けの授業だったのに、内容が少し難しくて高校で習っていない人にはあまり分からない(教・1・女)
- ◎人が多かっても抽選なんかせずにみんな受けさせてあげたいと思う。ちなみに落ちた(農・1・男)
- ◎主題と同じ時間にばかりしないで欲しい(教・1・女)
- ◎カリキュラムに改善を加えるべき(教・1・女)
- ◎もう少し単位を取りやすくして欲しい(農・1・男)
- ◎時間帯を多彩にしてほしい(経・1・男)
- ◎共通科目については興味深い授業ばかりでおもしろい(教・1・不明)
- ◎自分の興味のあるものが少ない。高校の時、文系だった人は自然科学目の選択がしにくい(教・1・女)
- ◎種類をもう少し増やしてほしい(農・1・男)
- ◎もう少し、開講時間数を増やしてほしい。なかなか都合がいいときに取りにくい(農・1・男)
- ◎主題科目と時間が重ならないようにしてほしい(農・1・男)
- ◎法学Fの講義内容がシラバスと全く違っていたのがとまどってしまった(内容はたまたま自分の興味のある分野でしたが。(法・1・男)
- ◎抽選はよくない(農・1・男)

10 外国語について

現状を反映して、二カ国語以上が望ましいとする学生は法・経済学部が多い
話す・聞くという会話主体の授業を望む学生が多い
先生によって単位取得の難易度が極端に異なることへの不満が強い

香川大学では、法学部、経済学部、教育学部(総合科学課程)が英語8単位、初修外国語4単位、農学部は英語8単位、教育学部(教員養成課程)は1つの外国語8単位となっている。まず、学生たちは大学で外国語を2カ国語以上とることが望ましいと思っているのだろうか。図24でこれを見ると、「2カ国語以上必要」と回答した学生が41.0%でもっとも多く、次いで「1カ国語でよい」32.9%、「外国語は必要でない」9.3%、「わからない」16.8%となっている。

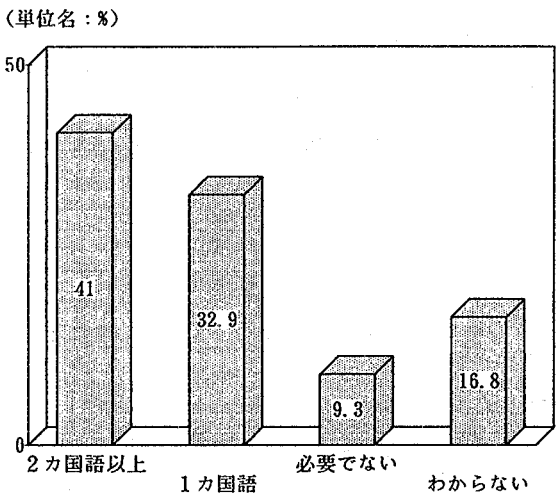


図24 大学での外国語教育

これを学部別にみると、「2カ国語以上必要」と回答した学生は、法学部45.5%、経済学部43.7%と、この両学部が多くなっている。この割合は、教育学部で35.8%、農学部で37.4%であった。おそらく、現状を反映した意識となっているのだろう。

それでは、外国語の授業において学生たちはどのような授業内容を望んでいるのだろうか。「読む」「話す」「書く」「聞く」「4技能の包括」の5つの選択肢から2つまで選択してもらった。その結果が図25である。ここでは選択した人数を合わせて表示することにした。まず、英語についてみると、820人までが「話す」を選択し、次いで「聞く」が566人、「4技能の包括」350人、「読む」190人と続いている。いわゆる「話す」「聞く」という会話を中心とした授業を、学生は求めている。

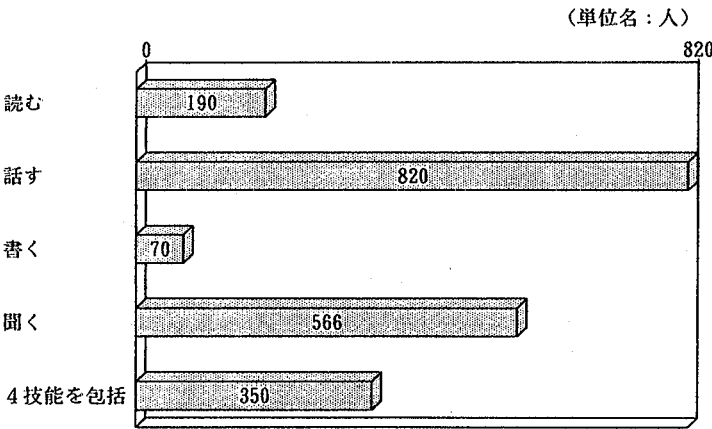


図25-A 既修外国語の授業内容について

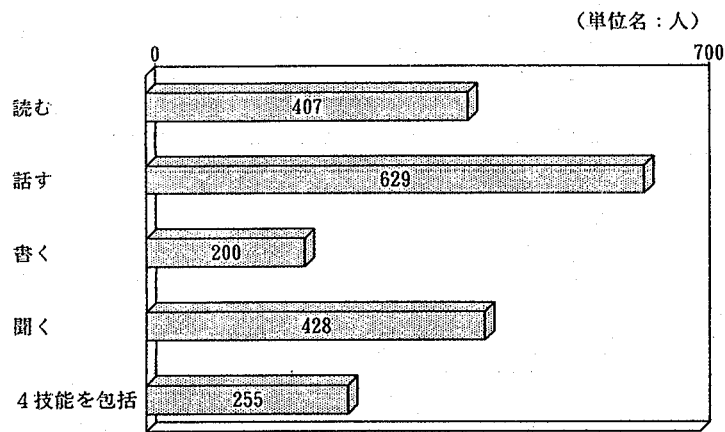


図25-B 初修外国語の内容について

初修外国語についても「話す」ことを求めている点で英語の授業と同様である。629人までがこの項目を選択している。次いで「聞く」が428人と続いているが、英語の場合と異なって「読む」も407人とかなり多くなっている。

外国語の単位数について、学生たちはどのように思っているのだろうか。まず、英語についてみると「適性」と答えた学生がもっとも多くて44.2%、「多い」が37.7%で、この二つの項目に選択が集中した（図26参照のこと）。初修外国語についていえば「適性」と答えた学生が51.0%と過半数を占めており、次いで「わからない」19.5%、「多い」18.1%と続いている（図27参照のこと）。英語の場合と比較すれば、初修外国語の単位数が多いと回答した学生はかなり少なくなっている。もともと、初修外国語の単位数が少なく設定されているという事情に負うところが大きいように思われる。

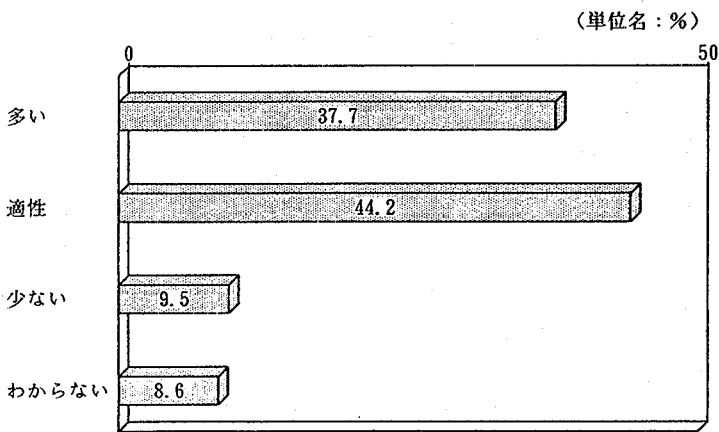


図26 既修外国語の単位数について

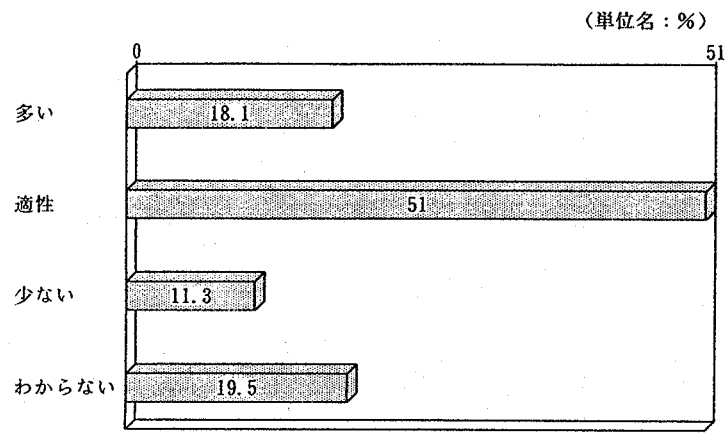


図27 初修外国語の単位数

以下は、外国語科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望についての自由記述をまとめたものである。外国語は単位の取得が容易でないということもあるであろうが、多くの不満と、かなり辛辣な回答が目立っている。例えば、単位認定という点では教官によって求める水準が大きく異なっていること、授業の内容に新鮮味が感じられないこと、学習したことが身についていないような印象を受けることなどである。なお、かなり重複した意見があったので、それらはまとめて表示した。

- ◎先生によって授業内容やテストの方法、単位の取りやすさに差がある（農・1・男）
-----（このような意見は、その他76名の学生によって指摘された）
- ◎先生による難易度の差が著しく、不公平が起きていると思う（経・1・男）
-----（このような意見は、その他50名の学生によって指摘された）
- ◎高校の授業と変わらない（経・1・男）
-----（このような意見は、その他10名の学生によって指摘された）
- ◎進むのが早すぎる（法・1・男）
- ◎ゼミと重なってZが取れない（経・4・男）
- ◎訳をノートを書かせても時間の無駄だと思う（経・1・男）
- ◎英語を必修にする必要はないと思う（経・1・男）
- ◎初めての試みだと言って、授業方針を変え、授業を行うのは止めてほしい。非常にやりにくい（法・1・男）
- ◎教科書が分かりづらい（教・1・女）
- ◎内容、板書、話術など、お粗末なものがあると、初修に関しては、すぐに分からなくなり、自力ではとてもつらくなるのでもう少し、改善してほしい（経・1・男）
- ◎テストを厳しくせず、会話を楽しみながら覚えられる授業のほうが良い（教・1・女）
- ◎農学部2年次の選択がないので、他学部同様、選択の自由ができる時間割にしてほしい（農・1・女）
- ◎他の教養教育に比べて厳しすぎる（経・1・女）
- ◎受け身の授業が多いので、もっと話したり、聞いたり実際に外国の方に会って話したりしたらもっと楽しく、分かりやすく学べると思う（教・1・女） -----その他3名
- ◎単位厳しすぎじゃ（教・1・女）
- ◎気分次第で試験方法を変更するのは止めてほしい（教・1・男）
- ◎英語が苦手なものにとって、8単位を取るのはつらい。強制的なやり方はやめてほしい（経・1・女） -----その他3名
- ◎週3回のうちに1度くらいは英会話を入れても良いと思う（農・1・男）

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

73

- ◎外国の学校ともっと交流する（経・1・男）
- ◎基本に時間をかけ過ぎて使えないままに終わりそうな感じ（教・1・男）
- ◎勉強する外国語を一つにしてほしい（経・1・男）
- ◎初修外国語をもっと役に立つようなものにしてほしい（農・1・男）
- ◎ドイツ語が難しすぎてよく分からない（経・1・男）
- ◎「私の授業は取らないほうが良い。エネルギーの無駄だ」と行っていきなり言われたが、ここで取らないと、後が詰まっているのにこんなことを言われ、腹が立った。向こうは親切のつもりだろうが言い方がきつい。私は厳しい先生にばかり当たった。授業（先生）が怖くて、英語がおもしろくなくなってきた。やる気がなくなる（教・1・女）
- ◎クラスを指定するのはいけないと思う（経・1・男）
- ◎教員養成コースで初修外国語をとろうとしたら、「ややこしくなる」と言われた。でも、取りたかった（教・1・女）
- ◎2年で英語の履修は終わるが、それだけで本当の英語力がつくのだろうか（経・1・男）
- ◎人気の有る先生の授業は前日から席を取っておかなければならないと聞いて驚いた（教・1・女）
- ◎初修外国語は将来あまり役に立ちそうにない（経・1・女）
- ◎抽選に通らん（経・3・男）
- ◎抽選で第3希望のロシア語にまわされ、本当に苦痛だった（経・3・男）
- ◎きびしくしたって楽しく学習できるはずがあろうか。いやない（教・3・男）
- ◎中国語は難しすぎた（経・1・男）
- ◎厳しい先生の場合、英語にかなり時間を費やさねばならず、他のことができない。専門にもっと力を入れたい。英語を学びにだけ、大学に入ったのではない（教・1・女）
- ◎はっきり言って身につけていない（経・3・男）
- ◎2時間受けて、4単位にすべきだ（経・1・男）
- ◎初修外国語の4単位取って、初めて単位をもらえるのではなく、2単位ごとほしい（農・1・女）……その他2名
- ◎先生によって講義内容が違っていて、学びたい講義をしてくれる先生を自分で選べないのがいや（経・1・女）
- ◎前・後期で講師が変わるため、教科書の内容がすべて終わらない（経・1・男）
- ◎2年の英語で教官の人気の差はいかなものかと思う（経・1・男）
- ◎出席重視にしてほしい（農・1・男）
- ◎文法はしなくていい。話せなければ意志疎通ができないと思う（農・1・男）……その他3名
- ◎外国語は先生によってはただ先生の専門の文学を読まされているだけで、実際に英語を話したりできるようにならないような気がする（経・1・男）
- ◎英語さえもきちんとできないのに、初修外国語も同時に習うのは難しい（教・1・女）
- ◎授業がつまらない（教・1・女）
- ◎1年するだけならないほうがいい（経・1・男）
- ◎もっと使える外国語を学びたい（農・1・女）
- ◎それぞれの外国語の理解を目指すなら、出席重視の基本姿勢は毛頭おかしい。規定を設けて、それぞれの教官の勝手な行動をさせるな（法・2・男）
- ◎私は独語又は仏語しかできずに困ってしまった（教・2・女）
- ◎初修外国語は進むペースが早く、分かりにくい（教・2・女）
- ◎選択する場合の自由度が低いと思う（法・その他・男）
- ◎英語は通年にして一貫した講義をしてほしい。ヒアリングなども早口のものではなく、普通の人でも考えながら聞くことのできるものにしてほしい（農・2・男）
- ◎レベルが違うので、そのレベルに応じたシステムにしてほしい（教・2・男）
- ◎すべての外国語科目をヒアリングにしたら良いと思う（経・3・男）
- ◎1カ国語にしたらいいと思う（経・1・男）
- ◎学習意欲がなくなる（経・1・男）
- ◎英語が苦手な人にはきつい単位の取り方。上に上がりにくい（経・1・男）
- ◎英語はそんなに多くなくて良い（法・1・男）
- ◎話すことに重点を置いてほしい（法・1・男）……その他6名
- ◎検定などを重視したクラスを作ってほしい（教・1・女）
- ◎映画などを見て勉強したい（農・1・男）

- ◎農学部だけを週3回、先生を選べないなどは止めてほしい(農・1・女) -----その他3名
- ◎厳しい先生を一つのクラスに集めないでほしい(教・1・女) -----その他2名
- ◎先生によって、授業の仕方が違うけど、1年生は先生を選べないため、余り興味のわからない内容の授業に当たってしまうと、有意義な講義が受けられない(経・1・女)
- ◎教育学部でも初修外国語を必修にしてほしい(教・1・女)
- ◎1年生でも先生を選ばせてほしい(教・1・男)
- ◎取りたい人が取りたいものを学べば良いと思う。学びたくないものを学んでも意味がない(経・1・女) -----その他3名
- ◎初修外国語は自由選択で良いと思う(教・1・女) -----その他7名
- ◎外国で使えそうにない勉強が多い(教・1・男)
- ◎単位を少なくしてほしい(教・1・女)
- ◎必修である必要を感じられない。今まで日常生活で外国語がどうしても必要だと感じた事もないし、将来的に必要なら、そのときにやらなければ忘れてしまっていると思う(経・1・男)
- ◎教育学部の授業に必要な(教・3・男)
- ◎外国語を必修単位から外す(教・3・男)
- ◎もっと多くの外国語。例えば、スペイン、スワヒリ、ポルトガル語等(教・4・男)
- ◎もっとネイティブな外国語が知りたい(特に日本人教師)(経・3・男)
- ◎英語を必修にする理由が分からない。英語がしたい人ばかりではないと思う(経・2・女)
- ◎初修だけで良いと思う(経・2・男)
- ◎初修外国語は強制的に受講させられ、しかも抽選になっているし、1年学べば、止める人がほとんどなので、やる気のある人だけ履修させればよい。どうも初修外国語のポストを確保させるためだけに強制的に受講させられているとは思えない(経・2・男)
- ◎出席無し(経・1・男)
- ◎取りたい初修外国語も希望が通らず、抽選で落とされた。取りたいものが取れないのはおかしい(教・2・女)
- ◎授業がとりにくい(経・2・男)
- ◎既修・初修外国語を全部含めて一つ選択することができたらと思う(教・1・女)
- ◎使えない英語は必要悪(農・1・男)
- ◎ドイツ語の〇〇先生ははっきりしゃべってほしい(教・1・不明) -----その他4名
- ◎初修外国語の先生はどんなテキストを使えば良いかなどをアドバイスしてほしい(経・1・女)
- ◎初修外国語は初めて学ぶのだからもっと丁寧に教えてほしい(経・1・女)
- ◎初修のスピーキングを増やしてほしい(経・1・女)
- ◎先生が一方的なものが多く、授業はまるで監獄にいるようだ(経・3・男)
- ◎外国の先生と日本人の先生の振り分け方が均等でなく、外国人の先生ばかりになる人と、日本人のなかなか単位を出してくれない先生ばかりになる人の差が大きい(経・1・女)
- ◎初修は必要ない(農・1・男) -----その他4名
- ◎初修の教え方が雑(経・1・男)
- ◎教授を選ばせろ(法・1・男)
- ◎単位が出にくい(経・3・男) -----その他2名
- ◎抽選は止めよう(法・2・男) -----その他5名
- ◎英語で単位の取れない先生が多い。抽選で落ちたら、単位を取れない事を前提にしなければならない(経・2・男)
- ◎初修外国語は週2時間はきついと思う。英語は1つの科目にまとめたほうが良いと思う(経・2・女)
- ◎1年のときも経済・法学部生と一緒にしてほしかった(教・2・女)
- ◎出席重視よりも試験重視にしてほしい(経・2・男)
- ◎勝手に先生が教科書を押しかけるのは良くない。準一級のテキストをかわされたけど、英検など受ける気もないし、もっと英語なら、会話やリスニングをしてほしい。文法しても意味はない(経・1・女)
- ◎教官が違って同じ教科書で同じ試験をしてほしい(経・1・男)
- ◎少人数の授業で一人一人が発表できるようにしてほしい。せっかく外国語をとっても、余り身につかない。1年生でも、自分でどの授業が良いか選択できるようにしてほしい(教・1・女)
- ◎好きな英語の授業を取るほうが、自分の能力をのばせると思う(農・1・女)

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

75

- ◎システムが変わって分からない(経・4・男)
- ◎留学などで単位を取れるようにしてほしい(経・2・男)
- ◎先生が厳しい(農・1・男) -----その他2名
- ◎中止にして(経・3・男)
- ◎初修外国語は、本当に触れるくらいでしかないので、意味が余りない(経・1・女)
- ◎形式的英語教育は0に。実用英語を教えるべきだが、それなら1授業週2回にしてほしい(経・3・男)
- ◎○○先生のように威圧的態度を取る教師は排除すべきだ(法・1・男)
- ◎もう少し少人数の編成にして、外国人を中心に授業展開してほしい(法・1・男) -----その他6名
- ◎外国語に必要性を感じないのでやる気がわからない(教・3・男)
- ◎ロシア語は必要ない。韓国語のほうが役に立つ(経・2・男)
- ◎図書館に辞書をおいてほしい(経・3・男)
- ◎厳しい(経・1・男)
- ◎基礎的な事は高校までに身につけているから、大学では話せる力を伸ばしてほしい(教・4・男)
- ◎なぜ外国語が必修なのか、必然性が不明(経・1・男)
- ◎読解なんてやっても無駄なだけです。会話表現など、実際に世の中で使えることをしてほしい(法・3・男) -----その他2名
- ◎単位が出にくい。1年間で落とした単位を1年間で取り返せない所が不満(農・4・男)
- ◎英語は厳しいらしい(経・1・男)
- ◎取ろうと思う初修外国語があったが、留年確実になるため不可能だった(教・1・男)
- ◎自分で授業を決定したい(経・3・男)
- ◎プリントとか資料を多くして、もっと分かりやすい授業をしてほしい(経・3・男)
- ◎クラス替えしてほしい(経・1・女)
- ◎四天王制を止めさせる(経・3・男)
- ◎高校までにできなかった初修外国語を、受講しやすくしてほしい(教・1・女)
- ◎1年次はクラスの指定があるが、どうやって指定しているのか(経・1・女)
- ◎出席を重視しすぎて、能力を重視していない(経・1・男)
- ◎自分の取りたい先生を選択できるほうがよいと思う(農・1・女)
- ◎英語の授業数が多いので減らしてほしい。ヒアリングは今までずっと、中・高とやっていなかったのがで難しすぎるので止めてほしい(農・1・女)
- ◎単位にとらわれないオープンな授業をしてほしい(経・1・男)
- ◎外国語は自分のしたいものだけすれば良いと思う(法・1・女)
- ◎もっと、講師の先生の方と生徒の会話を増やすべき(法・1・女)
- ◎英会話の授業をして欲しい。ただ読むだけでなく、役立つことをしたい(農・1・女) -----その他11名
- ◎もう少し寛大な気持ちで単位を出していただきたい(経・1・男)
- ◎英語は1個で十分(法・1・女)
- ◎問題の暗記で単位が取れる授業に疑問を抱きます(教・1・女)
- ◎話し方が紳士的でなく、見下されている感じがしてしまう教官がいる(経・1・男)
- ◎英語は聞いて話すことが重要だと思うが、高校までそんな能力がついていないので、高度すぎるとついていけない(法・1・男)
- ◎初修外国語は学んでもたいして役に立たないので、単位を取りやすくしてほしい(経・1・男)
- ◎必修にしないで学びたい人だけ学んだほうが良い(経・1・男)
- ◎なんで英語を2年間で勉強しなくてはならないのか。しかも週2回も。それに英語は楽な授業と厳しい授業の差がありすぎて(法・1・女)
- ◎外国語科目も取りたい人だけ取れば良い(法・その他・男)
- ◎SpeakingやListening専門の授業をもっと設けて欲しい(農・1・男)
- ◎実際に使うときに役だつ授業が少な過ぎる(法・3・男)
- ◎初修外国語を学んでも意味がない。どうせ1年しかやらないならやらない方が良い(経・1・男) -----その他3名
- ◎同じような英語の授業なら、8コマもいらぬ。それなら初修外国語を増やすべき(法・2・男) -----その他2名
- ◎第二外国語はなくて良い(農・1・男)

- ◎なくても良い。又は、共通科目と同列にする（法・1・男）
- ◎単位が出にくい（経・1・男）
- ◎先生によっては、全部出席しても落とされるというのはどうかと思う（経・1・男）
- ◎取りたい人がとれる共通科目で良い（経・1・男）
- ◎興味のない人や、将来に必要な人もいるはずなので、必修にする必要はないと思う（経・1・男）
- ◎単位を1コマで2単位ほしい（教・1・男）
- ◎一番手間がかかるにもかかわらず、単位が1単位なのには怒りを感じる（法・1・女）……その他3名
- ◎もっと文法的（基本的）なものをしてくれないと、分からないまま進んでせっかく頑張ろうと思っていたのに中途半端に分からない（経・1・女）
- ◎受験英語は止めてほしい（法・1・女）
- ◎1年のとき、自分で先生を選べないことを考え直すべきだ。学校側が決めるにしても、4人をそれぞれのクラス、平等に先生をつけるべきだ。先生の評判は耳にしているはずなのに（教・1・女）
- ◎1週間、2コマの授業で、2単位しか取れないのはとても少ない。せめて4単位にしてください（経・1・男）……その他4名
- ◎初修外国語を2年になっても履修したいが、専門科目と重なるので履修できないのが残念です（経・1・女）……その他3名
- ◎1年次にあらかじめ決められることを改善できないものか。自分で興味・関心を持って、受講したならともかく押し付けられて受講したのでは授業に意欲がもてない（法・1・女）
- ◎○○先生の声をもっと大きくするか、マイクを使ってほしい（教・1・男）
- ◎もっとコミュニケーションを通しての授業があっても良いと思う（経・1・女）
- ◎英語に力を入れすぎて、ついていけない。そのわりにはやっていることは高校と変わりがなく意味がない（農・1・女）
- ◎2年になると自由に先生を選べるようだが、同じ先生に人気が集中して受講届けを出すのが大変そうだった。人気のない先生は考えてほしい（教・1・女）
- ◎専門の授業のために、英語しか取ることができなかったのがつらい（教・1・女）
- ◎2年次の英語の履修に関して、抽選をやめクラスを1年次のように最初から分けてほしい。抽選だと1人が複数の教師のところを受講表を出して、複数通ればその中から選ぶという実態があるから（経・2・男）
- ◎既修8、初修4の単位数を決めてしまわないほうが良い（経・1・男）
- ◎英語は高校の延長上のことしかしていない。専門書を読むのには不十分であり、各専門毎に英語は割り当てるべきだと思う。初修外国語は会話中心の方がすぐに役立つのではないか（教・1・男）
- ◎既習は英語の文法や発音など全くやらず、思想みたいなことばかりしていたので、もっと実用的英語に重点を置いてほしい（法・1・女）
- ◎英語はもっと分かりやすくしてほしい（農・1・女）
- ◎英語も必修単位数を4単位にしてほしい（経・1・男）
- ◎1年次から強制的なクラスではない自由編成が多い（経・1・男）
- ◎授業が一番大変なのに1単位は少なすぎる。せめて2単位にしてほしい（教・1・女）……その他5名
- ◎個人の能力に応じた授業をしてほしい。大学に受かったとはいえ、やはり得意な人と不得意な人がいるから、苦手な人には難しいことよりも分かせてほしいと思う（法・1・女）
- ◎外国語科目の単位数を取り払ってもらいたい（経・1・男）
- ◎農学部でもっとやってほしい（農・2・女）
- ◎外人が少ない（経・1・男）
- ◎もっと学生の英語レベルを考え、クラス分けしてほしい（法・1・男）
- ◎授業に興味をもてない。高校のときの受験英語の方がまだ楽しかったし、内容も充実していたように思われる。テキストなどははなれて、もっと実践的な聞く話す授業が良い（法・1・女）
- ◎出席が厳しい（経・1・男）
- ◎教授が威張り過ぎている事がある（法・1・男）
- ◎役に立たないものが多い（教・3・男）
- ◎初修外国語の必修単位を増やしてほしい（法・1・男）……その他3名
- ◎きちんと板書してほしい（経・4・男）

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

77

- ◎英語を2年になっても受ける必要はないと思う。やる気のある人だけにしてほしい(法・1・女)
- ◎英語は大切なものだから、もっと重点を置くべきです(経・1・女)
- ◎初修外国語をもっと内容の濃い、生徒と教師が楽しめるようなものにしてほしい(経・1・女)
- ◎むりやり割り当てられた授業が自分のレベルに合わない(経・1・男) -----その他2名
- ◎テキストを訳すだけの授業が多すぎる(法・1・男) -----その他4名
- ◎初修外国語はもっとくわしく説明してほしい(経・1・女)
- ◎初修はその国の人とのコミュニケーションを主眼にした方がよい。英語は包括的な進め方の授業が良い(経・1・男)
- ◎教育学部小学校の人にも、初修外国語をとりやすくしてほしい(教・1・女)
- ◎中国語の受講定員が少なすぎると思う。私は中国語を取りたかったが、定員が少なく受講できなかった(教・1・女)
- ◎講師によっていやがらせとも思えるほど厳しい授業がある(経・1・男)
- ◎英語が多すぎる。英語以外でも好きな語学を一定の単位まで取れるようにしてほしい(経・1・女)
- ◎興味のない人も受講しなければならなくなっている(経・1・男)
- ◎初修外国語をもっときちんとやってほしい(法・1・男)
- ◎文法的な事をするのではなく、会話重視にしてほしい(法・1・男) -----その他2名
- ◎初修外国語の種類をもっと多くしてほしい(法・1・男) -----その他3名
- ◎予習重視の授業が多い(経・1・男)
- ◎先生が厳しい(法・1・女)
- ◎初修は現行4単位は少ないと思う。やっている意味が全くといっていいほどない。英語は中・高とある程度やってきているので、減らすならこちらだったのではないかな。学びたいことをやる大学という場で英語が選択の余地なく必修というのはどうかなと思う。単位の出し方に差がありすぎると思う。教官を選択する際、内容よりも単位取得しやすさで選んでいるのは本質から外れていると思う(法・4・男)
- ◎外国語は研究しようとする人より、使えるようになりたいという人が多い(法・1・男)
- ◎ . . . の区別が内容の中で見られない。段々グレードアップしていくシステムにし、もっと一貫したものにすべきだ(教・3・女)
- ◎授業数を増やし、受講しやすくすべき(経・2・男)
- ◎1年の英語が選択でないのが気に入らなかった(経・2・男)
- ◎英語の場合、2年間を通じて何をしていたか分からないくらいにまとまりにくい。初修外国語の場合、全く身につかない授業をしているように思う(教・4・男)
- ◎外国語の教師に日本語をもう少し覚えてほしい(法・1・男)
- ◎先生を選べるようにしてほしい(法・1・男)
- ◎習っても、すぐ忘れてしまいそうなので、あまり役には立たないと思う(法・1・女)
- ◎実際に使いこなせるように工夫してほしい(法・1・男) -----その他2名
- ◎教師の態度が非常に悪い、なんとかしてください。みんなこまっています(法・1・男)
- ◎1年次から英語の授業を選択させてほしい。最悪の先生にあたったらかなわん(法・1・男)
- ◎初修外国語は今の時間数ではとても身につけることは無理。また、英語も学力維持が精一杯。外国語の必要性は、人によって違うので、それほど力を入れることはない(経・1・男)
- ◎ドイツ語はもっと優しくしてほしい(農・3・男)
- ◎外国語は必修にするのではなく、自由選択にするべき(経・1・女) -----その他3名
- ◎高校と変わらない読むこと重視の授業に落胆した(教・1・女)
- ◎外国語が苦手な人にもっと気を使ってほしい。テストを重視しすぎると単位が取れない(経・2・男)
- ◎おもしろくない。必要な人だけやればよい(教・4・女)
- ◎英語を2年もやる必要はないと思う(経・2・女)
- ◎教育学部は外国語は1つでよいと言われたが、研究室の教官に「何でも良いですが、英語でないと卒業できません」と言われたのが解せない(教・2・女)
- ◎単位数を早急に減らしてほしい(法・1・男)
- ◎90分ずっと本を読むのではなく、外国のニュースを見たり、外国の音楽を聞き取ったり、また、本も読むのが凄く楽しかった。平岡先生のような授業は大変やる気がした(法・1・女)
- ◎初修外国語の教官を増やしてほしい(法・1・女)

- ◎教科書を買っても、半分も使用しないで終わり、しかもまた、別の先生の授業を受ける際に新しい教科書を買うので教科書代がもったいない(法・1・女)
- ◎外国人教師で、日本語の説明がないため、何を言っているのか分からない(教・2・女)
- ◎第2外国語を2年かそこらやったからと言って、マスターすることはできないのだから全くやる気がしない。それなのに予習に時間をかけるなんてやってられない(教・2・女)
- ◎初修外国語は読み書きが中心なので、会話の授業も1個くらいは必須にしたほうが良いのではないかと(教・2・女)
- ◎もっと単位を出しやすくしてほしい(農・1・男)
- ◎外国人の教師を増やしてほしい(経・1・男)
- ◎分かりにくい教師がいる(経・1・男)
- ◎大学でしかできないような、本格的な語学学習にしてほしい(法・1・男)
- ◎外国人の講師にして、少人数制のクラスにしたら良いと思う(法・1・男)
- ◎受講したい人が取れば良いと思う(経・2・男)
- ◎実際に海外へ行ったときに、通用する英語を教えてほしい(経・2・男) -----その他2名
- ◎初修外国語を学ぶ期間が短く、学ぶ内容が余りにも初歩の初歩までしか必修でないため、習った意味がない(経・2・男)
- ◎英語は2単位だけでよい(経・1・男)
- ◎無理矢理させられても身につかないので、好きな人だけやれば良い(経・2・男)
- ◎aの方の進級単位制度が厳しい。4から5単位。また、教師の不公平で可否を決めるのは止めてほしい(法・3・男)
- ◎初修外国語の種類を増やしてほしい(農・1・男)
- ◎初めての言語なのに、教授はきちんと教えてくれない。もっと、文法的なことから教えてくれなければ、取る意味もないし、上達しない(教・1・女)
- ◎自分で教官を選択できたほうが良いと思う(教・1・女)
- ◎もっと丁寧に教えてほしい(農・1・男)
- ◎全クラス同じテキストを使い、テストをして単位の認定をすべき(教・1・女)
- ◎英語はLLや記述とうまく別れていて、全部単に座っているだけの授業ではないのでとても良い。週3時間であれば、LL、記述、会話となっている今の現状にとっても満足しています(農・1・女)
- ◎書いたり読んだりするだけでなく、実際に外人の先生の発音を聞いたり、ビデオでもいいから、聞いてみたいのに、そういう外国語を勉強するのに十分な教室が少ないと思う(教・1・女)
- ◎外国文化へのアプローチよりも、もっと聞くことや話すことに重点を置いてほしい。文化面は主題などでカバーしてほしい(農・1・女)
- ◎スペイン語を作ってください(農・1・男) -----その他3名
- ◎初修外国語を通年にするより、学期毎にしてほしい。他の教養科目に比べ、単位を取るのが難しい(農・1・男)
- ◎単位を取りやすくしてほしい(経・1・男)

11 健康・スポーツ科目について

授業全体に対する満足度は高くなっている

カリキュラムが教育学部中心に組まれている？ 残りの3学部の学生にとって選択が少し困難になっている様である

健康・スポーツ科目については、選択肢を設けてたずねることをしないで、他の科目と同じように、改善点についての意見や考え、あるいは要望等についての自由記述を整理した。授業自体に対する満足度は高いが、それだけにもっと単位数を多くしてほしい、もっとスポーツの種類を

増やしてほしい、受講しやすくしてほしい、教育学部以外の学生にとって授業の選択が困難などの意見が目立っているように思われる。

- ◎専門と重なるのでなかなか取れない。取りたいものが取れない（経・1・男）
- ◎もっといっぱい取らせてほしい（法・1・女）
- ◎だんだん体を動かすことが少なくなっているの、前期・後期各2つくらい取れるようにしてほしい（教・1・女）
- ◎数が少ない（農・1・女）
- ◎選択の幅が狭い（法・1・女）
- ◎運動系の部やサークルに入っていない人のためにも、もっと単位を認めるべきだ（農・1・男）
- ◎農学キャンパスでも開講してほしい（農・1・女）
- ◎もっと多く取りたい（経・1・男）
- ◎もっとスポーツの種類を増やしてほしい（経・1・女）
- ◎お金がかかる（教・1・男）
- ◎自分のしたいスポーツが取れるようにしてほしい（教・1・女）
- ◎サッカーしたい（教・1・男）
- ◎16希望も書かせるのではあまり希望を取った意味がないのでは（教・1・女）
- ◎人気のある科目は人数を多く取り、希望どおり受講できるようにする（教・1・女）
- ◎健康・スポーツに関して、できるだけ専門授業と重ならないようにしてほしい（経・2・男）
- ◎希望通りに決まりにくい（教・1・男）
- ◎もう少し人数を多くしたら、多くの人が参加できると思う（経・1・男）
- ◎単位認定数を増やしてほしい（経・1・男）
- ◎1単位は少ない（経・1・男）
- ◎2コマ続けてだったので、1コマにしてほしい（法・1・女）
- ◎選択幅を広げてほしい（経・1・女）
- ◎本当にスポーツなのか、遊びとちがうのかという科目がある（経・1・男）
- ◎教育だけが授業が別というやり方のせいで、他学部は取りたい科目すら取れない（経・1・女）
- ◎スポーツの種類を増やしてほしい（経・1・男）
- ◎受講者が多いのでもっと多くを開講してほしい（法・1・男）
- ◎時間を増やしてほしい（法・1・男）
- ◎種類を増やしてほしい。後期にバレーがないのは納得いかない（法・1・男）
- ◎もっと種類と単位数を増やしてほしい（法・1・男）
- ◎他の授業と重なったり、受講者が多くてとりたいたいのものがとれない（法・1・女）
- ◎費用がかかりすぎ（教・1・男）
- ◎必修ではなくしたことは評価するが、かなりの倍率と聞きます。あと保体概論がどこにいったのでしょうか。役立つ講義だったので、無くすのはもったいないです。別にあるのならいいのですが（法・4・男）
- ◎ダンスを入れるべきだし、時間を増やすべきだ（教・3・女）
- ◎これでとれる単位を増やしてほしい（農・3・男）
- ◎週一の授業で1単位は意味がない（経・3・男）
- ◎二年で終わるのではなく、四年間あってもよいと思う（教・4・男）
- ◎1コマ1単位ではとる気がしない（法・1・男）
- ◎スポーツでは人気の大小の差が大きすぎるのではないのでしょうか（農・3・男）
- ◎科目を増やしてほしい（法・1・男）
- ◎体育実技の単位が3つそろわないと単位の発表がされないところを改善してほしい（経・4・男）
- ◎もうちょっと楽しくできたらよい（経・1・男）
- ◎卓球もとれるようにしてほしい（経・1・男）
- ◎みんなが好きなことをできるようになったらもっといいと思う。抽選とかあって好きなことはあまりできていないと

思う（法・1・男）

- ◎のびのびとスポーツ自体を楽しむことができ、今のままで十分満足している（教・1・女）
- ◎とても楽しかった（法・2・男）
- ◎みんなで楽しく気持ち良くできればよい（法・1・男）
- ◎2単位にしてほしい（経・2・男）
- ◎非常に教師ができています（法・3・男）
- ◎バレーの選択科目ならば少なくとも一時間はバレーをするべきである（法・1・男）
- ◎農学部はとりにくい。（後期金曜しかとれない）（農・1・男）
- ◎もっといっぱいとりたい（教・1・女）
- ◎充実していたのでそのままでよいと思う（教・1・女）
- ◎専門や語学の授業の前にあるのがつらい。また、教育学部優先であったりするのでとりにくい。しかし、もっとスポーツはみんなすべきである。もっと幅を広げるべきだ（農・1・女）
- ◎上級者向けと書いてあったのでテニスをとったが、あまりゲームができずつまらなかった（農・1・女）
- ◎選択しても抽選もれが多くとりにくい（農・1・女）
- ◎今のままでよい（農・1・男）
- ◎もっと種目を増やしてほしい（農・1・男）
- ◎フライングディスクという初めてした競技はとてもおもしろかった（農・1・男）
- ◎もっと増やしてほしい（農・1・女）
- ◎受講できない場合が多いのもっと増やしてほしい（農・1・女）
- ◎前期からサッカーをしてほしい。ラクロスがやりたい（法・1・男）
- ◎スポーツの集中にもれて、通常になったせいでとれない講義がでて、しかも卒業単位なのはあんまりです（教・1・女）
- ◎他学部の専門教科の時間割りをもう少し考慮して組んでほしい（取れない）（経・2・男）
- ◎ソフトボールの枠が少ない（法・1・男）
- ◎野球を入れろ（硬式）（経・1・男）
- ◎これがいちばん自由に選べない（教・1・男）
- ◎数多くのスポーツの種類を増やしてほしい（経・3・不明）
- ◎取れる単位数をもっと増やしてもよいと思う。四輪スポーツ（カート）もおもしろい（法・2・男）
- ◎1単位ずつでは半端だ。疲れすぎて次の授業で困りそう（農・1・男）
- ◎もう少し種類を増やせないだろうか（教・1・女）
- ◎取れる時間に幅を持たせてほしい（法・1・男）
- ◎もっと取りやすくしてほしい（経・3・男）
- ◎種類（武道など）を増やしてほしい（経・1・男）
- ◎もっと受講しやすくしてほしい（経・1・女）
- ◎なかなかとれないのでダメ（経・1・男）
- ◎時間が少なすぎる（教・3・男）
- ◎希望者のみでよいと思う（経・4・男）
- ◎文化部やサークルに入っていない人にも運動する機会を提供してほしい（教・4・男）
- ◎希望したがとれない（経・1・女）
- ◎ビリヤードを入れて（法・2・男）
- ◎テニスは楽しい（法・1・男）
- ◎2単位ください。1単位では意味がありません（経・3・男）
- ◎もっと科目を増やし、人数も増やしてほしい。でないと受講したい人ができない（経・1・女）
- ◎定員の増加（経・1・男）
- ◎ソフトボールを増やそう（経・1・男）
- ◎受講したくても抽選があるのでなかなかとれない（経・1・女）
- ◎人数を増やせ（法・1・男）
- ◎もう少し競技種目を増やしてほしい（法・1・男）
- ◎科目数を増やすべき（農・1・男）

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

81

- ◎よかった (教・1・女)
- ◎海外でスポーツできないのですか? (教・1・女)
- ◎自分の選んだものを受講できなかった (教・1・女)
- ◎受講したいのに人数が多くてとれない。もっと考慮してくれー (農・1・男)
- ◎スポーツが受講しにくい (農・1・男)
- ◎集中授業を増やしてほしい (農・1・女)
- ◎もっとたくさんの授業を開講してほしい (経・1・女)
- ◎楽しめればよい (教・1・男)
- ◎もう少し高度なことを学びたかった (教・1・女)
- ◎教育学部以外の人にも水泳をとれるようにしてほしい (経・1・女)
- ◎抽選を減らしてほしい (農・1・男)
- ◎集中を二つとったが二つともよかった (教・1・女)
- ◎もっと種類を増やしてほしい (農・1・女)
- ◎夏休みの分は普段体験できないもの (エアロビ・フライングディスク) ができたので大変よかった (教・1・女)
- ◎科目を増やせ (農・1・男)
- ◎抽選で落とすのはよくない (農・1・男)
- ◎このままでもいいと思う (法・1・男)
- ◎もっと種類を増やすことで抽選もれをなくしてほしい (法・1・男)
- ◎もっと数を多くすればよい (農・1・男)
- ◎種類が少ない (教・1・男)
- ◎とれない (農・1・男)
- ◎単位を2単位にして欲しい (農・1・女)
- ◎スポーツの人数が少なすぎて抽選もれしてしまう (経・1・男)
- ◎種目を増やしてほしい (経・1・男)
- ◎本当はやりたいものが他にあった (教・1・女)
- ◎スポーツ科目を増やしてほしい (法・1・男)
- ◎サッカーしたい (農・5・男)
- ◎このままでもいい (教・1・男)
- ◎科目を増やしてほしい。いつでもとれるようにしてほしい。単位を2単位にして欲しい (教・3・男)
- ◎柔道が欲しい。集中授業の、経済、法学部の枠が少なすぎる (経・2・男)
- ◎もっと自分の希望したものがとれるようにしてほしい (教・1・女)
- ◎今のままでよい (法・1・男)
- ◎みんながとれるようにすべき (経・1・男)
- ◎もっと科目を増やしてほしい (農・1・女)
- ◎2単位ものにしてほしい (経・1・男)
- ◎単位が少ない。とる人数が少ない (経・1・男)
- ◎ボーリング、釣りがあればよかった (経・3・男)
- ◎時間数、科目を増やしてほしい (法・2・男)
- ◎2単位にしてほしい (経・1・男)
- ◎もう少し教育以外の人でも多くの種類のスポーツが選べるとよい (サッカー、ソフトなど) (法・2・男)
- ◎とれない科目が多い (経・1・男)
- ◎人数が制限されていて、受講できない (法・3・男)
- ◎教育は必修だけど、総合科学課程の場合は特に必修にしなくてよいと思う (教・1・女)
- ◎今のままでよいと思う (経・1・男)
- ◎さまざまあっていいと思うが、できる限り制限はつけてほしくない。また、男女比も考えてほしい。(ex.エアロビクスダンス) (教・1・男)
- ◎抽選が多すぎる (法・1・男)
- ◎集中授業はお金がかかりすぎて嫌だ (教・1・女)
- ◎大変先生もいい人で楽しかったし、息抜きになった (経・1・女)

- ◎選択幅が狭い(経・1・男)
- ◎陸上競技を作るべきである。経済も必修科目にして、一回で二単位にするべきだ(経・1・男)
- ◎もっと受講者数を増やして欲しい(経・1・女)
- ◎楽しくできているので今まででいい(経・3・男)
- ◎サッカーを増やして欲しい(経・2・男)
- ◎今のままでいい(経・2・男)
- ◎ヨガとか水泳とかはやりたくない(教・2・男)
- ◎なかなか受講できない。専門とかぶっていることが多い(経・2・男)
- ◎現状維持で十分(法・1・男)
- ◎単位数が少ない(経・2・男)
- ◎抽選にもれて、受けた科目がとれない(経・1・男)
- ◎自分のやりたい健康・スポーツをやらせてほしかった(教・1・女)
- ◎教育学部以外の人にも自由に選択させてほしい(経・1・男)
- ◎競技数の増加(経・1・男)
- ◎スポーツ科目の人数や種目ももう少し増やしてほしい(経・1・男)
- ◎教育学部だけというのはおかしい(経・1・女)
- ◎一年を通してやるべき(教・1・男)
- ◎特になくてもいいと思う(経・1・男)
- ◎もっと種類を増やしてほしい(経・1・男)
- ◎もっと増やしてとりやすくして(経・1・男)
- ◎下手な人でも楽しくできるようにしてほしい(経・1・男)
- ◎主題や専門のため、選択できなかった(経・1・男)
- ◎四時間目など遅い授業にしてほしい(農・1・女)
- ◎雨天中止の場合、補講をどんどん入れてほしい(法・1・男)
- ◎人数制限があってはくれた(法・1・女)
- ◎少なすぎて受講できない(経・1・男)
- ◎経済の人でもとれる種目、時間を増やしてほしい(経・1・女)
- ◎単位のつけかたを考え直してほしい(農・1・男)
- ◎時間帯が悪い(経・1・男)
- ◎スポーツはいいなあ(経・1・男)
- ◎もっと多くの学生がとれるようにしてほしい(経・1・男)
- ◎もっといろいろな種類のスポーツをしたい(集中以外)(教・1・女)
- ◎週一というのは少ないのではないか(教・1・女)
- ◎学部で取れる種目が決まっているので、もっと増やしてほしい(教・1・女)
- ◎農学部の人が取れる授業が少ない(農・1・男)
- ◎取りたくてもなかなか取れないのが、実状。取れるようにしてほしい(農・1・男)
- ◎受講する人数が少ない(農・1・男)
- ◎もっと開講時間を増やしてほしい(教・2・男)
- ◎リフレッシュできるので今のままでよい(教・3・男)
- ◎他の科目と重なって、取りたいスポーツができないことがある。できるだけ曜日をかえて、多くの機会を得るようにしてほしい(法・1・男)
- ◎よく分からないスポーツが多い(経・2・男)
- ◎着替える時間の猶予が欲しい(教・1・男)
- ◎いろいろなスポーツができるのはいいけれど、人数が多すぎて受け入れてくれない(経・2・女)
- ◎つまらないものが多い(経・2・男)
- ◎キャンプは楽しかったので、アウトドアスポーツを増やしてほしい(教・1・男)
- ◎抽選に通らん(経・3・男)
- ◎楽しく授業が受けられてよかったと思う(教・1・女)
- ◎集中が学部によって取れないなど不公平である(経・2・男)

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

83

- ◎たくさんしたい(経・1・男)
- ◎やりたいスポーツをさせてほしい。もっといろいろな種類のスポーツがあってほしい(教・2・女)
- ◎スポーツ科目については結構面倒なことが多いのに、それに反して単位数が少ないのではないかと(経・2・女)
- ◎もう少し取りたかった(教・2・女)
- ◎もっと単位数を増やす(教・2・女)
- ◎上限単位を増やしてほしい(教・2・女)
- ◎専門と重なったりして取れなかったりするの、教育だけでなく他学部の授業も考慮してほしい(経・2・女)
- ◎なぜ1単位しかもらえないのか不思議だ(経・2・女)
- ◎あまり厳しくしなくても、みんなでやって楽しい、適度でいいと思う(教・1・女)
- ◎教育以外の生徒が集中の授業を取れない(法・1・男)
- ◎好きなスポーツを取らせろ(経・1・男)
- ◎あまりにすごい倍率なので、もっと増やせばよい(経・1・女)
- ◎もっと経済の人でも取れるように時間を考えてほしい(経・1・女)
- ◎抽選が多すぎ。経済は取りにくい。単位が少ない(経済・1・女)
- ◎楽しかったので特にはありません(教・1・女)
- ◎集中キャンプなどで、普段なかなかできないものを増やして、教育学部以外の学生も履修できるようにしてほしい(農・1・女)
- ◎自分の取りたい授業がなかなか取りにくい(教・1・女)
- ◎授業を取れる人数が少ない(経・1・男)
- ◎集中はお金がかかる(教・1・女)
- ◎もっと自由にさせてほしい。練習なんかせずに、いきなり試合!、遊びみたいなもんだから(農・1・男)
- ◎2単位にしてほしい。2単位以上取っても良いようにしてほしい(教・1・女)
- ◎思うように希望通りに取りにくい科目ばかり(農・1・男)
- ◎集中の後期で種類が少ない(農・1・男)
- ◎体育に抽選があるとは納得いかない(教・1・女)
- ◎他の科目とのかねあいで、取りたいものが取れない(経・1・男)
- ◎楽しくて良い(経・1・男)
- ◎おもしろかったです(教・1・女)
- ◎もっと試合がしたかった(バレー)(教・1・女)
- ◎非常に満足(教・1・女)
- ◎自分のやりたいスポーツができるようにしてほしい(教・1・女)
- ◎良いと思う(教・1・女)
- ◎満足してます。キャンプ楽しかった(教・1・女)
- ◎誰でも取れるようにしてほしい(農・1・女)
- ◎もっと増やしてほしい。取りたくても運が悪くて取れなかった(農・1・女)
- ◎もっとたくさんの方ができるようにしてほしい。抽選落ちする人が多すぎる(農・1・女)
- ◎希望を通してほしい。もっとスポーツの幅を広げてほしい(教・1・女)
- ◎もっと教師が要領よく授業を進めてほしかった(農・1・女)
- ◎集中の授業はお金が少し高いと思う(教・1・女)
- ◎初心者も楽しめること(法・1・男)
- ◎種目が少なすぎる(農・2・女)
- ◎もっと新スポーツ(ベタンクなど)を入れると良いのでは(教・1・女)
- ◎教育しか取れない科目が多すぎる(経・1・女)
- ◎二時間連続は長すぎる(経・1・男)
- ◎選択の幅を広げる。教育は取れても、その他の学部は取れない科目があり、限られているのでつまらん(法・1・女)
- ◎もう少し多くのスポーツが取れるようにしてほしい(経・1・男)
- ◎夏はとて暑すぎる(教・1・男)

12 授業の選択について

時間割の作成に当たってシラバスは有効に活用されている
シラバスは授業選択や成績評価の確認においてとくに役だっている
自由記述では、シラバスの記載内容と実際の授業が異なるという意見が多い
授業選択の観点；「内容に興味のある授業」＝64.9%、「単位の取りやすい授業」
＝24.8%となっている

ところで学生たちは、教養教育科目の時間割を作成するにあたり、必要な授業についての情報をどこから得ているのだろうか。私たちは主要な情報源を6項目想定し、それぞれについて「はい」「いいえ」で回答してもらった。図28でこれを見ると、「教養教育シラバス」がもっとも多く、90.8%までの学生が情報ソースとして利用している。次いで多いのが「授業科目から判断した」というもので71.1%、「所属する学部・学科等の先輩・友人からの口コミやパンフから得た」70.3%と続いている。もちろんこれだけでは、それぞれの情報がどの程度利用され、科目選択の決定力になったのかは定かでない。ただ、今回の教養教育改革で新しく導入した「シラバス」が、かなり活用されていると結論づけてよいのではないか。シラバスについては、また後ほど詳しい分析をしていきたい。

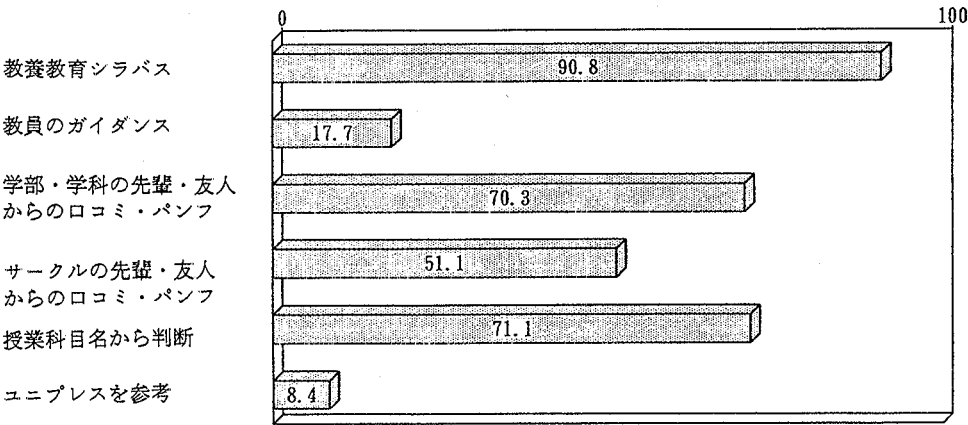


図28 時間割作成のための情報源

では、学生たちは必要な主題科目、教養ゼミナール、共通科目などの授業をどのような観点から選択しているのだろうか。5つの観点を提示し、最もあてはまるものを1つだけ選択してもらった結果が図29である。これを見ると、「内容に興味のある授業」と回答した者が最も多く、64.9%、次いで「単位のとりやすい授業」24.9%と続いている。それ以外の項目を選択した者はわずかであった。

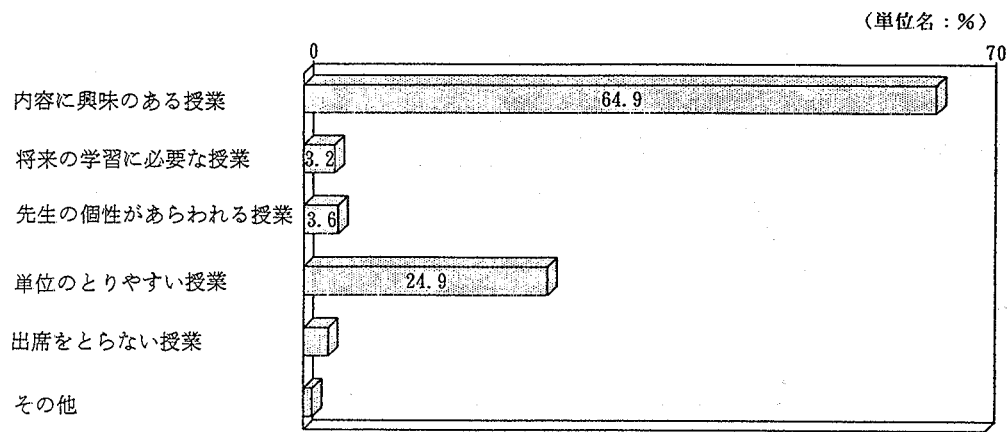


図29 授業選択の観点

ここで、シラバスに関していくつかたずねてみたい。まず、「教養教育シラバス」を利用したことがあるか否かである。図30でそれを見ると、96.4%までが「利用したことがある」と回答しており、ほぼ全員がシラバスを利用していることがわかった。

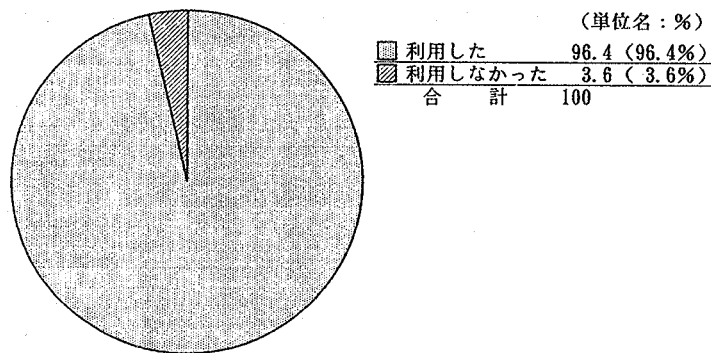


図30 「教養教育シラバス」の利用について

ではシラバスは、学生たちにとって役だっているのだろうか。そのことを検討した結果が図31である。これを見ると「まあまあ役だっている」と回答した学生が最も多くて62.6%、「たいへん役だっている」が27.6%であった。「あまり役立っていない」「全然役立っていない」は、両者を合わせてもわずか3.6%であり、シラバスはかなり有効に機能し、また、学生たちに利用されているとの結論を導いてもよさそうである。

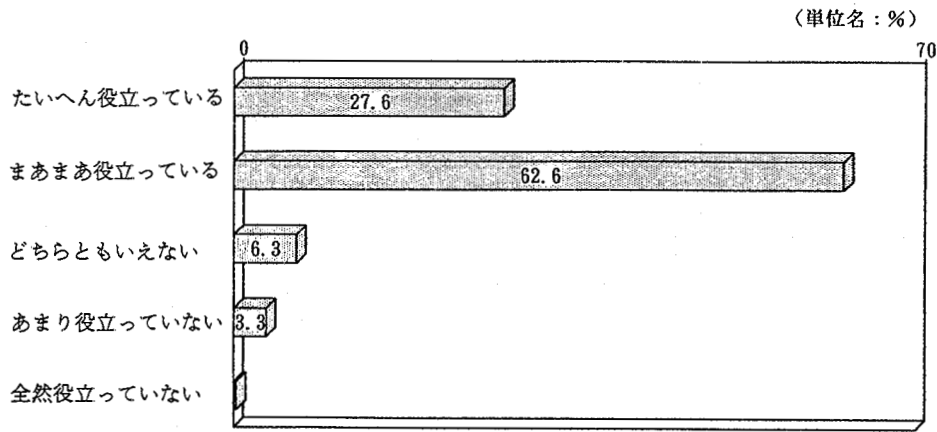


図31 「教養教育シラバス」は有効か

ではシラバスはどのような場面で役だっているのだろうか、三つの側面からたずねた結果が図32である。「どのような授業を履修するか、検討する場合」をみると、62.0%までが「たいへん役立つ」と回答しており、「まあまあ役立つ」37.0%、「役立たない」1.0%となっている。「授業がどのように進展するか、確認する場合」についてみると「大変役立つ」と回答した者は29.1%、「まあまあ役立つ」54.5%、「役立たない」16.4%であった。「成績評価がどのように行われるか、確認する場合」をみると、半数の50.0%が「たいへん役立つ」と回答しており、「まあまあ役立つ」44.7%、「役立たない」5.3%であった。授業科目の選択や成績評価の確認において、とりわけシラバスは有効に利用されているようである。

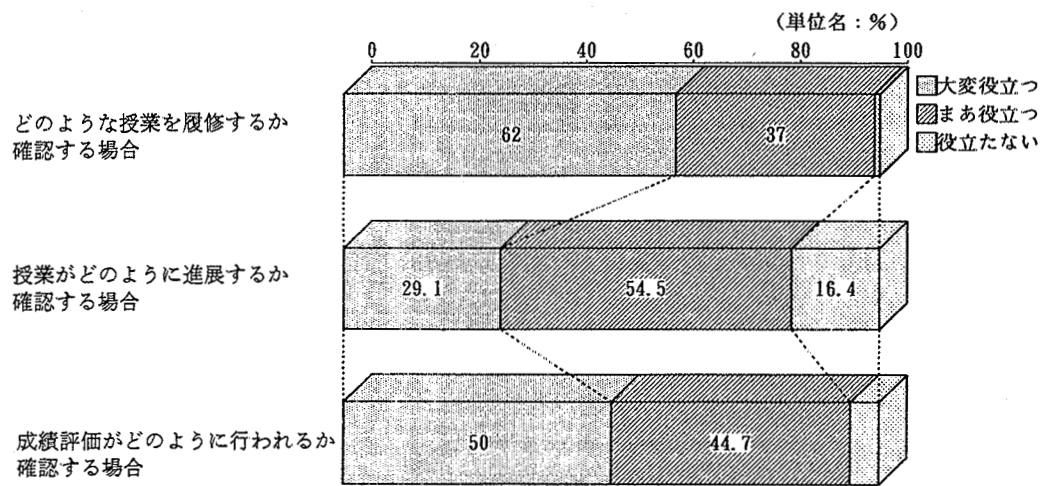


図32 シラバスの役立つ場面

さて、この「教養教育シラバス」にはどのような問題があり、また、現行のシラバスにどのような情報が加わったらよいのだろうか。以下は、自由記述によって学生たちの意見をたずねた結果である。シラバスに書いてある内容と実際の授業内容が掛け離れていること、シラバスに載っていない科目が少なからずあること、大部なものであるので持ち運びができないなどの内容が多く目についた。

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

87

- ◎たまに書いてあることと授業内容がかけはなれている時がある（経・1・女）-----その他60名
- ◎すごく重たくて持ち運び不可能（法・1・女）-----その他34名
- ◎シラバスに載っていない科目があるのですべてのせてほしい（経・1・女）-----その他27名
- ◎授業の進行予定と実際がしばしば異なる（教・1・男）-----その他4名
- ◎単位の履修方法の説明が分かりにくいこと（法・1・女）-----その他4名
- ◎分厚すぎる（経・1・男）-----その他11名
- ◎シラバスに書いてあることと、講義の内容が違う（法・1・女）-----その他3名
- ◎もう少し詳しく書いてほしい（経・1・男）-----その他10名
- ◎今までで充分である。（農・1・男）-----その他5名
- ◎外国人の先生のところを日本語で書いてほしい（経・1・女）-----その他4名
- ◎先生方のコメント、少し難しいです（教・1・女）
- ◎シラバスに書いてある通りに進んでいる授業がない（経・1・男）
- ◎まあ親切に書いてあると思う（教・1・女）
- ◎これ以上厚い本では使いにくい。だからこのままで充分で、大変役に立っている（経・1・男）
- ◎厚さのわりには、実際に必要な情報に1ページしかない（法・1・男）
- ◎ページ数が多すぎる（経・1・男）
- ◎落丁があった（法・1・男）
- ◎見やすくてよいと思う（教・1・女）
- ◎外側から見て、何がどこにあるか、よく分かるようにしたほうがいい（経・1・男）
- ◎受講可能な人数。今まで抽選漏れした人数の割合などを記入してほしい（教・1・女）
- ◎訂正が多い（農・1・男）
- ◎何点取ればよいのかはっきり書いてほしい（経・1・男）-----その他1名
- ◎サイズが大きすぎる（経・1・男）
- ◎単位の取れ方を5段階評価で書いてほしい（経・2・男）-----その他2名
- ◎何冊かに分けてほしい（経・1・女）-----その他1名
- ◎単位の出し方や教科書、出席など記入されていないのは非常に困ります（経・2・女）
- ◎試験にノートなどのテキストの持ち込みがOKかどうかを明確にせよ（経・1・男）
- ◎きちんと載っていない授業があったりして、役には立つが、余りあてにはできない。絶対正しいとは信じられない（教・2・女）
- ◎その先生の単位認定をパーセント表示してほしい（経・1・男）-----その他2名
- ◎前年と同じ授業であれば、その前年の受講生の様子や助言などを記載する（経・1・男）
- ◎受講者の感想を記載してほしい（経・1・男）-----その他1名
- ◎記入もれがある（法・1・男）
- ◎教師の写真を入してほしい（法・1・女）-----その他4名
- ◎もっと読みやすく（経・1・男）-----その他1名
- ◎単位取得の方法が少し違っていたりする所（経・2・女）
- ◎嘘が多い（法・2・男）
- ◎もう少し具体的に事実に基づいた内容にしてほしい（経・1・女）-----その他3名
- ◎目次を付けてほしい（法・1・女）-----その他5名
- ◎シラバスに載っていたテーマに興味があって受講したが、1度もそのテーマについて講義されなかった授業があった（教・1・女）
- ◎サイズがやや大きい（農・1・女）-----その他1名
- ◎人気度（教・4・男）
- ◎記入していない部分の判断に困る（教・1・男）
- ◎授業内容だけでなく、試験やレポートのことももっと書いてほしい（教・1・女）
- ◎先生のその授業への思い（教・1・女）
- ◎先生の授業に対する考えを必ず書いてほしい（教・2・女）
- ◎もっと見やすいジャンル、前期・後期別などをやってほしい（経・1・男）
- ◎単位の認定方法を書いていない授業科目がある（経・1・女）-----その他6名

- ◎シラバス通りに授業が行われない。よけいなおどしはのせない(教・1・男)
- ◎先生によって丁寧に書かれているものとそうでないものがある(経・1・男)
- ◎もう少し細かく書いてほしい(法・1・男)
- ◎初めて学ぶ分野については、説明不足。語句自体、意味不明で理解しきれない(経・2・女)
- ◎教科書代(教・2・女)
- ◎教科書代にかかる負担が大きくなるので、同じ教材を使用している授業が前期・後期にある場合は、すぐに分かるようにしてほしい(教・1・女)
- ◎外国人の教師について出身国が知りたい(経・1・男)
- ◎レポートを出す先生には必ず書いてほしい(法・1・女)
- ◎授業がたくさんあるせいもあるが、自分の見たいページを探すのが大変である(教・1・女)
- ◎「シラバスに載せなければならないから書いてだけ」という内容が記載してあったりするのだが、それでは意味がない(教・1・女)
- ◎授業の説明が載っていない時がある(法・1・女) -----その他5名
- ◎シラバスの内容を途中で勝手に変更しないでほしい(教・1・女)
- ◎無駄が多い(経・2・男)
- ◎過去5年間の単位修得状況(経・1・男)
- ◎曖昧な表現(原則として一、予定)はできるだけしないでほしい(教・1・女) -----その他2名
- ◎教授の性格的なことを載せていただきたい(法・1・男) -----その他6名
- ◎具体性がない。具体性を持たせるために授業で使う資料を取り入れればよいと思う(経・1・男)
- ◎嘘が多い(法・1・男) -----その他2名
- ◎教室番号などが別々にあり、見にくい(農・1・女) -----その他4名
- ◎これだけは注意という重要点をまとめてはっきりと記載してほしい。見逃すとつらいから(農・1・女)
- ◎読みやすいけど重い(経・1・女)
- ◎詳しくない(法・1・男)
- ◎なくてもよいのでは。掲示板ですむ。紙のむだ(法・3・男) -----その他1名
- ◎でかすぎる(経・3・男)
- ◎その通りにいかないこともあるので、そういう場合はその予定どおりではないかもしれないと言書き添えてほしい(経・1・女)
- ◎質問をしに行く時の講師の研究室の場所を書いてほしい(農・1・男)
- ◎テスト形式(教・1・女)
- ◎主題科目と共通科目のシラバスを別々に作らないと本が厚すぎる(経・1・男)
- ◎就学案内と対応していなければ使いにくい。互いののっているページを記入してほしい(経・1・男)
- ◎単位、テストに関してもっと詳しく示してほしい(経・1・女) -----その他2名
- ◎良い(経・1・男) -----その他1名
- ◎適当に思える(農・3・男)
- ◎どれくらいの人を受講するのか(法・2・男)
- ◎講義によって情報量の違いがある(経・1・男)
- ◎先生がどれくらい厳しいか(教・1・女)
- ◎説明が分かりにくい(農・1・女)
- ◎見にくい(経・1・男) -----その他3名
- ◎もう少しコンパクトに(教・1・男)
- ◎もったいないから中止して(経・3・男) -----その他1名
- ◎授業の概要が分かりにくい(法・1・男)
- ◎形式的な事が多すぎる。必要なことだけで良い(経・1・男)
- ◎(未定)の情報があるとうれしい(教・1・女)
- ◎科目によって分かりやすさが違う(教・2・男)
- ◎記入漏れを無くしてほしい(教・1・女)
- ◎簡単に説明されている授業科目がある(経・1・男)
- ◎専門についてもいろいろ書いてほしい(経・1・男)

- ◎もっと具体的に授業内容を書いてほしいものもある（経・1・男）
- ◎太すぎて、読む気がしない（法・1・男）

13 学生による授業評価について

7割までが学生による授業評価を望んでいる

大学の授業を改善していくために、学生による授業評価を導入していくことを学生はどのように思っているのだろうか。その結果が図33である。これを見ると「是非実施してほしい」41.1%、「できれば実施してほしい」29.3%と全体の7割までが学生による授業評価を望んでいることがわかる。これに対して「実施する必要はない」と回答した人はわずか5%であった。

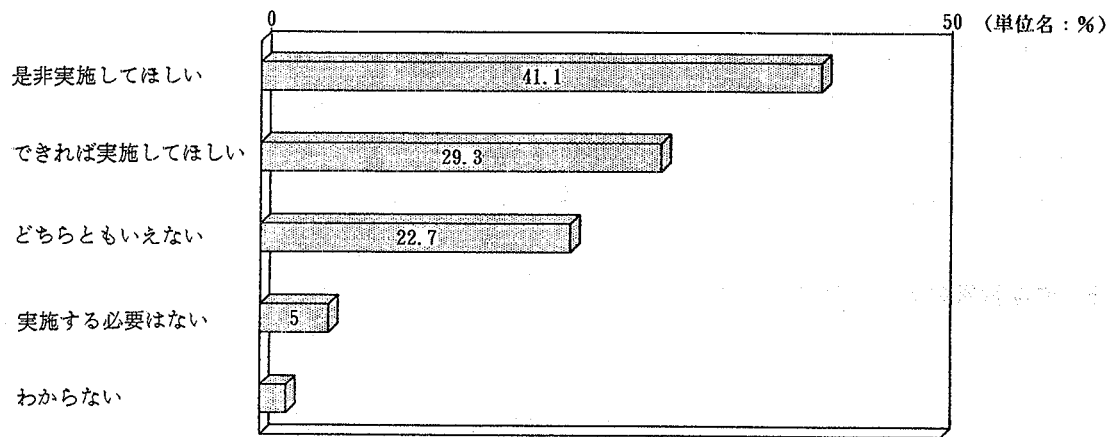


図33 学生による授業評価の導入について

14 好感をもっている先生の条件

好感をもたれる教師の条件—「授業内容が興味深いところ」が第1位
受講意欲のある学生は授業内容に敏感、消極的学生の2割は「好感をもっている先生は一人もない」と回答

ところで学生たちは、どんな先生に好感をもっているのだろうか。教養教育を担当している先生で最も好感をもっている先生を思い浮かべてもらって、その先生のどんなところに一番魅かれるのかをたずねた結果が図34である。それを見ると、最も多いのが「授業内容が興味深いところ」と回答した者で46.1%、次いで「ジョークや雑談が面白いところ」18.8%、「人格者であるところ」10.4%と続いている。「好感をもっている先生は一人もない」と回答した学生が1割を越えていることはやや気にかかるところである。

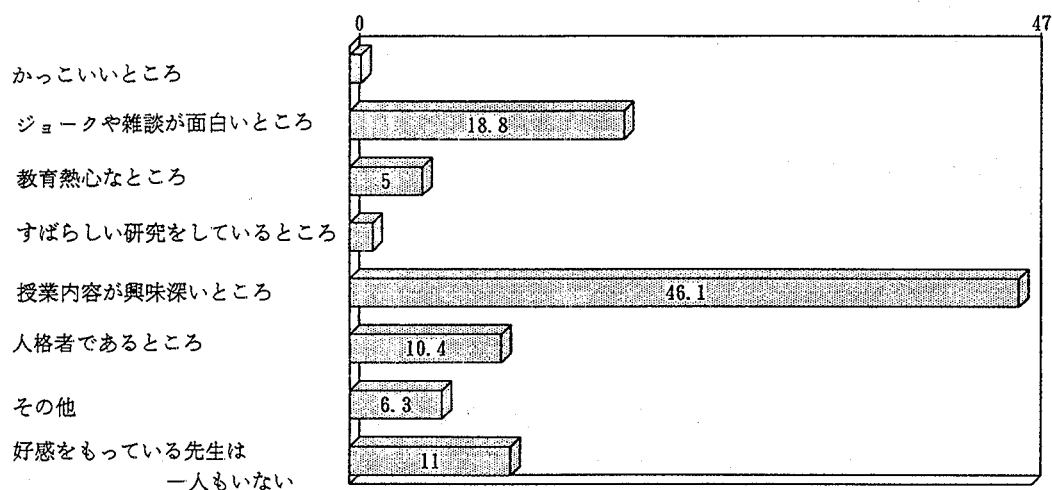


図34 好感をもっている先生の特徴

これを「学習意欲のある学生」グループと「学習意欲のない学生」グループとで比較してみると、前者は「授業内容が興味深いところ」を半数以上の53.5%が選択しているのに対して、後者では31.1%に過ぎない。その分だけ、「好感をもっている先生は一人もいない」が21.3%、「ジョークや雑談が面白いところ」21.9%と多くなっている。

15 前期試験の実施時期について

約7割の学生が「7月中旬～7月下旬（夏休み以前）」に前期試験を希望

ところで、授業は教師と学生との間でおこなわれるが、それは「真空状態」で行われるものではない。それを取り巻くさまざまな条件が、学習効率や学習成果に大きな影響を及ぼすことになる。そこで、教養教育を取り巻くいくつかの条件についてたずねた。

まずは、前期試験の実施時期についてである。周知のとおり、学内では学年暦の見直しが検討され、また、周辺の他の国立大学も徐々に学年暦を変更し、7月末に前期の試験を終える傾向が強まっている。学生たちに、前期試験の実施時期はいつがよいと思うかたずねた。その結果が図35である。これを見ると「7月中旬～7月下旬（夏休み以前）」を希望する学生が69.5%と最も多く、次いで「現行の9月下旬～10月上旬」23.8%、「9月上旬～9月下旬（夏休み以後）」6.7%となっている。7割の学生が学年暦を変更し、前期の試験が終わってから夏休みにはいることを望んでいることがわかる。

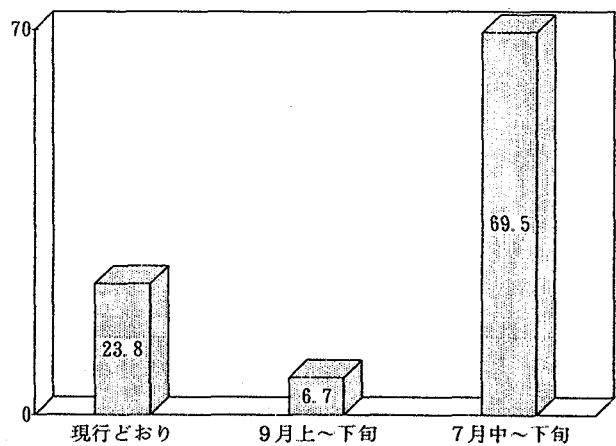


図35 前期試験の実施時期について

16 教室の授業環境について

教室の授業環境に対する満足度は極めて低い。満足している学生は、すべての項目で2割に達しない

次に教室の授業環境である。学生たちは授業を取り巻く環境にどの程度満足しているのだろうか。それが図36である。「教育機器・設備等について」みると、「どちらかという不満」「不満である」を合わせて44%までが不満であると回答している。これに対して満足に感じている学生は18.6%に過ぎなかった。もっとも、この項目は満足している割合が相対的には多い方で、残りの5つの項目ではさらに満足度が低くなっている。「満足している」と「どちらかという満足している」を加えた割合は、「教室の空調設備について」9.9%、「教室内の静粛度（学生間の私語がない等）について」10.2%、「授業と教室規模との関係（受講人数と教室の広さとのバランス等）について」14.1%となっており、全般に授業環境に対する満足度はかなり低いものとなっている。

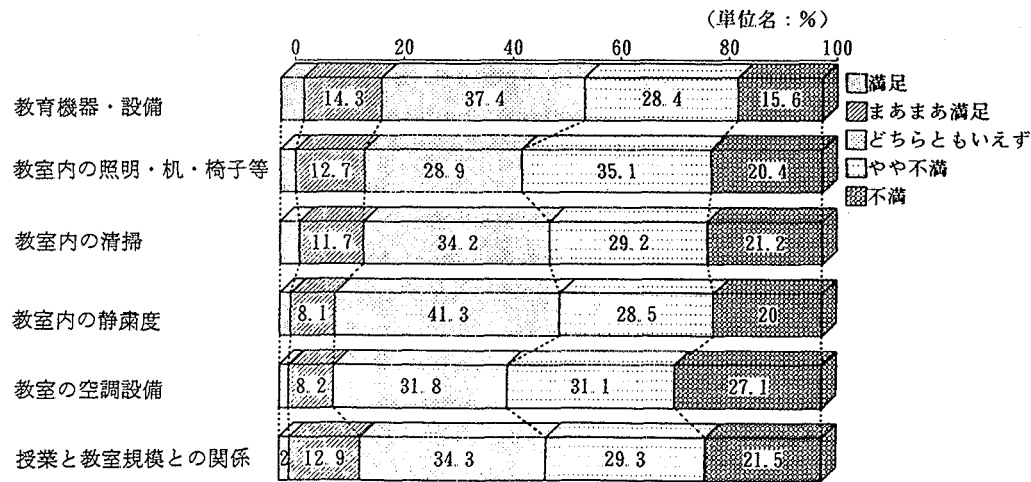


図36 教室の授業環境について

以下は、教養教育で使用される教室の授業環境について、学生の意見や考え、要望等を集約したものである。冷暖房について、教室での私語について、旧式の椅子・机について、ゴミの散乱についてなどに、学生の不満が多くみられるようである。

- ◎冷房を（全室に）付けてほしい（教・１・男）-----その他20名
- ◎汚いので掃除してほしい（教・１・女）-----その他15名
- ◎空調設備をもっとしっかりしてほしい（経・１・女）-----その他12名
- ◎今のままで良い（経・１・女）-----その他４名
- ◎椅子と机が一体になっている机は座りにくい（教・２・女）-----その他15名
- ◎せまい（農・１・男）-----その他10名
- ◎人が多すぎて、座れていない人がときどきいるので、教室か人数を調整してほしい（教・１・女）-----その他６名
- ◎夏に暑く、冬に寒い。どうにかしてほしい（教・１・男）
- ◎後ろの方はおろか、前に行っても板書が見えにくいし、教授の話が聞こえにくいのはどうにかしてほしい（経・１・男）
- ◎冷暖房が5:00に止まるのはおかしい（教・４・男）
- ◎１時間30分も座り続けているので、もっと疲れにくい椅子にしてほしい（農・１・男）
- ◎椅子が壊れている（教・１・女）-----その他３名
- ◎教室が広いと、授業に集中できない（教・１・不明）
- ◎人数と教室のアンバランスさが気になる（教・１・女）-----その他４名
- ◎快適な環境でないと勉強に身が入らない（経・３・男）
- ◎古すぎる（経・３・男）-----その他３名
- ◎マイクを使ってほしい（経・１・女）-----その他４名
- ◎全体的に照明が暗い（経・２・女）-----その他３名
- ◎もっといい教室を用意しろ（農・１・男）
- ◎汚い・狭い・うるさい（経・１・男）-----その他３名
- ◎大学生になって注意されないとできないのはおかしいが、私語はかなり多く、迷惑だ（教・１・女）
- ◎前のほうはがらがらだし、後ろはざわざわして、雑音がしているのでいや（経・１・女）
- ◎ピンマイクを使って、しかもその音を大きくしてほしい（経・１・男）-----その他２名
- ◎教室内の清掃は学生側の使い方も考えるべき。自分達が、ゴミを教室に残さないことが大事だと思う（教・１・女）-----その他２名
- ◎教室の差が激しい（農・１・男）
- ◎教室によって、椅子の広さが違う気がする（経・４・男）
- ◎生徒の数が少ないのに大きな教室でするな。特に語学（法・１・女）
- ◎鳩が入って来る教室は最悪だ（経・２・女）
- ◎椅子のうえに土足で上がったりしているものがあり、不潔で困る（教・２・女）
- ◎マイク設備だけはしっかりしてほしい（特に323教室）（教・１・男）-----その他４名

17 第２校時と第３校時の間の休憩時間（昼休み）について

８割までが、昼の休憩時間が短いと感じる

次に、第２校時と第３校時の休憩時間（12時00分～12時40分）が短いという不満をよく耳にす

るので、この点についてたずねた。その結果が図37である。昼休みが短いという意見に対して「そう思う」と回答した学生は8割に達している。「どちらともいえない」と回答した者は8.2%、「そうは思わない」は11.8%であった。圧倒的に多くの学生が、昼の休憩時間をもっと長くしてほしいと回答していることがわかる。

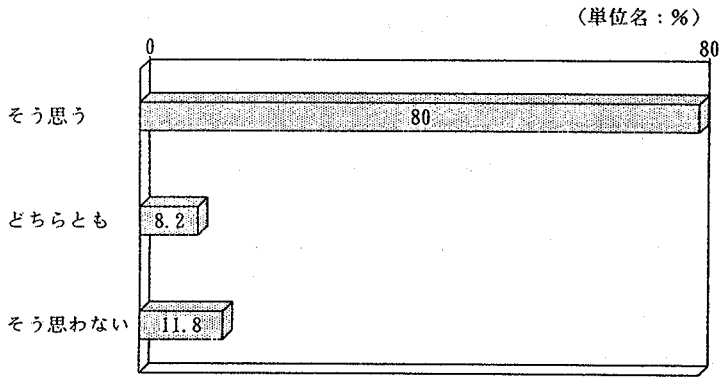


図37 昼の休憩時間が短いという意見

18 教養教育全般にわたっての学生の意見

最後に、「教養教育について、あなたが解決してもらいたいと考える問題点や、不満に思っている事、またこの点は教養教育のよい点であるということがありました」ということで、自由に書いてもらった。このような設問をすると、どうしても意見が不満な点に集中する傾向がみられるが、それをそのまま掲載した。筋違いな批判も少なくないが、私たち教官が耳を傾けるべき項目が数多く含まれているように思われる。

- ◎農学部生にはつらい。一年、二年前期にゆっくりしているとすぐ留年になる。でもそれなりに緊迫感があって良いかもしれない (農・1・女)
- ◎提示板を増やしてほしい (農・1・女)
- ◎90分間の授業がムダに感じる授業がある。それがイヤ。60分がいい (農・1・男)
- ◎英語の授業がつまらない。なくしても、将来において何らの障害も生じないであろうし、意味がない。すぐ、なくすべし (法・1・男)
- ◎何を書いても結局は通らないから、このままでいいです (経・2・男)
- ◎バランス重視はわかるが、内容が希薄すぎます。やる気のない教授はクビに。教える者としての姿勢を見せてほしい (経・3・男)
- ◎まんねり化した授業はイヤです (法・1・女)
- ◎良い点は授業の単位が取得しやすい。不満な点はうるさい、汚い、やる気がない (法・3・男)
- ◎フランス語が難しいよ (法・1・女)
- ◎取得する単位数をもっと少なくしろ！ (経・1・男)
- ◎やる気のなさそうなつまらない先生はなんとかしてほしい (声が小さい、自分の考えをおしつける)。ありすぎて困る人もいる。教授はどうやって決めているのだろうかと思う。頭が良いだけではダメではないかとよく疑問に思います (教・2・女)
- ◎三年生なので、よくわからない。大学のシステムの変化は著しい。新しい制度も大切だが、古い制度をもう一度見直しても、良いのではないかと (経・3・不明)

- ◎英語の授業があっても英語が話せるわけがない。英語はいらない(法・1・男)
- ◎もっと講義を増やせ(経・3・男)
- ◎抽選はやめてほしい(法・4・男)
- ◎単位の関係で、取りたくないが、取らざるをえない授業が数多く存在する(経・1・男)
- ◎ちゃんとマイクを使ってほしい(経・1・男)
- ◎とにかく数が少ないし、取りにくい(教・1・男)
- ◎興味があって選ぶ授業だから、抽選はまずいと思う。机と椅子がくっついているのは非常に使いにくい。席は決めたほうがいい(語学)(経・1・女)
- ◎もう少し学生の選択できる幅を広げてほしい。少しやりたいことと実際のものにズレを感じる(教・3・男)
- ◎スポーツ学や人間科学の分野も取り入れてください(法・3・男)
- ◎英語の授業が多すぎる。一年も二年もやること(内容)にたいした差がないのになぜ二年間もやるのか不思議。絶対1年次だけでいいと思う(経・2・女)
- ◎良い先生はとても良いです。でも授業内容が充実していない講義の方が多いと思います。優劣をつけるまでとはいませんが、できれば先生方も授業内容の改善を考えてもらいたいです(教・2・女)
- ◎経済学部は行なってくれているが(多少)、こちらでも履修上のアドバイスや、単位修得表の公開など希望者に行なしてほしい。あと、第二外国語の受講の仕方など9割方わからない(経・4・男)
- ◎専門と教養のテスト期間を重ねないで欲しい。専門がなぜ教養へ移行されたのですか？(例、線形代数→数学E)二年生でも英会話や英語Vをとらせて。秋休み下さい。たとえ三日間でもぼくは15日まで試験でした(経・2・男)
- ◎授業はよくできていたが、たまたま一回授業中にレポートがでて、たまたま欠席していたのでテストを受けても落ちた。バカヤロー(経・1・男)
- ◎抽選はやめてほしい(経・1・女)
- ◎主題A、B、Cシステムの改善(法・2・男)
- ◎単位が比較的でやすいので「◎」(農・1・男)
- ◎もっと自分が履修できる科目をもっと増やしてもらいたいです(経・1・男)
- ◎もっと学問のジャンルを増やす(農・4・男)
- ◎シラバス等で見た授業内容と実際の授業内容とがずれている時がある(経・1・男)
- ◎学生と教官と一緒に考えていけるような授業をつくろう！(経・1・男)
- ◎本当に取りたい授業を取りたい(法・1・男)
- ◎もう少し、実学志向の授業を増やしてほしい。概論があまりに多すぎる！(法・1・男)
- ◎好きな科目が勉強できていい(経・1・男)
- ◎授業が始まる前に、もっとどんどん内容がわかるようにしてほしいと思います(農・1・女)
- ◎農学は後期の授業が取りにくくなっている。3コマ以後取れる授業がないよ(農・1・男)
- ◎必要単位数を減らしてほしい(農・1・男)
- ◎教養教育が多すぎる(農・1・男)
- ◎自分が興味を持っているものを選択しようとしても、最初に抽選があって落とされたりするのは納得いかない。もっと充実した授業を増やしてほしい(教・1・女)
- ◎いろいろな分野があるので、自分の興味のある分野を選ぶことができるので満足している(教・1・女)
- ◎専門のおかげで、興味のある教養科目を取れないことが不満である(経・1・女)
- ◎農学部であるがゆえ後期の授業が取りにくいというより取れない。しかもシラバス等を見ると二年の前期のも取れない。農学部に出兵する回数が多い。金もかかるので授業料を減らせ。農学部生は損している。これはどういうことか。特に農学部生は大変なので共通科目などを四限から五限にもってきてもらおうとありがたい。(火・水以外の日に)後期火・水の二回の出兵は大変。だいたい一つの敷地内に大学がないからこういう問題が起こる。そんな大学を選んだ自分にも責任がある。そこんところはすぐ後悔している。とにかく農学部生も取りやすいように時間割を作成してもらいたい(農・1・男)
- ◎専門科目との組合せを考えてほしい(経・1・男)
- ◎講師が好き勝手に、あまりに専門的で教養教育とは思えない授業をするので徹底するべきである(経・1・男)
- ◎エアコンをつけて単位を取りやすくしてほしい(経・1・男)
- ◎登録するときにあまりがあるのに落とされたりすることが多いのでやめてほしい。また教養教育は受け付けの人の態度が悪くて、いろいろききにくいのも不便だ(教・1・女)

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

95

- ◎農学部生でも取りやすい日に授業を行なってほしい（不明）
- ◎可否の発表をはやく、内密に（手紙通知など）して欲しい（教・１・男）
- ◎テストを夏休み前にしてほしい（法・１・男）
- ◎これからの時代ではパソコンが絶対必要なので、一年か二年で全員が使えるようになるよう授業を必修として取り入れたらどうかと思う（教・１・女）
- ◎キャンパスをもっと広くしてほしい（農・１・男）
- ◎落ちないようにしてほしい。出席やレポートだけで試験はなし（経・１・男）
- ◎受講調整によって、自分が受けたい授業が受講できなくなるのは絶対に良くないと思う（法・１・男）
- ◎もっといろんな講義を取れるようにしてほしい（教・１・女）
- ◎スポーツの集中授業は全学部の生徒が取れるようにしてほしい。柔剣道、合気道など取り入れてほしい（経・２・男）
- ◎関係ないかもしれませんが学生課に一部態度の悪い人がいます（法・３・男）
- ◎単位くれ（経・３・男）
- ◎もう少し専門的にしてほしい（教・１・男）
- ◎今までも書いたが、外国語のことがいちばん大事。これもとるとらないは選択にすべきだ。おもしろくないのをやってもしょうがない。したくない人はしない方がいい（教・２・男）
- ◎もっと情報科学系の授業を増やしてほしい（教・２・男）
- ◎前にも書いているが大学で教養教育をする必要はあまりないと思う。高校で十分一般知識は得られるはずだし、興味のある分野は、その専門機関へ行き学ぶ方がより身につくと思う（経・３・男）
- ◎とりたい授業をとらせてほしい（経・３・男）
- ◎とくに外国語において、授業割り当ての段階で学生の間かなりの差（可否の決定）ができ、楽な生徒と苦しい生徒の生活が全然違ってくる（教・２・男）
- ◎いろいろなことを知ることができるので、いろんな科目があるのはいいと思う（経・３・男）
- ◎昼休みは60～50分ぐらいないと、生協で食べることができないうえに余計にお金がかかる。にもかかわらず、教授は10分遅れてくる。絶対に昼休みは50分あるべきだ（法・１・女）
- ◎教室の掃除をきちんとしてほしい。初めとテストの時だけの人数に重点をおいたかのような抽選制は改善すべきであると思う（法・１・女）
- ◎教養教育の共通科目や主題科目を月曜の5限や、水曜の4限などに設定すべきだと思います（経・１・男）
- ◎専門的な学問を学ぶために大学にきた学生にとっては、教養教育は必要を感じないものだと思う。だからこそ、卒業のための障害となるものではなく、興味をそそるものにしてほしい（経・１・男）
- ◎初めての授業の時に、すぐ終わることが納得できない（経・１・男）
- ◎抽選で授業を受けられる人が決められると、運がいい人は全部受けられるが運の悪い人は全部はずれてしまうこともあるので公平でないと思う。主題科目と共通科目の時間が同じなのでずらしてほしい。専門になったらやれない科目が受けられるところはいいと思う（農・１・女）
- ◎教科書の価格が高いと思う。プリントにしてほしい（経・３・男）
- ◎やりたくない科目を仕方なくとらなければいけないことがあるので、もっと教養教育の授業科目を増設してほしい。外国語の先生を自由に選べるようにしてほしい（法・１・女）
- ◎とにかく抽選の制度について、もう少し考えてほしい（法・２・男）
- ◎教養教育全般において、もっと興味をもてるようにしてほしい（経・１・男）
- ◎受講したくても、抽選による人数調整があるので、本当にとりたい授業はとらせてほしい（経・３・男）
- ◎マイクの設備と照明の設備をもう少し考えてください。大教室は大教室なりの配慮を！（経・１・女）
- ◎英語がきつい。他の授業にさしつかえるほど大変な先生もいる（農・１・女）
- ◎テスト後のテスト休みをとっている大学があると聞いていますが、この学校は実施されてないのでしょうか。また、前期テストは夏休み前の方がうれしいです（法・１・男）
- ◎自分の興味のある授業をとれるようにしてほしい（教・１・女）
- ◎専門をとると教養科目がどうしても限られるので、もう少し時間割りを考えてほしい（経・１・男）
- ◎授業数をもっと増やしてほしい（法・１・男）
- ◎香川大学生はやる気がないというか、目が死んでいるのではないか。（岡山大や愛媛大に受からなかったから、しょうがなくここに来たという者が多いし）教官のなかにも香大を馬鹿にしている者がいる。（香大はしょせんダメだという教官がいた）もう少し誇りをもつべきである（法・１・男）

- ◎無意味。人間的にかたよっても、興味のあることだけを学べば良いと思う（経・2・男）
- ◎自分が本当に受講したいと思っている教科は人数が多くても受講させてほしい（教・1・女）
- ◎学生で混雑したり、講義が延びたり、また教室間の移動距離が長くなることもあるので、間の休み時間をもう少し長めにしてほしい（経・1・男）
- ◎声が聞こえないことが多いと思います（経・1・男）
- ◎科目数を増やしてほしい（経・1・男）
- ◎健康・スポーツ科目を教育学部だけに限定しないで欲しい（経・1・女）
- ◎いろいろと都合があるとは思いますが、人気がある科目の時数を増やすなどして、「自由」にかつ「必ず受講できる」ようにしてほしい（教・1・男）
- ◎主題をABCとわけずに、自由にとらせてほしい（経・1・男）
- ◎先生にあたりとはずれがあるように思う。何を言っているのかさっぱりわからないような人はやめさせてほしい（教・1・女）
- ◎とにかく外国語のクラス指定だけはやめてほしい（経・1・男）
- ◎もっと内容についての詳しい情報が欲しいです（経・1・男）
- ◎とりあえず教官も生徒も遅刻をなくそう（経・1・男）
- ◎興味のある科目が選択できない場合が多い。専門科目とのバランスが非常に悪い。内容的に数学など受験レベルを越えたものもあるかと思われる（経・1・男）
- ◎もっとマイクを利用して後まで聞こえるようにしてほしい（農・1・女）
- ◎設備。勉強できる環境をつくってほしい（教・4・男）
- ◎2コマと3コマの間の休憩時間増やしてほしい。せめて50分に（法・1・男）
- ◎このアンケートによって何が変わるのか、それを示さなければ無駄（経・2・男）
- ◎興味の無い授業はとりたくない（経・1・男）
- ◎希望したものがとれるようにしてほしい。くじ運が悪い私にとって、よく落ちてしまう（経・1・女）
- ◎興味のある授業がとれるように、農学部キャンパスで授業のある火・水などの授業を2年前期にはとれる曜日にしてもらえるようにしてほしい（農・1・男）
- ◎テーマがおもしろいものが多いので良いが、やはり人気の高いところに人が集まり、受ける側がぎゅうぎゅうづめで授業を受けるのは苦しいし、私語がふえて困る（教・1・女）
- ◎単位のとり方を修学案内に詳しく載せてほしい。“上限”とかの意味がよくわからない（教・1・女）
- ◎現在、大学での単位取得については、「124単位以上とれば卒業できる」としか決められておらず、本当なら教養科目と専門を分けることなどしなくてもよいと思う。しかし、急には無理であろうから、教養教育のなかで、主題とか共通とかというふうに分けるのではなく、何をとってもよいというふうにしてほしい。そうすれば、我々がより興味のある科目をとることができると思う。今の状態では、単位のために興味もない授業をしぶしぶ受けているということが多い（経・1・男）
- ◎単位がとりやすいのでとても楽である（経・1・男）
- ◎学生による授業評価の実施をぜひ！（農・1・男）
- ◎1限の開始時刻を電車の時間を考慮して少し遅くして欲しい（経・1・男）
- ◎卒業認定単位数をもう少し減らしてほしい。専門の授業をもっと受けたかった（農・2・女）
- ◎教養教育は、最低単位数だけを提示し、あとは学生の意志に委ねるのがベストだと思う。これでは興味を引かれる授業の半分も受講できない。カリキュラムの自由度が最低だ（経・1・男）
- ◎単位をもっと下さい（経・1・男）
- ◎いろいろな分野のことが勉強できるところがよいと思う（教・1・女）
- ◎教養教育の単位数をもっと減らしてほしい。語学も厳しいと思う。主題のシステムは直したほうが良いと思う。語学ももっと実用性のあるものにしたほうがおもしろいです。高校の時と変わらない気がします（経・2・女）
- ◎本当に興味のある分野を学べるようにしてほしい。抽選で落とされたり、同じ分野は2つまでと制限されたりしたら、とりたくてもとれない。専門もあるし、時間も限られているので、もっと効率よくなれないかと思う。興味もなにもない授業をとらざるをえなくなって、単位のためだけに勉強するのはとてもむなしい（教・2・女）
- ◎2年の英語の履修方法を改善したほうがよいと思う。単位をもらいやすい外国人の先生や、他の日本人の先生に生徒が集中して抽選したり、早い者順だったり不公平な場合がある。それならば最初から決めてくれていた方がまだ公平だと思う（教・2・女）

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

97

- ◎専門科目だけでなく、幅広くいろいろなことが学べるので大変よいと思います。英語（２年）で、自分で履修していくので抽選があったら、好きなクラスに入りにくいのがイヤです（経・２・女）
- ◎教室が広いのにマイクを使ってもくれない先生の授業はほとんどわからなくて困る。学生と一緒に受けるので、友達が他学部にもできたりするのはいい（教・２・女）
- ◎より幅広い分野の科目をもっと少人数で学べるようにしてほしい（経・２・女）
- ◎専門の授業と重なって、同じ系のものしか選べないのでもっとバラエティーに富んだ内容にしてほしい（教・２・女）
- ◎抽選はやめてほしい。単位数を少なくしてほしい。授業内容はよい（経・２・女）
- ◎高校から大学へ入ったとき、教養教育は全く無駄で専門ばかりすればよいのと思っていたが、実際その教養教育を受けてみると専門を受けるときにあの授業をとっておいでよかったと感じられる授業があったので、それが教養教育のよい点だと思う（教・２・女）
- ◎いろいろな授業が開講されているので、選択に幅があっていいと思います（教・２・女）
- ◎アンケートをとるならきちんと改善してほしい（教・２・女）
- ◎おもしろくない授業しかないやつは追い出してみえ（経・２・男）
- ◎３年次以降の第２外国語がとりにくいところ（教・２・女）
- ◎教養教育だけではないが、自分がとりたいと思う授業が思うようにとれないところをどうにかしてほしい（教・２・女）
- ◎脳のメカニズムを知りたい（経・１・男）
- ◎授業をしている教師からの熱意が伝わってこない（経・２・男）
- ◎広く知識が得られるところ（経・１・男）
- ◎シラバスにうそ書いてあったよ（経・１・男）
- ◎やりたいことをするまでに単位単位でそこまでいくのに大変。（英語が苦手で物理を専門にしたいけどもずっと英語を引かずとそっちにいけない）（教・３・男）
- ◎とりたい授業がとれるようにしてもらいたい（教・１・男）
- ◎教養教育のよい点は単位がとりやすいこと。悪い点は受講調整がイヤ（経・２・男）
- ◎教養教育自体についてはとくに何とも思わないが、これから社会でパソコンなどを使う機会がふえると思うので、基本的な使い方などがもっと多くの人が学べるようにしてほしい。また電子メールなども学校から送れるように一人一人にアドレスを与えてほしい。（友達の通う学校では入学時に個人にアドレスが与えられ、学校のパソコンを自由に使えます。）（教・２・女）
- ◎科目が減っているし、専門と重なってくるので単位を落としたらさらに単位がとりにくくなってくるのが不安（経・３・男）
- ◎法学Bの古谷先生の授業は今までのなかでいちばんよかった。熱意があり、興味をそその授業をする先生が少ないなかでとても貴重だと思う。研究会などを開いてみたらどうでしょうか（経・３・男）
- ◎単位の認定が厳しい授業が多いため、人気がかたより抽選が多くなっている（経・３・男）
- ◎もっと生徒が興味関心の持てる授業を行なってほしい。教官は生徒により理解しやすいような授業行なってほしい。授業全体を通して教官は満足しているように見えるが生徒の方は満足している人がどれくらいいるだろうかと疑問に思う（経・１・女）
- ◎まずは冷房、抽選が多い原因（あまりにも難しい授業が多い）などの改善が必要（経・２・男）
- ◎受講届の時に講義がないところ（経・１・男）
- ◎数学や化学、物理などの共通科目は高校の授業と難易度があまり変わらないので、いまいち授業に積極的にしようとは思わない（農・２・男）
- ◎単位の出し方を統一してほしい。椅子・机一体型をやめてセパレート式にしてほしい。一般常識を身につけることができよう（経・１・男）
- ◎大学に入学したらいろいろなことを勉強したいと思って、授業にも積極的に参加した。しかし、先生方が話されることは余り関心のあることではなく、しかもつまらないので勉強しようという気も薄れてしまった。先生に求めすぎかもしれないけれど、生徒の関心のある分野を広げることを手助けしてくれる授業は必要ではないでしょうか（法・１・女）
- ◎興味の無いのに卒業のためにとらなければならない授業をどうにかしてほしい（教・１・女）
- ◎もっと専門の授業をしたい。全然意味のない授業が多すぎる（教・１・女）
- ◎もっと興味のあるやつにしてほしい。とりたい授業が重なって、どちらかにしぼらなければならないし、逆にとりたく

- ないのばかりがあるときも困る（教・1・女）
- ◎授業内容について興味のあるものが少なすぎる。あまりに乏しいので、みんな頑張ろう。板書をしよう。字が雑だし、いろんなところにちょこちょこ書くので、わからんぞ（教・1・女）
- ◎主題は選択権が余りないので、とりにくい。健・スポをもっと増やしてほしい。私は抽選でほとんど全部はずれたので、数が多い場合は別の先生で二つに分けるなどしてでも開講してほしい（農・1・女）
- ◎興味のある授業が少なく、それも抽選とかでとれないことがあるのでいけない（経・1・男）
- ◎だいぶバラエティーに富んでいると思うが、まだまだかたい授業が多いので、もっと身近なものをテーマにしてもよいと思います（教・1・男）
- ◎より学びたい科目を選択できるのだから、あとはやる気があるかどうかだけだと思う。大学生のほとんどはやる気がないから、どうしようもないかもしれないが、やる気のある先生の授業だと出席率もあがると思う（経・1・男）
- ◎大学にきて本当に勉強しているとは思えない。もっと興味のもてるものにしてほしい。高いお金を出して大学にきてる意味がない（教・1・女）
- ◎自分が興味を持ったものを勉強したいのに、抽選などをするのはおかしいと思う。他のテーマとレベルをあわせて、みんなが分散するようにすればよい（教・1・女）
- ◎声が小さい人が非常に多い。字をきれいにしてほしい。研究への意欲だけを感じる人がいる（経・1・男）
- ◎教科書がどれも途中で終わりもったいない。単位のとりにくい、とりやすいの差がありすぎる。先生が自分の研究ばかり、自分思うことしか話さず、非常にわかりにくい（法・1・女）
- ◎専門があるから、とりたい教養教育がとれない（農・1・女）
- ◎教養教育はいらない（経・1・男）
- ◎情報管理学科は専門授業と教養授業が重なっていて、教養授業がとれない（経・1・女）
- ◎違う学部の人とも知り合える（教・1・女）
- ◎教官の話を生徒主体にしてほしい（経・1・男）
- ◎教養教育の勉強はいったいどの勉強とつながっているのか、何の意味をなしているのかわからない。それに、単位の出し方がレポートだけとか、持ち込み可の先生もいれば、専門と同じぐらい勉強しても受からない先生もいる。頑張っている人が落ちて、何もせずに合格する人がいるのは納得いかない。興味をもてる授業が少なく、そのような授業は曜日が重なっているのでとれない。もっと単位にしばられないような勉強がしてみたい。共通で同じ教科で二つ以上とれないとかはイヤ（経・1・女）
- ◎先生によって授業がおもしろいかおもしろくないかは決まると思う。余り魅力のある先生がいないので、残念だ（農・1・女）
- ◎もっと役に立つ授業して欲しいです（教・1・女）
- ◎農学部の人には受けにくく感じる部分もある（経・1・男）
- ◎授業内容評価とともに適当なところがあるように思える。教養教育を余り重視していないのだろうか（教・1・不明）
- ◎人数が多いと抽選で決定するため、自分がやりたいことを学べない。もっと個人を尊重するべきだと思う。各人が何のために大学にきているかをもっと考えるべきだ。つまらないことはやめてほしい（教・1・女）
- ◎農学部のことをもう少し考慮してもらいたい。たとえば、農学部生は主題を2年前期までにとれなければそれ以後にとるのは困難になるからだ（それまでにとれというのなら、それはしょうがないが）教師が農学へ移動すべき！。利点として、その方が生徒が移動するより少なくてよい（農・1・男）
- ◎本当に、学生の意見が反映されているのかと思う。こういうアンケートをとるのなら、学生の意見をもっと聞き入れて改善してほしい。なぜなら高校まで、義務的な授業ばかりで大学に入ってからでもそういう授業だったから、今の消極的な日本人が生まれるわけで、個性を生かすためにはそれなりの自由が必要だと思うからせめて大学では学生たちの意見を反映してほしい（農・1・男）
- ◎ただ単位をそろえるためだけというような感じが強すぎる。それは学生の授業に対する姿勢にも問題があるのは確かだが、本当に熱意を感じる先生が少ないのも事実だと思う（教・2・女）
- ◎同一時間にとりたいものが二つも三つも重なっていることがよくあるので、できるだけどれでも自分がとりたいものをとれるようにしてほしい（経・1・男）
- ◎全く未知の分野にふれられてとってもいいと思う（教・1・女）
- ◎建物の改装（経・1・男）
- ◎授業をもっと組みやすくしてほしい（農・1・男）
- ◎教養教育に使う教育設備（法・1・男）

香川大学における教養教育の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

99

- ◎絶対の不満は試験日が夏休み後ということ。他大学と同様に7～8月中に（法・3・男）
- ◎実用性を欠いている授業が多すぎる（経・2・男）
- ◎単位をとりやすくしてほしい。外国語の授業など必要ないと思う（経・1・男）
- ◎選択の自由を求めたい（農・1・男）
- ◎もう少し、テレビの歴史、野球の歴史とかユニークな講座があってもよいと思う（農・1・男）
- ◎希望の科目が専門でなくても勉強できるのですごくいいと思う。いろんな方面に知識や興味が広がるのもっと充実させてほしい（法・1・女）
- ◎形式だけの教養教育ならやめたほうがよい。海外留学制度があったほうがよい。アンケートをとって変えられるのなら早く変えて実行力を学生に示すべきだ（法・1・男）
- ◎社会にでて役に立つ知識を身に付けられ、また考えられる力を身に付けられるような授業を増やしてほしい（法・2・女）
- ◎とりたい授業が重なっている場合が多いので、選択に苦労した（法・1・女）
- ◎テーマが面白そうだと思って受けてみても、実際は内容が専門的で高尚すぎてわからない授業が多かった。もっと、現実に密着した、私たちに興味をえもたせるような授業をしてほしい（法・1・女）
- ◎専門の授業ばかりでなく教養教育を取り入れて幅広く学べるのは、いいことだと思う。だけど、外国語はやりたい人がやるといった形でやってほしいと思う。外国語だけ必修なのは、おかしいと思う（経・1・女）
- ◎決して専門科目が扱う内容のみ興味があるわけではないので、教養教育についても充実させてほしいところはたくさんある。授業履修の手引きをもっとわかりよいものにしてもらいたい。理解しにくすぎる。あとシラバスにきちっとした目次をつくるべき。講義時間長すぎ（教・2・男）
- ◎自分は英語は好きだけどどうも授業にはついていけない。しかも、それが必修なのは少しいやだ。できれば今の卒業に必要な単位数を少なくしてほしい（経・1・男）
- ◎不満についていえば、教室の環境で古いので汚い気がする。夏は窓を開けるだけでは暑くて集中できない。まだ冬はわからないがさむいのでは？（法・1・男）
- ◎履修したいと思っている授業に抽選で落ちてしまったので、次の年にいったらまた落ちたことがあった。抽選をするなら学年の上のものを優先して履修させてほしい（法・3・男）
- ◎共通科目が少なすぎる。全く開講されていない授業がある（経・3・男）
- ◎授業に毎週いっていた人が試験に落ち、余り来ずに受かる人がいるが、もう少し授業に熱心に取り組んだところも評価の対象にしてほしい（法・1・男）
- ◎少人数制で、教授と一人一人の生徒がコミュニケーションをもてる環境がいいと思う。授業内容も教授が自分の専門にとらわれず、学生のニーズに応じていくようにしてってもらいたい。教授は人間としての魅力にあふれた人であってほしい（教・3・女）
- ◎教師によって単位修得の難度が不平等すぎるので、運が悪いと留年もありえる（経・2・男）
- ◎昼休みは最低一時間欲しい（法・1・女）
- ◎パソコンの使い方の授業をやってほしい（教・1・女）
- ◎共通科目の種類をもっと多く細分化して、もっと専門的にしてほしい。そのために講師をもっと多くして受講できる学生数を20から30人程度にしてもっと講師と学生の距離を短くしてほしい（法・1・男）
- ◎学ぶことの自由を保証するために一切の抽選は廃止されるべきであると思う。音響はしっかりしてほしい（法・1・男）
- ◎専門との時間割りの都合で授業がとりにくいのが不満。教務係の人が冷たいので淋しい（経・1・女）
- ◎教養教育の単位が一年でとれるような時間割りを組めるようにしてほしい（経・1・女）
- ◎教養教育は必要ないので専門科目にしてほしい（経・1・男）
- ◎教養教育のよいところは楽しんでできる場所である（教・1・女）
- ◎主題に関して主題ごとの選択しかできないのは不満である（経・1・男）
- ◎よりよい講義を追いかめつけ、学生をひきつけてほしい（経・1・男）
- ◎2コマと3コマめの休み時間は短いと感じることもあるが、1コマがあって、2コマが休講で3コマ授業という人（自宅生）にとっては長すぎるとさえ感じる。今のままでよい（法・1・女）
- ◎教養教育は卒業単位を早くそろえようと単位のとりやすい授業をとりがちなので、もっと単位数を少なくして、時間的に余裕をつくり興味のある授業を単位に関係なくとれるようにしてほしい。学生の数が多いせいか一律に管理しようとしすぎる（法・1・女）

- ◎掲示板が見にくい。時期の過ぎた情報はすぐにはずして欲しい。できればパソコンを使用した情報の引き出しをしてほしい。パソコンを利用したほうが必要な情報だけが見れるから（教・１・男）
- ◎主題中心の教養教育よりも共通中心の方がよい。自然科学系の主題の数が少ないのでは（経・２・男）
- ◎教養教育の科目数をもっと増やし、授業をもっとバラエティーに富んだものを増やしてほしい。もう少し少人数でやり、授業をもっと充実したものにすべき。教師によってレベルや単位認定の基準が大きく異なるので基準をある程度定めてほしい（教・１・女）
- ◎人数のせいで受講できないというのは個人の興味を完全に無視しているように思う（教・１・女）
- ◎教養教育は一般に単位がとりやすくてよいです（教・１・女）
- ◎授業と授業の間の休み時間10分は短い。専門と教養を移動するにしても授業が延びて遅れそうになったことがあるのでせめてあと5分延長してほしい（法・１・女）
- ◎2校時と3校時の間の休みを一時間とってほしい（法・１・女）
- ◎とりたいと思う、教養教育の授業をとれるようにしてほしい（教・１・女）
- ◎とにかく英語が面白くないのもっと授業内容を工夫してほしいと思う（経・１・女）
- ◎自分が興味のある授業を受けても期待はずれなことが多い。それで単位がとりやすい授業が多い。単位がとりにくいならとりにくいでもいいから、もっと興味深い授業をしてほしい。自分の学部以外の興味のあることが学べるのはよい（法・１・女）
- ◎変に単位取得を難しくしている先生がいるが、これはまちがっていると思う。たしかに香川大の学生は授業をさぼりたがる傾向があるが、それに対抗している妙な先生もいる（経・１・男）
- ◎教養もある程度必要だが、今のままでは専門に対して負担がかかるので減らしてほしい（経・１・男）
- ◎出席すれば単位がでるような授業はダメである。試験でいいやつから単位を与えるべきである。はっきり言って出席は全く関係ないと思う（農・１・男）
- ◎総合的によいと思う（法・１・男）
- ◎全面的な校舎の改造（経・１・男）
- ◎抽選もれして、どうでもいい、興味が全くない授業を受けなくてはならなくなるのは心外だ。これもすべて単位のためだと思ふとむなしい（経・１・女）
- ◎抽選はできるだけ行なわないで欲しい。教室が大きいところはぜひ先生にマイクを使ってほしい（教・１・女）
- ◎農学部ではとりにくい（農・１・男）
- ◎もっとテレビなどを使ってもらいたい（法・１・女）
- ◎抽選が多くてとりたい授業がとれない（農・１・女）
- ◎抽選が多く希望した授業がとれないのは困る（農・１・女）
- ◎その授業が自分の希望するものか確かめる時間が欲しい（農・１・男）
- ◎法学部に自治会をつくれ。サークルに講堂を使わせろ。バイクの盗難を取り締まってくれ（とくに夜中）。教務の人もっとにこやかに。休み中にも教室を使わせろ（法・２・男）
- ◎大学で専門ばかり教えると幅が狭い視野しかもてなくなる。教養教育はそんなときによい。できたら英語しかとらない人のためにその時間にも共通の時間を入れてほしい（教・１・男）
- ◎専門の授業と重なるのが不満。授業数を増やしたいので時間をずらしてほしい（法・１・男）

おわりに

学生たちの自由記述にもあったように、このようなアンケート調査を実施したら、それを報告書としてまとめて終わりではない。この結果を、教養教育の一層の改革に役立てていかなければならない。もちろん、学生たちの言い分をすべて真に受ける必要もないし、手前勝手な意見も多い。今回の調査では、1992年に実施された「一般教育」に関する調査と比較して、どの程度改善されたのか、また、新しい「教養教育」が学生たちにどのように受け入れられているのか、そのことの調査を主眼に置いた。その結果、教養教育の単位数が減少したことも大きいと思われるが（学生にとっては大きな負担の軽減となったことは間違いない）、学生たちの不満はかなり減少

している。しかし、主題科目などではかえって受講人数が従来よりも増加する傾向もあり、多人数教育であるという批判は以前より高まっている。また、抽選による受講調整、学生に不都合な時間割の設定、講義に対する教官側の意識など、従来からの課題はそのまま、ある意味では改善されることなく継続している部分もある。

今回の調査で明らかになった問題点は、強力なリーダーシップで改善していかなければならない。昼の休憩時間、学年暦の見直しなどは、全学的に大きな課題である。学生のニーズを示しただけでは、事態は動かない。また、このアンケート調査の結果をもとに、シンポジウムを開催し、問題点の再確認と事態の打開に向けて改善案を模索するというのも一つの方法であろう。「教養教育実施委員会」及び、各部会は、この調査報告を読み、学生のニーズに答える形でより一層の改革をしていってほしい。このアンケート調査の結果が有効に利用されるよう望んでいる。

最後になったが、アンケート調査に協力してくれた学生諸君に感謝したい。

調査表と集計表

問 1 はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

A. 所属学部

教育学部	法学部	経済学部	農学部	不 明	全 体
334 26.5	215 17.1	517 41.1	191 15.2	2 0.2	1259

B. 学年

1 年	2 年	3 年	4 年	その他	不 明	全 体
992 78.8	147 11.7	82 6.5	31 2.5	5 0.4	2 0.2	1259

C. 性別

男 性	女 性	不 明	全 体
728 57.8	526 41.8	5 0.4	1259

問 2 あなたは現在、大学に何を期待していますか。もっとも強いものを1つだけ選んでください。

1. 学問に対するとりくみ方を身につけたい

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
6 1.8	7 3.3	17 3.3	2 1.0	32 2.5

2. 専門的な基礎知識を身につけたい

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
94 28.1	62 28.8	80 15.5	67 35.1	303 24.1

3. 将来、社会人になったとき、すぐに役立つ知識、技術、技能等を学びたい

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
98 29.3	42 19.5	149 28.8	45 23.6	334 26.5

4. 自分の一般的な能力を向上させるためにも、広く教養を身につけたい

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
83 24.9	49 22.8	93 18.0	28 14.7	253 20.1

5. サークル活動などを通じて楽しい学生生活を送りたい

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
29 8.7	32 14.9	107 20.7	32 16.8	200 15.9

6. その他（具体的に

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
9 2.7	2 0.9	8 1.5	4 2.1	23 1.8

7. 期待することはとくにない

教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
14 4.2	20 9.3	61 11.8	12 6.3	107 8.5

問 3 今年度前期(平成8年度前期)のあなたの授業履修(登録)および、出席状況、授業に対する興味・関心、満足度についておたずねします。次の表の各欄にあてはまる授業科目数を数字で記入してください。受講していない場合は「0」と記入してください。

なお、初修外国語とは、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語を指します。

	主題 科目	教養 ゼミ	共通 科目	英語	初修 外国語	健康・ スポーツ 科目	専門 教育 科目	総数 (計)
比較的によく出席した授業科目数	68.4	91.8	70.9	94.1	92.5	93.9	79.4	78.5
興味・関心をもって出席した授業科目数	36.2	62.3	43.0	39.8	49.4	79.1	47.4	42.5
受講して満足できた授業科目数	34.4	61.3	39.0	40.3	45.6	76.6	42.1	40.1

(調査票では、この他に「今年度前期の1週間の履修登録授業科目数」の記入欄を設けた)

問 4 教養教育の授業についておたずねします。教養教育の授業を受けていて、あなたは以下のように思いますか、そうは思いませんか。それぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。

1. 自分のカリキュラム選択に自由度が少なく、学びたい授業を選択することが難しい

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
大いにそう思う	71	21.3	70	32.6	150	29.0	67	35.1	358	28.4
そう思う	142	42.5	68	31.6	167	32.3	73	38.2	450	35.7
どちらともいえない	72	21.6	40	18.6	104	20.1	30	15.7	246	19.5
そう思わない	42	12.6	34	15.8	83	16.1	19	9.9	178	14.1
全くそう思わない	6	1.8	2	0.9	11	2.1	2	1.0	21	1.7

2. 受講生が多いため、身につけたい学習ができない

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
大いにそう思う	49	14.7	43	20.0	124	24.0	46	24.1	262	20.8
そう思う	104	31.1	55	25.6	164	31.7	47	24.6	370	29.4
どちらともいえない	98	29.3	64	29.8	122	23.6	56	29.3	340	27.0
そう思わない	65	19.5	44	20.5	89	17.2	35	18.3	233	18.5
全くそう思わない	17	5.1	8	3.7	16	3.1	7	3.7	48	3.8

3. 教師との人間的な触れ合いのあるゼミナールや合宿授業をもっと多く開講してほしい

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
大いにそう思う	37	11.1	40	18.6	71	13.7	25	13.1	173	13.7
そう思う	62	18.6	50	23.3	116	22.4	39	20.4	267	21.2
どちらともいえない	135	40.4	77	35.8	180	34.8	80	41.9	472	37.5
そう思わない	69	20.7	30	14.0	89	17.2	28	14.7	216	17.2
全くそう思わない	30	9.0	17	7.9	60	11.6	19	9.9	126	10.0

4. 単位の出やすい授業と出にくい授業の差が、教師によってありすぎる

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
大いにそう思う	146 43.7	108 50.2	266 51.5	67 35.1	587 46.6
そう思う	109 32.6	57 26.5	148 28.6	57 29.8	371 29.5
どちらともいえない	62 18.6	38 17.7	77 14.9	47 24.6	224 17.8
そう思わない	13 3.9	10 4.7	18 3.5	19 9.9	60 4.8
全くそう思わない	3 0.9	1 0.5	7 1.4	1 0.5	12 1.0

5. 多くの授業で抽選が行われ、本当に受講したい授業が受けにくくなっている

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
大いにそう思う	142 42.5	83 38.6	229 44.3	83 43.5	537 42.7
そう思う	122 36.5	53 24.7	159 30.8	71 37.2	405 32.2
どちらともいえない	47 14.1	44 20.5	76 14.7	24 12.6	191 15.2
そう思わない	19 5.7	27 12.6	40 7.7	12 6.3	98 7.8
全くそう思わない	3 0.9	7 3.3	12 2.3	1 0.5	23 1.8

問 5 教養教育の授業についておたずねします。教養教育の授業を受講して、あなたは次にあげるような授業が多いと思いますか、少ないと思いますか。教養教育の授業に対する全般的評価であてはまるものを1つ選んでください。

1. うまく授業のテーマが選択されている授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	3 0.9	4 1.9	8 1.5	3 1.6	18 1.4
多い	50 15.0	40 18.6	117 22.6	42 22.0	249 19.8
どちらともいえない	223 66.8	130 60.5	294 56.9	111 58.1	758 60.2
少ない	50 15.0	33 15.3	77 14.9	30 15.7	190 15.1
ほとんどない	6 1.8	7 3.3	19 3.7	5 2.6	37 2.9

2. 自分の人間性を豊かにするのに役立つ授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	1 0.3	1 0.5	6 1.2	2 1.0	10 0.8
多い	43 12.9	34 15.8	74 14.3	23 12.0	174 13.8
どちらともいえない	156 46.7	96 44.7	242 46.8	98 51.3	592 47.0
少ない	107 32.0	57 26.5	144 27.9	47 24.6	355 28.2
ほとんどない	26 7.8	26 12.1	49 9.5	21 11.0	122 9.7

3. 内容は高度であるが、自分の学問的関心と合致した興味深い授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	0 0.0	1 0.5	10 1.9	2 1.0	13 1.0
多い	32 9.6	26 12.1	56 10.8	21 11.0	135 10.7
どちらともいえない	136 40.7	83 38.6	202 39.1	75 39.3	496 39.4
少ない	134 40.1	81 37.7	193 37.3	69 36.1	477 37.9
ほとんどない	29 8.7	23 10.7	51 9.9	24 12.6	127 10.1

香川大学における教養教育改革の評価と課題
—学生へのアンケート調査から—

105

4. 教師の研究態度や授業の教えかたに熱意が感じられ、学問に対する探求のあり方に共感を覚えた授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	2 0.6	4 1.9	15 2.9	3 1.6	24 1.9
多い	45 13.5	29 13.5	67 13.0	23 12.0	164 13.0
どちらともいえない	145 43.4	89 41.4	216 41.8	82 42.9	532 42.3
少ない	104 31.1	67 31.2	170 32.9	63 33.0	404 32.1
ほとんどない	37 11.1	24 11.2	46 8.9	20 10.5	127 10.1

5. 話術がたくみで、学生の興味をそらさない授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	2 0.6	1 0.5	13 2.5	7 3.7	23 1.8
多い	27 8.1	19 8.8	31 6.0	10 5.2	87 6.9
どちらともいえない	101 30.2	66 30.7	139 26.9	58 30.4	364 28.9
少ない	160 47.9	85 39.5	222 42.9	90 47.1	557 44.2
ほとんどない	43 12.9	43 20.0	110 21.3	26 13.6	222 17.6

6. プリントや視覚教材などを用意してあり、学生を引きつける工夫をした授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	1 0.3	0 0.0	9 1.7	4 2.1	14 1.1
多い	54 16.2	35 16.3	85 16.4	32 16.8	206 16.4
どちらともいえない	130 38.9	72 33.5	197 38.1	76 39.8	475 37.7
少ない	127 38.0	77 35.8	161 31.1	67 35.1	432 34.3
ほとんどない	21 6.3	29 13.5	63 12.2	12 6.3	125 9.9

7. 質問を聞くための手段が講じてあり、学生の疑問を反映する授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	0 0.0	1 0.5	6 1.2	1 0.5	8 0.6
多い	11 3.3	7 3.3	52 10.1	6 3.1	76 6.0
どちらともいえない	105 31.4	59 27.4	167 32.3	71 37.2	402 31.9
少ない	150 44.9	95 44.2	201 38.9	69 36.1	515 40.9
ほとんどない	67 20.1	52 24.2	88 17.0	44 23.0	251 19.9

8. テーマが高度すぎて、教養教育の段階の学生にはついていけない授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	11 3.3	7 3.3	44 8.5	10 5.2	72 5.7
多い	78 23.4	49 22.8	106 20.5	35 18.3	268 21.3
どちらともいえない	165 49.4	82 38.1	225 43.5	76 39.8	548 43.5
少ない	58 17.4	52 24.2	109 21.1	49 25.7	268 21.3
ほとんどない	20 6.0	24 11.2	31 6.0	21 11.0	96 7.6

9. 内容が高校で学んだことばかりなので新鮮味に乏しい授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	1 0.3	3 1.4	18 3.5	6 3.1	28 2.2
多い	27 8.1	13 6.0	51 9.9	25 13.1	116 9.2
どちらともいえない	108 32.3	89 41.4	204 39.5	72 37.7	473 37.6
少ない	141 42.2	72 33.5	180 34.8	65 34.0	458 36.4
ほとんどない	55 16.5	36 16.7	62 12.0	22 11.5	175 13.9

10. 学生の関心を全く考慮しない教師の都合で選ばれたテーマの授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	39 11.7	25 11.6	65 12.6	21 11.0	150 11.9
多い	111 33.2	53 24.7	142 27.5	48 25.1	354 28.1
どちらともいえない	141 42.2	89 41.4	243 47.0	91 47.6	564 44.8
少ない	35 10.5	39 18.1	56 10.8	21 11.0	151 12.0
ほとんどない	7 2.1	8 3.7	8 1.5	9 4.7	32 2.5

11. 教師の授業態度が不熱心で、やる気がおこらない授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	12 3.6	15 7.0	40 7.7	11 5.8	78 6.2
多い	54 16.2	37 17.2	71 13.7	35 18.3	197 15.6
どちらともいえない	159 47.6	84 39.1	230 44.5	92 48.2	565 44.9
少ない	84 25.1	55 25.6	140 27.1	39 20.4	318 25.3
ほとんどない	23 6.9	22 10.2	34 6.6	13 6.8	92 7.3

12. 授業中の声が小さく、何を聞いたのかよく分からない授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	37 11.1	29 13.5	100 19.3	20 10.5	186 14.8
多い	122 36.5	71 33.0	185 35.8	67 35.1	445 35.3
どちらともいえない	110 32.9	60 27.9	149 28.8	58 30.4	377 29.9
少ない	43 12.9	38 17.7	66 12.8	29 15.2	176 14.0
ほとんどない	21 6.3	16 7.4	15 2.9	17 8.9	69 5.5

13. レポートや発表など、あまりにきびしく要求しすぎる授業

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
非常に多い	13 3.9	16 7.4	57 11.0	8 4.2	94 7.5
多い	63 18.9	37 17.2	125 24.2	23 12.0	248 19.7
どちらともいえない	166 49.7	89 41.4	223 43.1	83 43.5	561 44.6
少ない	65 19.5	55 25.6	94 18.2	58 30.4	272 21.6
ほとんどない	26 7.8	17 7.9	16 3.1	19 9.9	78 6.2

14. 板書の仕方がまずくてよくわからない授業

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
非常に多い	48	14.4	54	25.1	125	24.2	28	14.7	255	20.3
多い	119	35.6	97	45.1	215	41.6	66	34.6	497	39.5
どちらともいえない	121	36.2	41	19.1	125	24.2	67	35.1	354	28.1
少ない	38	11.4	17	7.9	44	8.5	26	13.6	125	9.9
ほとんどない	7	2.1	5	2.3	6	1.2	4	2.1	22	1.7

15. 単位があまりにもでにくい授業

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
非常に多い	20	6.0	22	10.2	55	10.6	13	6.8	110	8.7
多い	46	13.8	40	18.6	92	17.8	18	9.4	196	15.6
どちらともいえない	174	52.1	106	49.3	269	52.0	97	50.8	646	51.3
少ない	67	20.1	33	15.3	83	16.1	50	26.2	233	18.5
ほとんどない	26	7.8	13	6.0	16	3.1	13	6.8	68	5.4

問 6 主題科目は、現在12主題が開講されています。あなたが入学以来これまでに受講した主題
科目の番号を○で囲むとともに、その主題を評価して下さい。評価は下記の1～5から1つ
を選んでください。

	たいへん よかった		まあまあ よかった		普 通		あまりよく なかった		全くよく なかった		受講者数
学問への省察	16	6.4	80	31.9	82	32.7	52	20.7	21	8.4	251
現代社会と健康	71	25.7	115	41.7	72	26.1	15	5.4	3	1.1	276
平和への展望	40	14.3	119	42.7	86	30.8	28	10.0	6	2.2	279
現代の生命観	17	6.1	105	37.5	102	36.4	43	15.4	13	4.6	280
地域文化の 伝統と未来	46	16.1	130	45.6	79	27.7	25	8.8	5	1.8	285
瀬戸内文化圏の 形成と未来	48	16.3	128	43.4	74	25.1	28	9.5	17	5.8	295
人間の尊厳と 道徳	38	12.8	101	33.9	106	35.6	40	13.4	13	4.4	298
情報と社会	7	3.0	46	20.0	84	36.5	67	29.1	26	11.3	230
美への誘い	58	22.4	111	42.9	61	23.6	21	8.1	8	3.1	259
文化と社会	27	9.2	113	38.4	114	38.8	29	9.9	11	3.7	294
社会と人権	26	12.2	87	40.8	72	33.8	21	9.9	7	3.3	213
人間と環境	33	11.6	113	39.8	90	31.7	30	10.6	18	6.3	284
主題科目全体	427	13.2	1248	38.5	1022	31.5	399	12.3	148	4.6	3244

問 7 主題科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してくださ
い。また、あなたの要望する「主題」があれば記入してください。

問 8 教養ゼミナールを受講した人のみお答えください。教養ゼミナールを受講して、どのような点が有益でしたか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。

	は い		どちらとも いえない		いいえ	
ゼミナールでのレポート発表・討議の仕方を 学ぶことができた	187	44.8	127	30.5	103	24.7
教員との人間的触れ合いをもつことができた	152	36.5	149	35.7	116	27.8
同じゼミナール受講生間の人間的触れ合いを もつことができた	182	43.6	141	33.8	94	22.5
興味ある専門的知識を学ぶことができた	161	39.2	160	38.9	90	21.9

問 9 教養ゼミナールの改善点についての意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してください。

問10 共通科目についておたずねします。共通科目に関する次のそれぞれの意見について、あてはまるものを1つ選んでください。

	は い		どちらとも いえない		いいえ	
主題科目とは異なり、基礎的な考え方や概念を 体系的に学ぶことができる授業が多いと思う	446	37.6	610	51.5	129	10.9
専門教育を受けるために必要な知識・技術を 体系的に学ぶことができる授業が多いと思う	304	25.7	626	52.8	255	21.5
高校で十分に学ぶことができなかった分野・領域の 学力を補う上で意義がある授業が多いと思う	505	42.7	511	43.2	167	14.1
内容が高校ですでに学んだことばかりなので、 新鮮味に乏しい授業が多いと思う	88	7.4	574	48.5	521	44.0

問11 共通科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してください。

問12 あなたは、大学で外国語は2ヶ国語以上とることが望ましいと思いますか。

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
2ヶ国語以上必要	119 35.8	96 45.5	228 43.7	71 37.4	332 26.7
1ヶ国語でよい	114 34.3	68 32.2	178 34.9	50 26.3	211 17.0
外国語は必要でない	23 6.9	22 10.4	52 10.2	18 9.5	510 41.0
わからない	76 22.9	25 11.8	57 11.2	51 26.8	190 15.3

問13 あなたは、外国語の授業は次のどの形態を重視するのがよいと思いますか。既修外国語と初修外国語のそれぞれについて2つまで選んでください。

A. 既修外国語（英語）

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
読む	37 11.1	37 17.2	75 14.5	42 23.2	191 15.2
話す	225 67.4	136 63.3	340 65.8	121 66.9	822 65.3
書く	12 3.6	19 8.8	26 5.0	14 7.7	71 5.6
聞く	148 44.3	94 43.7	232 44.9	94 51.9	568 45.1
4技能（読む・話す・書く・聞く）を包括する	115 34.4	54 25.1	134 25.9	47 26.0	350 27.8

(%)は、それぞれの学部の回答者を分母とした場合の割合

B. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語）

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
読む	96 28.7	82 38.1	156 30.2	74 40.9	408 32.4
話す	169 50.6	105 48.8	271 52.4	85 47.0	630 50.0
書く	41 12.3	49 22.8	69 13.3	42 23.2	201 16.1
聞く	107 32.0	62 28.8	179 34.6	61 33.7	429 34.1
4技能（読む・話す・書く・聞く）を包括する	83 24.9	38 17.7	99 19.1	35 19.3	255 20.3

(%)は、それぞれの学部の回答者を分母とした場合の割合

問14 あなたは、現行の外国語の必修単位数をどう思いますか。既修外国語と初修外国語のそれぞれについてお答えください。

A. 既修外国語（英語）

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
多い	90 27.3	86 40.6	197 38.5	95 50.5	330 26.6
適正	153 46.4	97 45.8	231 45.1	69 36.7	212 17.1
少ない	37 11.2	12 5.7	52 10.2	17 9.0	512 41.2
わからない	50 15.2	17 8.0	32 6.3	7 3.7	188 15.1

B. 初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語）

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
多い	39	12.7	39	18.4	118	23.1	22	12.2	218	18.0
適正	98	32.0	132	62.8	298	58.3	90	49.7	618	51.1
少ない	38	12.4	25	11.8	58	11.4	16	8.8	137	11.3
わからない	131	42.8	15	7.1	36	7.0	53	29.3	235	19.4

問15 外国語科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してください。

問16 健康・スポーツ科目の改善点についての意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してください。

問17 あなたは、教養教育科目の時間割を作成するにあたり、必要な授業についての情報をどこから得ましたか。（「はい」と回答した者の割合）

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
「教養教育シラバス」から得た	281	86.2	202	95.7	460	90.7	175	93.1	1118	90.7
教員のガイダンスから得た	59	18.4	30	14.4	85	17.0	42	22.7	216	17.8
所属する学部・学科等の先輩・友人からの口コミやパンフから得た	296	90.8	121	57.9	331	65.9	112	60.9	860	70.4
加入しているサークル(同好会を含む)の先輩・友人からの口コミやパンフから得た	113	35.1	119	56.9	289	57.8	101	54.3	622	51.1
授業科目名から判断した	223	69.0	150	71.8	361	72.5	129	70.1	863	71.1
「ユニプレス」を参考にした	19	6.0	20	9.6	51	10.3	11	6.0	101	8.4

問18 あなたは、主題科目、教養ゼミナールや共通科目を、どのような観点から取りますか。最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
内容に興味のある授業	227 69.2	143 68.1	295 58.4	135 71.4	800 64.9
多少難しくても将来の学習に必要な授業	9 2.7	7 3.3	18 3.6	6 3.2	40 3.2
先生の個性があらわれる授業	9 2.7	5 2.4	21 4.2	9 4.8	44 3.6
単位のとりやすい授業	73 22.3	49 23.3	151 29.9	33 17.5	306 24.8
出欠をとらない授業	7 2.1	5 2.4	14 2.8	5 2.6	31 2.5
その他 ()	3 0.9	1 0.5	6 1.2	1 0.5	11 0.9

問19 あなたは、「教養教育シラバス」を利用したことがありますか。

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
利用したことがある	315 95.5	207 98.1	489 96.1	184 96.8	1195 96.4
利用したことがない	15 4.5	4 1.9	20 3.9	6 3.2	45 3.6

問20 前問（問19）で「1」と回答した人におたずねします。「教養教育シラバス」は役に立っていますか。

	教育学部	法学部	経済学部	農学部	全 体
たいへん役立っている	62 19.7	73 35.1	133 27.1	63 34.2	331 27.7
まあまあ役立っている	220 69.8	123 59.1	306 62.4	99 53.8	748 62.5
どちらともいえない	25 7.9	6 2.9	29 5.9	15 8.2	75 6.3
あまり役立っていない	7 2.2	5 2.4	20 4.1	7 3.8	39 3.3
全然役立っていない	1 0.3	1 0.5	2 0.4	0 0.0	4 0.3

問21 前問（問20）で、「役立っている」（「1」あるいは「2」を選択）と回答した人におたずねします。それはどのような場面で役立っていますか。

	たいへん役立つ	まあまあ役立つ	役立たない
どのような授業を履修するか、検討する場合	667 61.9	399 37.0	11 1.0
授業がどのように進展するか、確認する場合	313 29.1	587 54.6	176 16.4
成績評価がどのように行われるか、確認する場合	537 50.0	480 44.7	57 5.3

問22 「教養教育シラバス」にはどのような問題がありますか。問題を感じるところがあれば、自由に指摘してください。また、シラバスに記載してほしい情報があれば記入してください。

問23 大学の授業を改善してより良くしていくために、学生による授業評価を導入している大学があります。あなたは、香川大学の教養教育においてもこのような制度を実施する必要があると思いますか。

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
是非実施してほしい	132	40.2	92	43.6	214	42.2	68	36.0	506	41.0
できれば実施してほしい	102	31.1	52	24.6	148	29.2	61	32.3	363	29.4
どちらともいえない	75	22.9	47	22.3	111	21.9	48	25.4	281	22.8
実施する必要はない	10	3.0	18	8.5	28	5.5	6	3.2	62	5.0
わからない	9	2.7	2	0.9	6	1.2	6	3.2	23	1.9

問24 教養教育を担当している先生で、あなたがもっとも好感をもっている先生についておたずねします。その先生のどんなところに一番魅かれるのですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
かっこいいところ	1	0.3	1	0.5	5	1.0	3	1.6	10	0.8
ジョークや雑談が面白いところ	77	23.5	25	11.8	94	18.7	36	19.3	232	18.9
教育熱心なところ	14	4.3	15	7.1	27	5.4	5	2.7	61	5.0
すばらしい研究をしているところ	5	1.5	6	2.8	3	0.6	6	3.2	20	1.6
授業内容が興味深いところ	161	49.1	104	49.3	212	42.1	90	48.1	567	46.1
人格者であるところ	33	10.1	28	13.3	48	9.5	19	10.2	19	10.2
その他	19	5.8	11	5.2	34	6.8	12	6.4	12	6.4
好感をもっている先生は一人もいない	18	5.5	21	10.0	80	15.9	16	8.6	16	8.6

問25 あなたは、前期試験の実施時期は次のどの時期がよいと思いますか。

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
現行の9月下旬～10月上旬	85	26.0	45	21.4	105	21.0	57	30.2	292	23.8
9月上旬～9月中旬 (夏休み以後)	18	5.5	15	7.1	36	7.2	12	6.3	81	6.6
7月中旬～7月下旬 (夏休み以前)	224	68.5	150	71.4	360	71.9	120	63.5	854	69.6

問26 教養教育で使用される教室の授業環境についておたずねします。次の各設問毎にあてはまるものを1つだけ選んでください。

	満 足 している		どちらか という満足 している		どちらとも いえない		どちらか という不満		不 満 である	
教育機器・設備等について	53	4.3	175	14.3	458	37.4	349	28.5	191	15.6
教室内の照明、机、椅子 等の設備について	35	2.9	156	12.7	354	28.9	431	35.2	250	20.4
教室内の清掃について	46	3.7	144	11.7	419	34.1	359	29.2	260	21.2
教室内の静粛度(学生間の 私語がない等)について	26	2.1	99	8.1	506	41.3	350	28.5	245	20.0
教室の空調設備について	22	1.8	100	8.1	390	31.8	382	31.1	333	27.1
授業と教室規模との関係 (受講人数と教室の広さ とのバランス等)について	25	2.0	158	12.9	421	34.3	360	29.3	264	21.5

問27 教養教育で使用される教室の授業環境について、意見や考え、あるいは要望等があれば簡潔に記入してください。

問28 第2校時と第3校時の間の休憩時間（12時00分～12時40分）が短いという意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

	教育学部		法学部		経済学部		農学部		全 体	
そう思う	263	80.4	177	84.3	404	80.3	138	73.4	982	80.0
どちらともいえない	27	8.3	13	6.2	40	8.0	21	11.2	101	8.2
そうは思わない	37	11.3	20	9.5	59	11.7	29	15.4	145	11.8

問29 教養教育について、あなたが解決してもらいたいと考える問題点や、不満に思っている事、またこの点は教養教育のよい点であるということがありましたら、下欄に自由に書いてください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。